



不二サッシ商品取扱説明書

Building Sash Instruction Manual



■ ごあいさつ

このたび不二サッシ商品をご採用いただき誠にありがとうございます。この取扱説明書には、商品を正しくご使用いただくための、注意事項とお願いについて記載されています。

サッシやドアは、太陽の光、明るさ、雨、風、すき間風、埃、虫、騒音などの自然現象や人の視線などの外部環境から遮断したり、取り入れたりする機能を果たしています。

サッシを末永くご利用いただくために、本取扱説明書をよくお読みになり、正しくサッシをご使用くださいますようお願いいたします。

商品のご使用前に必ず本書をお読みください。また、お読みになった後も、いつでもご利用いただけるように、大切に保管してください。

■ 安全にご使用いただくために

サッシを安全にご使用いただくために、下記のような注記表示を本書の中でしています。商品お取り扱い上の重要な内容を記載しておりますので、本書をよくお読みになり、正しくご使用いただきますようお願いいたします。

●この取扱説明書では、注意事項やお願いの内容によって下記のような記号を使用しています。

	誤った取扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを示しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「必ずおこなっていただくこと」を示しています。

INDEX

ごあいさつ

INDEX

アルミニウム建材を快適にご使用いただくために
商品保証（保証期間及び免責事項）

引違い窓・戸

P.8

引違い窓・戸

四枚建て引違い

片引き窓・戸

一般タイプ・引き寄せ防音タイプ① P.12

外動・内動片引き窓

中央引き分け窓

両袖可動

中央可動

引き寄せ防音タイプ②（AE系） P.17

片引き・両袖可動

中央引き分け

AE-120B FIX部のメンテナンス

引違い・片引きオプション部品

P.18

スイング窓

P.24

開き窓

たてすべり出し窓

たて軸回転窓

内倒し窓

すべり出し窓

突出し窓

開きドア

P.34

全開口サッシ

P.37

その他サッシ

P.40

引戸

出窓

ガラスルーバー

網戸

P.43

可動網戸

プリーツ網戸

開き網戸

固定網戸各種

エクステリア

P.57

手すり

面格子

門扉

面格子付きサッシ

玄関ドア

P.64

ドアクローザ

P.66

■ アルミサッシを快適にご使用いただくために

アルミサッシは、永年にわたりご使用いただけますように、耐食性、安全性などに配慮し設計・製作しておりますが、外部環境、室内環境などにより腐食や開閉不良などの思わぬ不具合が発生する場合があります。さらにこの不具合を放置されると、美観を損ねる、不慮の事故につながるなどの支障をきたすこともあります。お掃除のときなど、日常的に保守点検をおこなってください。ゆるみ、がたつきなどがある場合は早急にお取り扱いの建築会社様、工務店様または管理会社様にご相談ください。

清掃お手入れについて

商品をいつまでも美しく、安全・安心にお使いいただくために、商品に応じた定期的な点検（保守点検）や清掃お手入れが必要です。

1.お手入れ回数について

■長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、腐食やしみの原因となります。汚れが軽いうちに清掃をしてください。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により腐食やしみが進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

清掃お手入れの時には、部品のゆるみなど点検（保守点検）してください。清掃および点検の頻度は、環境や汚れかたによっても異なりますので右表を参考してください。

立地条件	清掃回数	定期点検（2年目以降）
臨海工業地帯	年に2～3回	年に1回
海岸・工業地帯	年に2回	年に1回
市街地	年に1～2回	年に1回
田園地帯	年に1回	年に1回

※特にステンレス網戸のお手入れを怠るとアルミニウムが腐食しやすくなりますので、年に3～4回清掃（中性洗剤+水洗い）をおこなってください。（海岸近接地域は、月に1回程度）

2.アルミ・スチール製品（ステンレスを含む）のお手入れ方法

- ①表面の砂・ホコリをていねいに落とします。
- ②水で濡らした柔らかい布またはスポンジで全体を拭き取ります。
汚れがひどい場合には、中性洗剤で汚れを落とし、十分に水洗いします。
- ③乾いた布で十分に水分を拭き取ります。

◆下枠・レールのお手入れ方法

下枠・レールはゴミなどがありますと、水抜き穴がつまり漏水したり、戸車の破損や脱輪の原因となりますので時々清掃してください。

- 下枠・レールのミゾにたまつた砂やほこりを掃除機で吸い取ります。
または、柔らかいブラシで砂やほこりを落とします。
- 割り箸の先に布を巻きつけたもので拭き取ります。

◆お手入れのご注意

- お手入れには「台所用中性洗剤」もしくは「使用用途に“サッシ”と明記された住宅・家具用中性洗剤をご使用ください。※中性洗剤でも浴室用、トイレ用などは向きです。
- 有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やタイル用の酸性洗浄剤やアルカリ性洗浄剤は、表面を侵食し腐食のもととなりますので、使用しないでください。
- 清掃用具としてワイヤーブラシ、スチールウール、金ベラは使用しないでください。
また清掃時に小石・砂・金属片などが付着するとアルミニウム建材を傷つけることになります。
- 高圧洗浄機やホースなどの散水ノズルによるジェット水流により窓の汚れを洗い流す場合、水が室内に侵入するおそれがありますので使用しないでください。
- 電装部品に水がかからないようご注意ください。故障するおそれがあります。
電装部品に不具合が生じた場合には、管理会社様、または販売会社様にご相談ください。

3.網戸のお手入れ方法

- ①網戸を取り外します。
- ②網を水洗いします。
柔らかい布やスポンジで軽く押さえるように水洗いをします。
※汚れがひどい場合は中性洗剤を使い、水を含ませた布やスポンジで洗い流します。
- ③水分を十分にふき取り、乾燥させます。
- ④取り外した網戸を元に戻します。
※はずれ止め部品を必ずかけてください。
- ⑤網戸が外せない場合は、網戸の両側から水を含ませた柔らかい布やスポンジなどで軽くはさむようにして汚れを落としてください。
電気掃除機をお使いの場合は、ブラシのついた吸い込み口を取付けて軽くこするようにして吸い取ってください。
※汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布やスポンジなどで軽くはさむようにして汚れを落とし、その後、洗剤が残らないよう水を含ませた布やスポンジなどでふき取ってください。

◆お手入れのご注意

- 清掃の際、網戸を強く擦らないようにしてください。網の破損の原因となることがあります。
- プリーツ網戸はご自分で取り外したり、分解したりしないでください。分解すると開閉操作に支障が生じるおそれがあります。
- 網戸の網や網を押さえている網押さえ部分は、直射日光が当たったり、風雨にさらされる等、ご使用いただいている住宅立地条件や自然環境によって、劣化が早く進むことがあります。劣化したままにしておきますと、網が破れたり、網が外れることがあります。時々点検して、網の破れ、大きなたるみ、周辺部の外れのほか網押さえのひび割れなどがないか確認してください。異常があれば、お早めに張り替えてください。
- 洗剤や薬品は中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品、及びアルコール・シンナー等の有機溶剤は、アルミ部分などの金属部分を腐食させたり、塗膜はがれを引き起こす原因となりますので絶対に使用しないでください。同様に網戸の網や網を押さえている網押さえの樹脂部品を溶かす原因となります。
- 網戸の網がステンレスの場合、サビにくい材質ですが、環境によっては、汚れや塩分が付着した状態で放置するとサビが発生するおそれがあります。汚れが軽いうちに清掃してください。
- 高圧洗浄機やホースなどの散水ノズルによるジェット水流により網戸の汚れを洗い流す場合、網戸の網がはずれる可能性があります。また、水が室内に侵入するおそれがありますので使用しないでください。

専門業者による定期的維持管理のお願い

◆安全・安心にご使用いただくには専門業者による定期的な維持管理が重要です。

- 日頃からサッシに異常がないか、操作・作動の状況に変化はないか注意していただき、異常を感じたら速やかに専門業者にご相談ください。
安全に係る部品として、引違い窓などの戸車、はずれ止め、ストッパーなどは10年を目安^{*}に交換することを推奨します。
異常が確認されない場合でも、時間とともに故障のリスクが高まる可能性があります。
(※使用環境により異なります。また、保証期間ではありません。)

1、強風時の障子の開閉について

- 開き窓や堅軸回転窓などの外に開く窓は強風時、風にあおられるとガラス障子の脱落やガラスの破損の原因となることがあります。強風時は窓を閉めて、必ず（錠）ハンドルをかけてください。
- 引違い窓や片引き窓などの横にスライドする窓は、強風時にガラス障子が窓枠に強く押し付けられるため開閉操作が重くなることがあります。強風時の操作は避けてください。

2、網戸の取扱いについて

- 網戸は、はずれ止め部品が確実にセットされていない場合、強風により脱落・落下するおそれがあります。特に清掃や網の張替え等によりはずした事のある網戸については、はずれ止め金具が確実にセットされているか改めて確認していただくと共に、日頃よりはずれ止め部品を確実にセットされている事をご確認ください。網戸の脱落や落下による事故を未然に防ぐため、網戸の正しいご使用をお願いします。
- ◆下記のような状況では特に網戸のはずれ止めが正しく機能しているかを確認してください。
はずれ止めが機能していないと事故が発生する恐れがあります。

1. 掃除や網戸の張替えなどで取り外した場合…
2. 開け閉めの際に網戸が外れる…
3. 網戸を閉めた際に、たて枠との隙間が上下均等で網戸が斜めになっている…

はずれ止め部品は、網戸の脱落を防止する部品で、網戸の上かまちの両端に取り付けられています。詳細は「スライディング窓用網戸の取扱いのページ」のはずれ止め部品をご参照ください。

- ◆強風時は窓を開けた換気をやめ、窓を閉めてください。

同じ空間の他の窓やドアを開け閉めすることで風の通り道ができ、強風が室内を通過します。この室内の強風により室内のものが飛ぶことで思わぬアクシデントにつながります。

また、強風時に窓を開けて網戸とカーテン（ブラインド）を併用すると、網戸がカーテンに重なり大きな風圧を受けることで網戸が破損（脱落）するおそれがあります。

- ◆網戸を取りはずし、バルコニー内にはずした網戸を放置しないでください。バルコニー内に網戸を放置していると、強風にあおられ飛ばされるおそれがあります。

- ◆強風で網戸が自走するような環境では、台風や強風時、窓を閉めると共に網戸を強風対策網戸固定部品等で固定状態にしてください。突然の強風による急激な開閉で衝撃を受け、転落や落下など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止ではありません。網へは直接寄りかかったり、押したりしないでください。網が破れたり、網戸が枠からはずれて落下したりするなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

- 網戸の防虫性は、網目より大きい虫などを防ぐには効果を発揮します。しかし、網戸を可動させるために微小なすき間があるため、使用環境によっては、網目より小さな虫や這い回る虫などが侵入する場合があります。這い回る虫（カメムシ、テントウムシ、アリ等）は、光や暖気、観葉植物を好みわざかなすき間からでも押し入ろうとする習性があります。従って、網戸があっても、このような習性を持つ虫の侵入を完全にとめることはできません。万一、虫が侵入した場合は、殺虫剤等による駆除をお願いします。

3、部屋に設置されている換気装置使用時の笛鳴りについて

- 換気扇や24時間換気装置を使用した場合、室内から排出した空気量と同じ量の空気を外部から採り入れなければなりません。そのため各住戸には換気口が設置されています。換気装置使用時にこの換気口を開放していかなかったり、換気口の大きさが適切でなかった場合や換気扇と24時間換気装置を同時に使用した場合、サッシの非常に小さい隙間（通常どのようなサッシでも公的に認められた微量の空気の流れが発生します。）から高速で空気が流入し笛の鳴るような音（笛鳴り現象）が発生することがあります。その場合は換気口を開放するか、窓を少し開けていただくと発音は防げますので、換気装置使用時には適切な外気の取り入れ口を確保していただけるようにお願いいたします。

4、窓やドアなどからの音鳴り現象について

- 窓やドアに使用されているアルミニウム材は温度変化により伸縮する特性があります。窓やドアを構成するアルミニウム材が太陽の日射熱により伸縮するとアルミニウム材同士の摩擦などが発生し、パキッ、ピキッ、コーンなどの音が発生することがあります。また、アルミサッシに取り合う内装材（木額縁・床材など）との伸縮の違いによっても音が発生することもあります。この現象は、必ず発生するものではなく、窓やドアの性能に影響するものではありません。

5. 結露について

- 窓ガラスや窓枠に結露が発生した場合、床や壁の汚損防止と木部の腐食防止のために、こまめに拭き取ってください。
結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合に、自然現象として季節を問わず発生するものであり、窓の不具合ではありません。

- 結露を抑えるために結露を完全に無くすことは出来ませんが、できるだけ抑える方法として、次のようなことを励行してください。

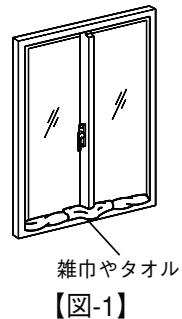
1. 浴室や厨房の使用時・使用後はしばらく換気扇を回してください。
2. 居室でも窓が曇りだしたら、換気をして空気の入れ替えをしてください。
3. 室内に洗濯物を干したりするのは避けてください。
4. 各部屋の温度差をできるだけ少なくしてください。
5. 室内に植栽を多数持ち込まないでください。

6. 台風や暴風雨の災害を防ぐために

台風や暴風雨はサッシの性能（耐風圧性、耐水密性など）を越える風雨を伴うことがありますので、台風や暴風雨の被害を防ぐため、暴風雨圏に入る前に事前の対策を図ることが必要です。

◆台風がくる前に

- ベランダに置いてある物が飛ばされて、ガラスが破損したりすると危険ですので、植木や空き箱などは室内に入れてください。
- 強風時には万一のガラス破損による飛散防止の為、ブラインドやカーテンを閉めてください。
- 網戸が飛ばされないよう、網戸のはずれ止め部品が確実にセットされ、網戸が持ち上げても外れないことを確認してください。
- 窓や出入り口の扉は完全に閉めて施錠してください。また窓やドアの周辺の濡れでは困る物を整理して、万一に備えることをおすすめします。
- 窓下側部分に雑巾やタオルなどを当てておくと、雨水のしぶき上げや室内への漏水を防止することができます。【図-1】
- バルコニーの排水口はきれいに清掃してください。排水口に砂やゴミ、落葉などがたまっていると大雨の時に水があふれて住居に浸水したり下の階に漏水することがあります。



【図-1】

◆台風や暴風雨がきたら

- 暴風時は、不用意に窓やドアの開閉はしないようにしてください。強風にあおられ窓やドアの破損やドアに指を挟むなどのケガにつながることがあります。
- 暴風時に換気扇のご使用は極力避けてください。窓を閉め切っているため排気量に対し吸気量が足りなくなり漏水を誘発しやすくなります。

7. 家具の配置について

子供部屋等にベッドや机などを配置する場合は、踏み台にならないよう配慮してください。
また、踏み台になるような物がある場合は、小さなお子様が一人で窓を開けないよう配慮してください。
転落など、人身事故につながるおそれがあります。

CPマークについて

侵入窃盗の大幅な増加に伴い、ドアや窓の防犯性能の強化が広く求められています。そのような流れを受けて、平成16年4月1日に警察庁より『防犯性の高い建物部品（防犯建物部品）』の目録が公開されました。この防犯建物部品は官民合同会議により認定され、最終試験に合格した製品にCPマークが貼られています。

■ CPマーク

『防犯建物部品』のうち、「侵入抵抗時間5分仕様」の建物部品であることを示す標章を『CPマーク』と言います。

※『CPマーク』は、侵入手口に対する抵抗力を示すもので、すべての侵入行為に対してその防止を保証できるものではありません。



■商品保証について

本書は、当社製品に対し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理をお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生したときは、お取扱いの建築会社様、工務店様または管理会社様に修理をご依頼ください。

保証期間

■保証期間は施工者よりの引き渡し日（注1、注2）から2年間

（電装部品・フロアヒンジ・丁番型及びオフセット型ヒンジクローザについては1年間）

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡しの日とします。

ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取り付けられた商品（同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る）からの雨水浸入については10年間（改修工事は対象外）

保証の範囲

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

（1）当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合。

（例：海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）

（2）表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合。

（3）建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品不具合。

（4）商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）、経年変化（樹脂部分の変質、変色など）またこれらに伴うさび、かび又はその他の不具合。

（5）商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食などの不具合。

（例：塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）

（6）商品または部品の材料特性に伴う現象（例：木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみだしなど）

（7）天災その他の不可抗力（暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水地盤沈下、火災、津波、噴火など）による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。

（8）通常の生活条件下では予測することが不可能な現象、実用化されている技術では予測することが不可能な現象、又はこれが原因で生じた不具合。

（9）犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合。

（10）引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。

（11）お客様が修理や改造（必要部品の取外しを含む）を行い、そのために故障・損傷を起こしたとき。

（12）本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は、使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。

（13）犯罪行為などの不法な行為に起因する破損や不具合。

（14）機能上支障のない音や振動等の感覚的不具合。

（15）締り金具の施錠及び解錠にかかわらずその状態に相反する操作を行い、損傷したとき。

（16）サッシ及びドアの開口部に物を入れそのまま閉めて機能障害が発生したとき。

（17）お客様がご自身の都合で建具・網戸の取外しを行い、現状復帰に不具合が生じ、機能障害を起こしたとき。

※次のような消耗部品については、保証期間中であっても有料となります。（当社製作上の不具合を除く）

ガラス押さえゴム、気密ゴム、モヘヤ、風止め板、はずれ止め、振れ止め、小口カバー
戸当たり、戸車、操作ツマミ、水抜き具、網戸の網、網押さえゴムなどの合成樹脂製品

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※このアフターメンテナンスに関する保証内容は、お取り扱いの販売店様、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、交換についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

※保証期間終了後の保守

ご連絡いただければ別途、保守委託契約により保証いたします。

※この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については適用しないものとします。

本書は、弊社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店または最寄りの営業所に修理をご依頼ください。

BL認定品の商品保証について

■保証期間・保証内容

弊社が供給したBL認定品（BLマーク証紙貼付）につきましては、取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

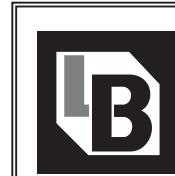
保証期間は施工者よりの商品の引き渡し日（注1、注2）から2年間といたしますが、特定機能については下記のごとく別途定められています。

なお、強風雨時、サッシ下枠に雨水がたまることがあります、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ枠を超えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡しの日とします。

（注3）ドアクローザ・錠前については、保証期間、保証内容、免責事項が別途定められています。



品 目	特 定 機 能	保 証 期 間
サッシ	雨水の浸入を防止する機能	10年
玄関ドア（戸建住宅用玄関ドアを除く）	手動での開閉機能	5年
改修用玄関ドア（戸建住宅用玄関ドアを除く）	手動での開閉機能	5年
墜落防止手すり	全般（取付金物の埋め込みに係るものを除く）	5年

（注4）万一弊社が倒産等している場合、弊社による契約不適合責任等に代わる措置がベターリビングから受けられます。窓口連絡先は商品に貼り付けられているBLマーク証紙に記載されています。
連絡先:TEL 03-5211-0680

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①住宅用途以外で使用した場合の不具合
- ②当社の手配によらない第三者の加工上、組み立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合、商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り・干割れ・変色など）や経年劣化（樹脂部品の変質・変色など）またはこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥環境が特に悪い地域または場所での腐食またはその他の不具合（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑦天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災、津波、噴火など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑧犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合
- ⑨引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑩お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要部品の取りはずしを含む）に起因する不具合
- ⑪本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑫犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
- ⑬締り金具の施錠及び解錠にかかわらずその状態に相反する操作を行い、損傷したとき。
- ⑭サッシ及びドアの開口部に物を入れそのまま閉めて機能障害が発生したとき。
- ⑮お客様がご自身の都合で建具・網戸の取外しを行い、現状復帰に不具合が生じ、機能障害を起こしたとき。
- ⑯実用化されている技術では予測することが不可能な現象、又はこれが原因で生じた不具合。
- ⑰機能上支障のない音や振動等の感覚的不具合。

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※取替パーツ（主要機能部品）は、生産中止後10年間保有しております。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

□FNS-70 □FNS-70AT □NLS-I □NLS-II □FNS-100 □FNS-100AT □FNS-100断熱
□FNS-70EAT □FNS-70P □FNS-II70

■引違い窓・戸（一般・防音・断熱タイプ）

商品バリエーション



引違い窓



四枚建て引違い窓

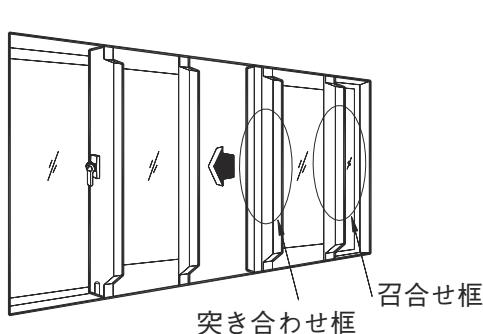
ガラス障子の開閉

■開閉操作

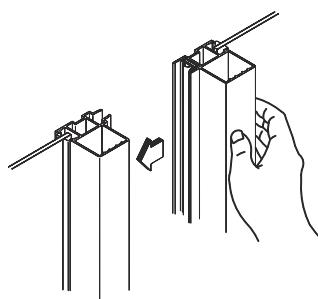
- ①クレセントをロックが解除される方向に180°回転してください。ガラス障子が移動可能になります。
- ②閉める時は、クレセントが当たらないことを確認し、ガラス障子をスライドさせてからクレセントを回してください。

■開閉操作（四枚建てのみ）

- ①ガラス障子を閉鎖する時は突き合わせ框または召合せ框を押して操作してください。



突き合わせ框 召合せ框

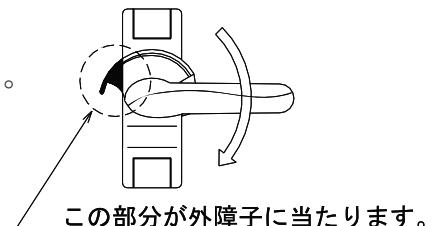


中央突き合わせ部内観図

お願い

クレセントは、完全に180°回転してください。
完全に回転しないと、ガラス障子が当たり破損や傷の原因となります。
クレセントは必ず右・左とも完全に180°回転してください。
片側だけでのクレセント操作ではガラス障子が固定しません。
また、完全に回転しないと、ガラス障子が当たり破損や傷の原因となります。(四枚建てのみ)

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。
急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

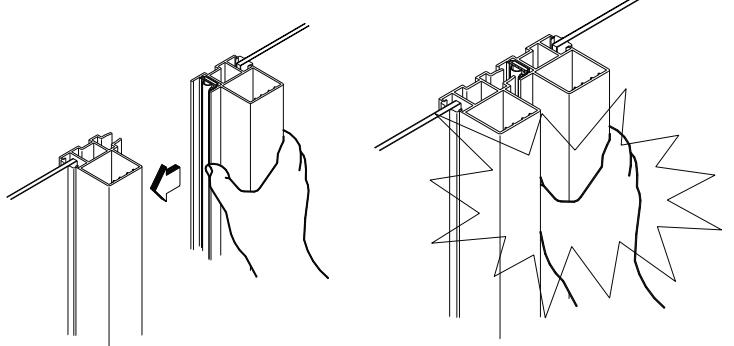


この部分が外障子に当たります。

△注意

開閉は、引手やハンドルなど指定された場所を持って操作してください。
指定された場所以外のところを持つと指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。
開閉時、「枠と障子の間」や「障子が交差する所」に手や指や物を置かないでください。
手や指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。

突き合わせ框を持って操作する時は
突き合される部分に手を添えないよう
にしてください。右の図のよう
に操作すると手や指をはさむおそれ
があります。(四枚建てのみ)



はずれ止め部品

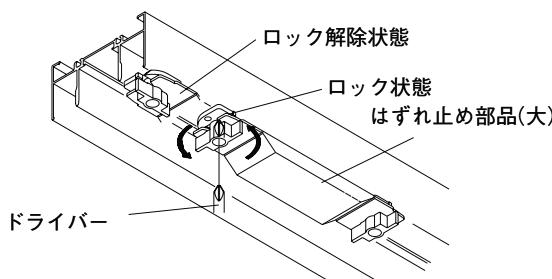
ガラス障子の脱落を防止するためにサッシの上枠に取付けられている、プラスチック製の部品です。はずれ止め部品は窓の製品別に種類があります。製品毎の項目により操作をしてください。(固定位置は、上枠に記載されています)



■FNS-70系・NLS系

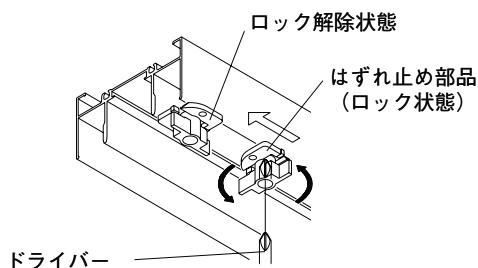
◆はずれ止め部品(大)

ロックを解除するには図の位置にプラスドライバーを使用し90°はずれ止め部品を回転します。
(左右2箇所)



◆はずれ止め部品(小)

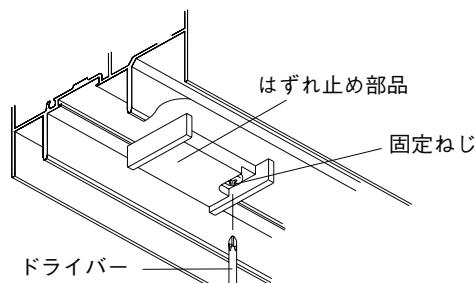
ロックを解除するには図の位置にプラスドライバーを使用し90°はずれ止め部品を回転します。



※ガラス障子を清掃などで取り外すときは、はずれ止め部品と風止め板を縦枠側にずらしてから取り外してください。

■FNS-100

はずれ止め部品を移動させるには固定ねじをプラスドライバーでゆるめてから右または左に移動させてください。
(ねじは取りはずさないでください)

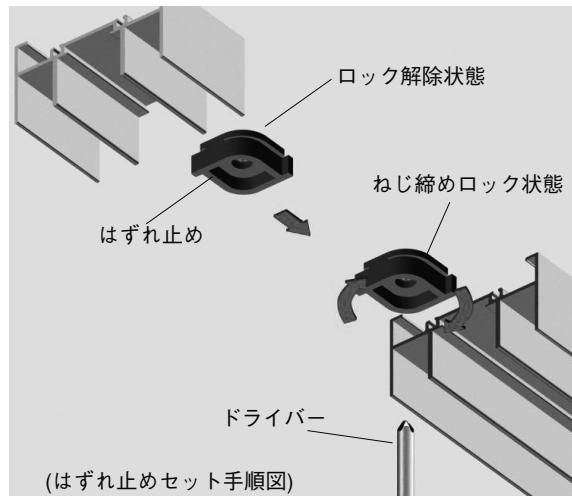
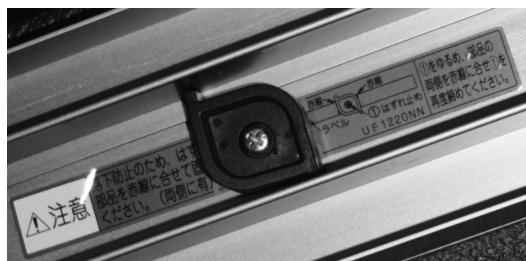


■FNS-II70

◆上枠部はずれ止めの操作方法

(解除方法)

1. プラスドライバーにてねじをゆるめます。
※ねじは抜かないでください。
2. ねじをゆるめるとはずれ止めがスライドするようになるのでたて枠側にスライドさせます。左右2つとも同じようにすれば上枠のはずれ止めが解除されます。
3. 元に戻す時は解除した時と逆の手順で操作して所定の位置に戻してください。



はずれ止め固定位置、上枠のはずれ止め操作ラベルに取付位置がマークされています。(左右に1個ずつ、計2個取り付けられています)

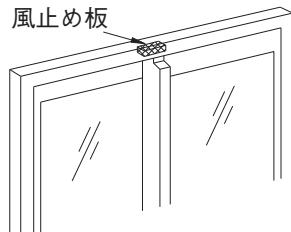
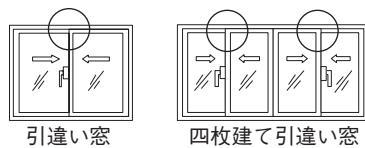
▲注意

お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。
また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。
時々、点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠からはずれて落下するなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
※ガラス障子重量が重いと感じた場合は、無理にガラス障子をはずさないでください。
思わぬ事故や商品の破損につながります。

風止め板

召合せ上部から風の進入を防ぐためにサッシの上枠に取付けられている、プラスチック製の部品です。

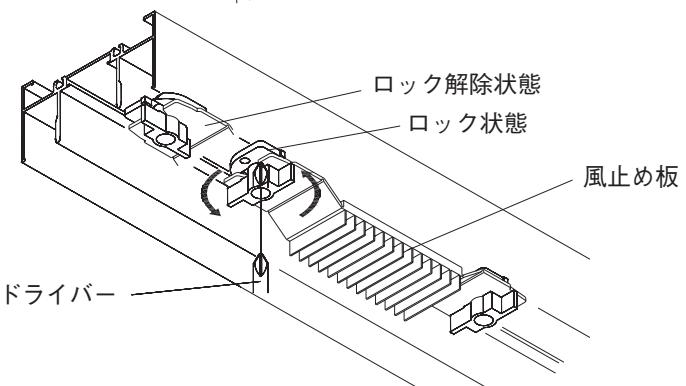
■開口形式別取付位置



■FNS-70系

◆操作方法

ロックを解除するには図の位置にプラスドライバーを使用し、90°はすれ止め部品を回転します。
(左右2箇所) ロックが解除され
て移動可能になります。

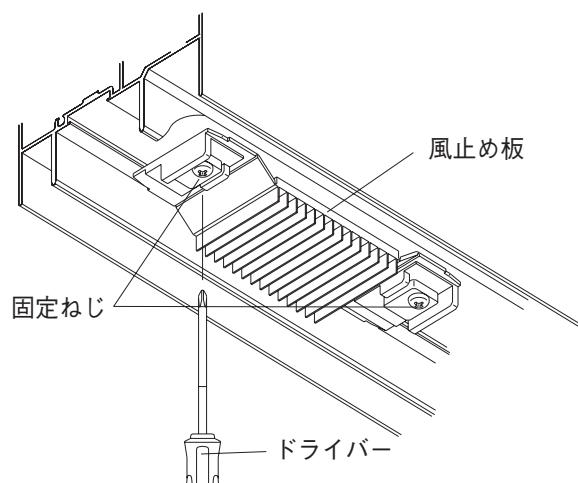


※ガラス障子を清掃などで取り外すときは、風止め板と前記のはすれ止め部品を縦枠側にずらしてから取り外してください。

■FNS-100

◆操作方法

ロックを解除するには固定ねじを
プラスドライバーでゆるめてから
右または左に移動してください。
(ねじは取りはずさないでください)



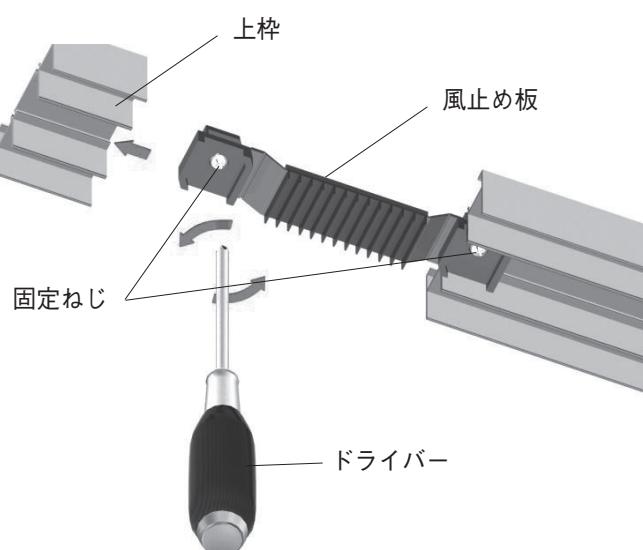
※FNS-70AT・FNS-100AT系には操作可能風止め板はありません。

■FNS-II70

◆操作方法

ロックを解除するには左右の固定ねじを
プラスドライバーでゆるめてから右または
左に移動してください。
(ねじは取りはずさないでください)

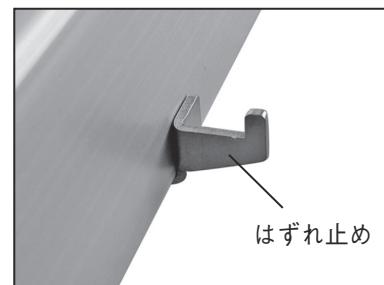
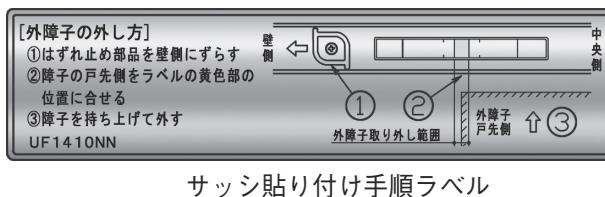
※ガラス障子を清掃などで取り外すときは、
風止め板と前記のはすれ止め部品を縦枠
側にずらしてから取り外してください。



外障子はずれ止め(FNS-II 70・FNS-70シリーズ・NLSシリーズ)

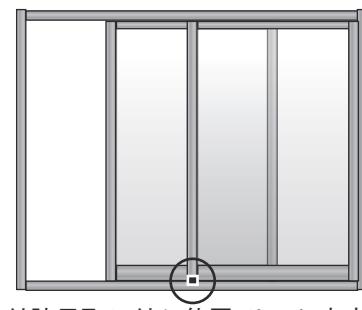
ガラス障子の脱落を防止するためにサッシの上枠の部品とは別に、外障子下框の中央部に取付けられている金属製の部品です。

■開口形式別取付位置



◆操作方法

- 前項の上枠のはずれ止め部品を操作手順にそって、縦枠側にずらしてください。
- 外障子の戸先框の先端を上枠に貼り付けてあるラベルの黄色部の位置に合わせてください。
外障子を持ち上げて取り外せるようになります。
- 外障子を持ち上げて室外側に振りだして外してください。
- 外障子を元に戻す時は取り外した手順と逆手順で戻してください。
※外障子は所定の位置に合わせないとめ込めません。



外障子取り外し位置(サッシ中央)

お願い

外障子をはずす時には、必ず手順の通りの位置に外障子の位置を合わせてください。
正しい位置以外でガラス障子を無理にはずそうとすると、サッシ枠やガラス障子の破損・キズの発生や、開閉不良の原因となることがあります。

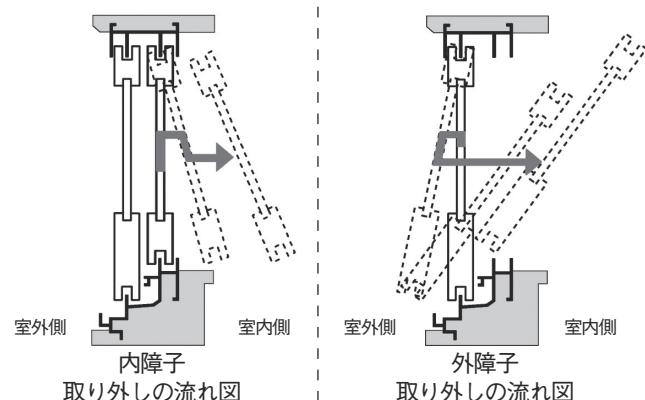
■ ガラス障子のはずし方(共通)

やむおえず、ガラス障子を取りはずす時は、下記の手順によりおこなってください。

【取りはずし手順】(室内側からの取りはずし手順)

- 網戸が取り付けられている場合は最初に網戸の取りはずし手順に従い取りはずしてください。
- 上枠はずれ止め及び風止め板を縦枠側へ操作手順により移動させてください。
- 室内側のガラス障子をはずれ止め及び風止め板に当たらない位置に移動させてから上に持ち上げ、ガラス障子下部を室内側に引き、はずします。
- 室外側のガラス障子は上枠に貼り付けられたラベルの位置にガラス障子を合わせてから、上に持ち上げガラス障子下部を室外側に押し出し、はずしたら室内側に引き込みます。
- 障子をはめ込む場合は上記の逆手順にてガラス障子を枠にはめ込み、はずれ止めと風止め板を所定の位置に合わせてください。

※室内の木額縁などが緩衝してガラス障子が取り外せない場合は、室外側から取りはずしをしてください。

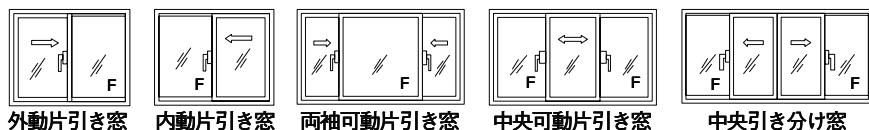


△注意

- お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。
また、ご使用中、はずれ止めがずれることがあります。
時々、点検してください。
はずれ止めが正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠からはずれて落下するなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
※ガラス障子が重いと感じた場合は、無理にガラス障子をはずさないでください。
思わぬ事故や商品の破損につながります。

■ 片引き① (一般・防音・断熱タイプ)

商品バリエーション



ガラス障子の開閉

■ 開閉操作 (中央可動は除く)

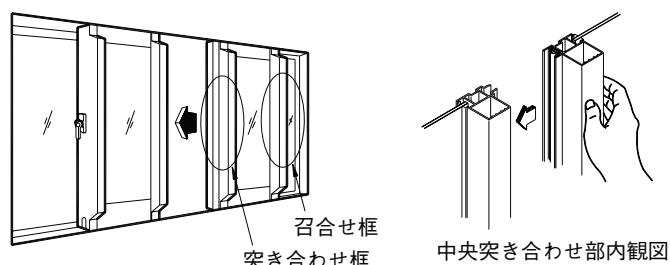
- ① クレセントをロックが解除される方向に180°回転してください。ガラス障子が移動可能になります。
- ② 閉める時は、クレセントが当たらないことを確認し、ガラス障子をスライドしてからクレセントを回転してください。

■ 開閉操作 (中央引き分け (内動) のみ)

- ① ガラス障子を閉鎖する時は突き合わせ框または召合せ框を押して操作してください。

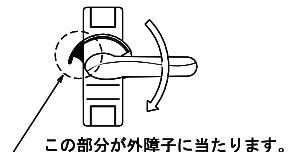
■ 開閉操作 (中央可動のみ)

- ① 左右のクレセントを両方とも、上又は下に180°回転してください。ロックが解除され、ガラス障子が移動可能になります。
- ② 閉める時は、左右のクレセントが当たらないことを確認し、ガラス障子をスライドしてから、必ず左右のクレセントを回転してロックしてください。



お願い

クレセントは、完全に180°回転してください。
完全に180°回転しないと、ガラス障子が当たり破損や傷の原因となります。

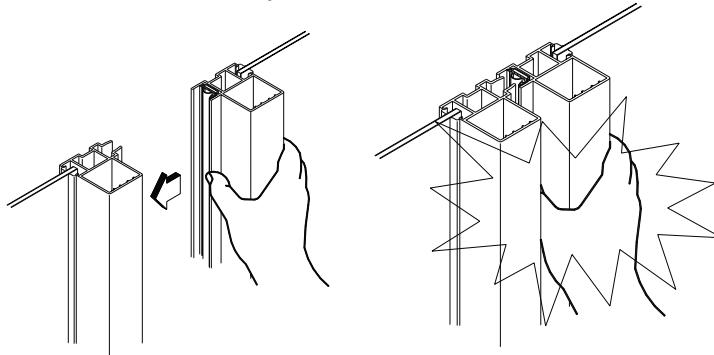


クレセントは、必ず右・左とも完全に180°回転してください。
片側だけのクレセント操作ではガラス障子が固定しません。
また、完全に180°回転しないと、ガラス障子が当たり破損や傷の原因となります。
窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。
急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

△ 注意

開閉は、引手やハンドルなど指定された場所を持って操作してください。
指定された場所以外のところを持つと指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。
開閉時、「枠と障子の間」や「障子が交差する所」に手や指や物を置かないでください。
手や指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。

突き合わせ框を持って操作する時は
突き合される部分に手を添えないようにしてください。右の図のように
操作すると手や指をはさむおそれがあります。(中央引き分け(内動)のみ)



はずれ止め部品

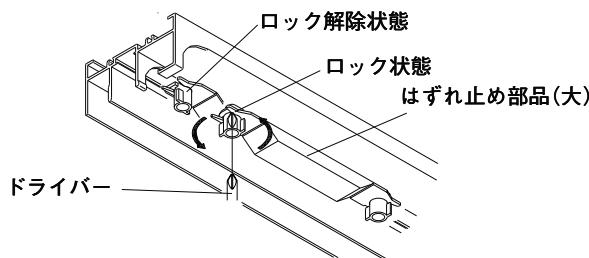
ガラス障子の脱落を防止するためにサッシの上枠に取付けられている、プラスチック製の部品です。はずれ止め部品は窓の大きさにより大・小2種類のタイプがあります。
(固定位置は、上枠に記載されています)



■FNS-70系・NLS系

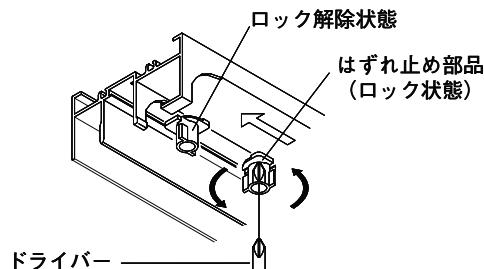
◆はずれ止め部品(大)

ロックを解除するには図の位置にプラスドライバーを使用し90°はずれ止め部品を回転します。
(左右2箇所)



◆はずれ止め部品(小)

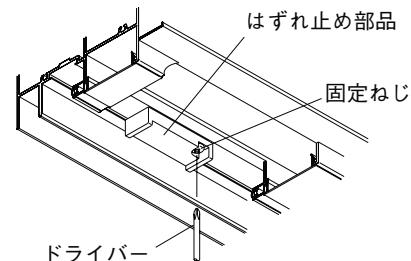
ロックを解除するには図の位置にプラスドライバーを使用し90°はずれ止め部品を回転します。



※ガラス障子を清掃などで取り外すときは、はずれ止め部品と次項目の風止め板を縦枠側にずらしてから取り外してください。本図は外動片引き窓用です。形状は商品種により異なりますが、操作方法は変わりません。

■FNS-100

はずれ止め部品を移動させるには固定ねじをプラスドライバーでゆるめてから右または左に移動してください。
(ねじは取りはずさないでください)

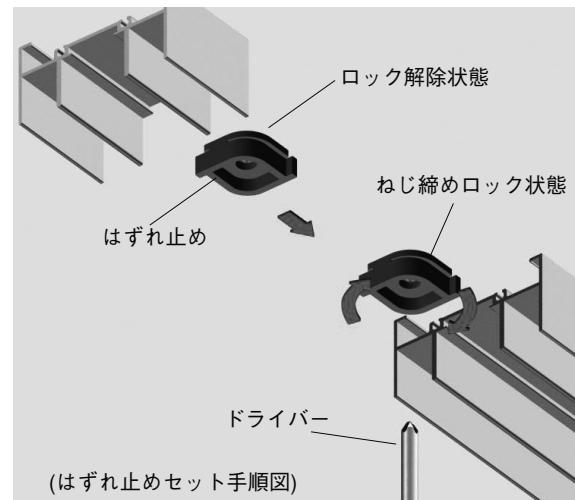


■FNS-II70

◆上枠部はずれ止めの操作方法

(解除方法)

- 1.プラスドライバーにてねじをゆるめます。
※ねじは抜かないでください。
- 2.ねじをゆるめるとはずれ止めがスライドするようになるのでたて枠側にスライドさせます。左右2つとも同じようにすれば上枠のはずれ止めが解除されます。
- 3.元に戻す時は解除した時と逆の手順で操作して所定の位置に戻してください。



はずれ止め固定位置、上枠のはずれ止め操作ラベルに取付位置がマークされています。(左右に1個ずつ、計2個取り付けられています)

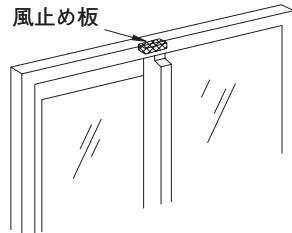
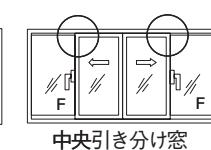
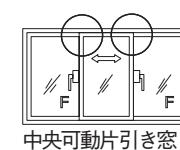
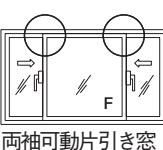
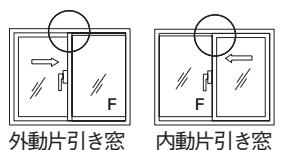
△注意

- ① お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。
また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。
時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠からはずれて落下するなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
※ガラス障子重量が重いと感じた場合は、無理にガラス障子をはずさないでください。
思わぬ事故や商品の破損につながります。

風止め板

召合せ上部から風の進入を防ぐためにサッシの上枠に取付けられている、プラスチック製の部品です。

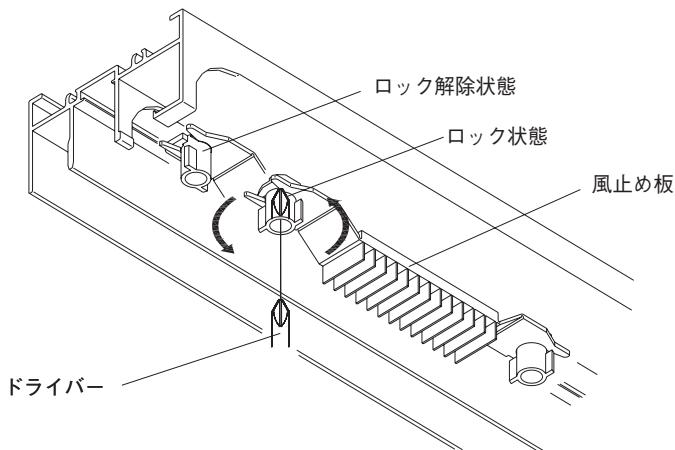
■開口形式別取付位置



■FNS-70系

◆操作方法

ロックを解除するには図の位置に
プラスドライバーを使用し、90°
はすれ止め部品を回転します。
(左右2箇所) ロックが解除され
て移動可能になります。

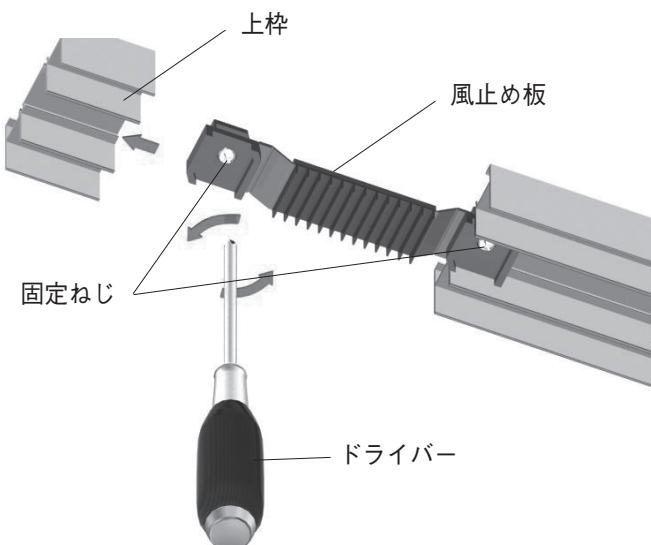


■FNS-II 70

◆操作方法

ロックを解除するには左右の固定ねじを
プラスドライバーでゆるめてから右または左に移動してください。
(ねじは取りはずさないでください)

※ガラス障子を清掃などで取り外すときは、
風止め板と前記のはすれ止め部品を縦枠
側にずらしてから取り外してください。



※ガラス障子を清掃などで取り外すときは、風止め板と前記のはすれ止め部品を縦枠側にずらしてから取り外してください。

※FNS-70AT・FNS-100系には操作可能風止め板はありません。

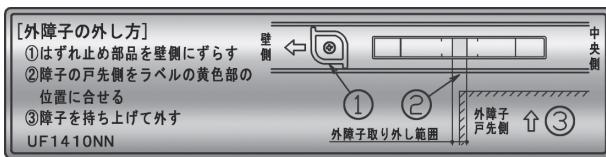
外障子はずれ止め(FNS-II 70・FNS-70シリーズ・NLSシリーズ)

ガラス障子の脱落を防止するためにサッシの上枠の部品とは別に、外障子下框の中央部に取付けられている金属製の部品です。

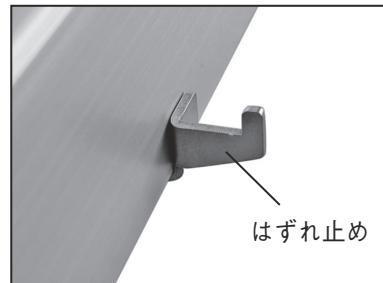
■開口形式別取付位置



外動片引き窓



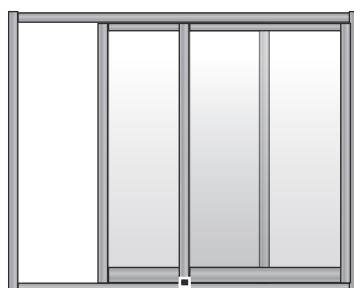
サッシ貼り付け手順ラベル



はずれ止め

◆操作方法

- ① 前項の上枠のはずれ止め部品を操作手順にそって、縦枠側にずらしてください。
- ② 外障子の戸先框の先端を上枠に貼り付けてあるラベルの黄色部の位置に合わせてください。
外障子を持ち上げて取り外せるようになります。
- ③ 外障子を持ち上げて室外側に振りだして外してください。
- ④ 外障子を元に戻す時は取り外した手順と逆手順で戻してください。
※外障子は所定の位置に合わせないとめ込めません。



外障子取り外し位置(サッシ中央)

お願い

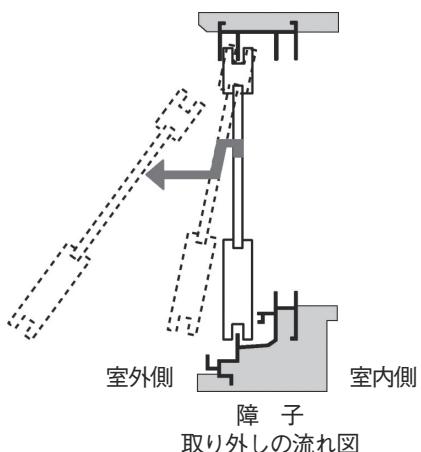
外障子をはずす時には、必ず手順の通りの位置に外障子の位置を合わせてください。
正しい位置以外でガラス障子を無理にはずそうとすると、サッシ枠やガラス障子の破損・キズの発生や、開閉不良の原因となることがあります。

■ガラス障子のはずし方(共通)

やむおえず、ガラス障子を取りはずす時は、下記の手順によりおこなってください。

【取りはずし手順】(室外側からの取りはずし手順)

- ① 網戸が取り付けられている場合は最初に網戸の取りはずし手順に従い取りはずしてください。
- ② 上枠はずれ止め及び風止め板を縦枠側へ操作手順により移動させてください。
- ③ ガラス障子は上枠に貼り付けられたラベルの位置にガラス障子を合わせてから、上に持ち上げガラス障子下部を室外側に押し出し、室外側にはずします。
- ④ 障子をはめ込む場合は上記の逆手順にてガラス障子を枠にはめ込み、はずれ止めと風止め板を所定の位置に合わせてください。



△注意

お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。

また、ご使用中、はずれ止めがずれることがあります。
時々、点検してください。

はずれ止めが正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠からはずれて落下するなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

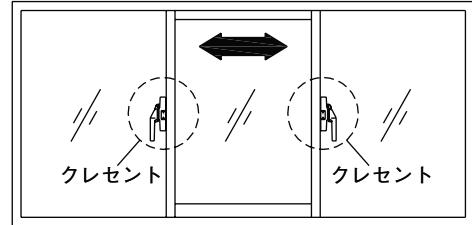
※ガラス障子が重いと感じた場合は、無理にガラス障子をはずさうとしないでください。
思わぬ事故や商品の破損につながります。

中央可動（バイパス窓）の操作

■FNS-70系

中央のガラス障子のみ可動する窓です。使用するときは下記の注記をよくお読みになり正しくご使用願います。

- ①左右のクレセントを両方とも、ロックが解除される方向に180°回転してください。ガラス障子が移動可能になります。
- ②閉める時は、左右のクレセントが当たらないことを確認し、ガラス障子をスライドさせてから、必ず左右のクレセントを回転してロックしてください。



お願い

クレセントは、必ず右・左とも完全に180°回転してください。

片側だけのクレセント操作ではガラス障子が固定しません。

また、完全に180°回転しないと、ガラス障子が当たり破損や傷の原因となります。

△注意

開閉は、引手やハンドルなど指定された場所を持って操作してください。

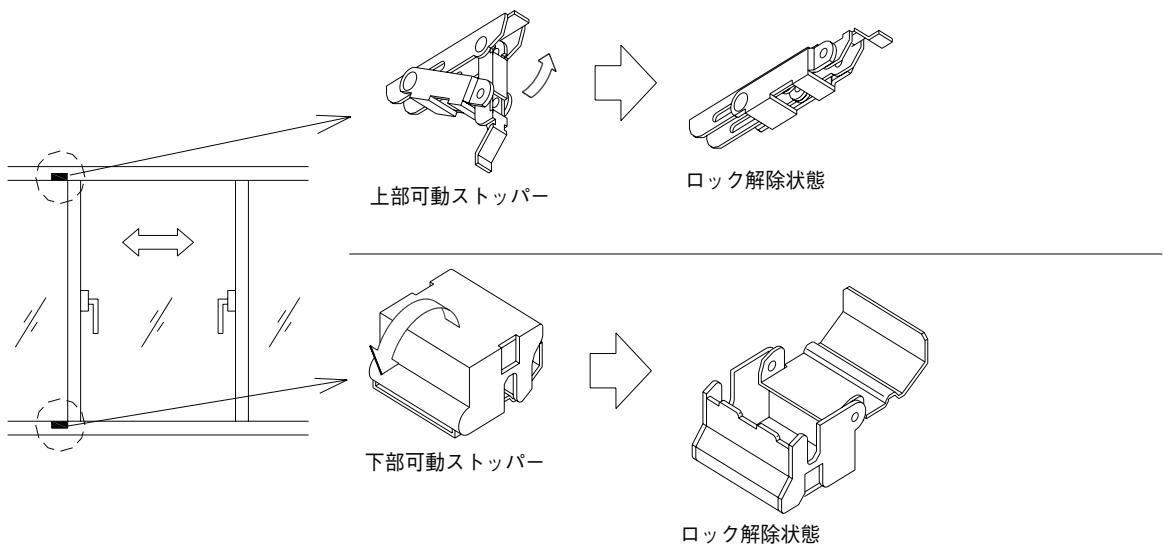
指定された場所以外のところを持つと指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。

開閉時、「枠と障子の間」や「障子が交差する所」に手や指や物を置かないでください。

手や指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。

■可動ストッパー

中央可動式片引き窓は、ガラス障子のストッパーに可動式のストッパーを採用しています。ストッパーを解除することによりガラス障子が左右に移動可能になります。窓の清掃などでストッパーを解除した場合は、作業終了後必ずセットし直してください。



お願い

ストッパーは片方（上部または下部）のみで使用しないでください。

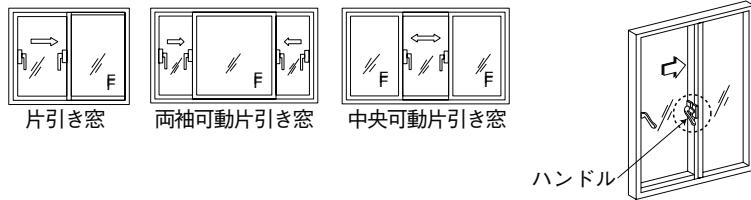
脱輪のおそれがありますので上下同時に働くようにしてください。

□AE-70N
□AE-100N

□断熱100
□AE-100PN

■ 片引き② (AE系 防音・断熱タイプ)

商品バリエーション

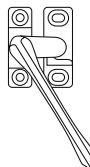


ハンドル

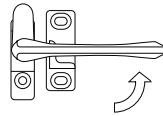
ガラス障子の開閉

■ 開閉操作

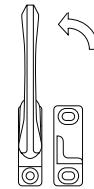
- ①左右のハンドルを上へハンドルが垂直な状態になるように回転すると、引き寄せ装置及びハンドルロックが解除されます。
- ②左右のハンドルロック解除を確認後、ガラス障子を開閉してください。
- ③閉める時は、ガラス障子を完全に閉めてから、左右のハンドルを回転しロックしてください。



施錠状態



①水平まで回すと上下の引寄せ金具が解除



②さらに90°回すと障子側のハンドルが解除

お願い

窓の開閉操作はゆっくりとおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。ある程度回転すると自動的に戻りますが、中途半端な操作では故障いたしますので、完全に左右のハンドルを垂直な状態に戻してから開閉してください。

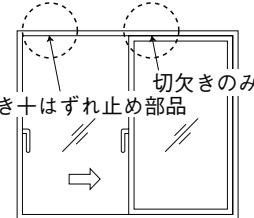
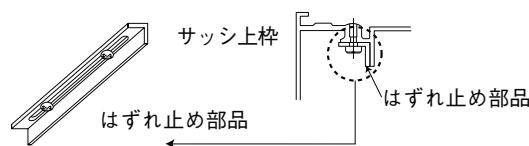
△ 注意

開閉は、引手やハンドルなど指定された場所を持って操作してください。
指定された場所以外のところを持つと指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。
開閉時、「枠と障子の間」や「障子が交差する所」に手や指や物を置かないでください。
手や指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。

はずれ止め部品

ガラス障子の脱落を防止するためにサッシの上枠の切り欠き部分をふさいで取り付けられている、L型のアルミ製品です。

(切り欠き部分をふさいでいる状態が、はずれ止め部品が機能している状態です)



△ 注意

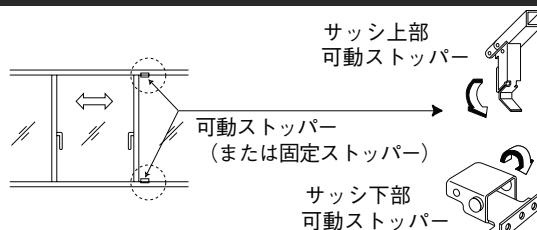
お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、はずれ止め部品は切り欠き部分をふさいだ位置で固定してください。

はずれ止めが正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠からはずれて落下するなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

※ガラス障子が重いと感じた場合は、無理にガラス障子をはずさないでください。
思わぬ事故や商品の破損につながります。

可動ストッパー (中央可動のみ)

中央可動片引き窓は、ガラス障子のストッパーに可動式のストッパーを採用しています。ストッパーを解除することによりガラス障子が左右に移動可能になります。窓の清掃などでストッパーを解除した場合は、作業終了後必ずセットし直してください。



お願い

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
メンテナンスで内部側ガラス障子を開閉した場合は、メンテナンス後必ず錠をかけてください。
内部側ガラス障子が開き、事故やけがにつながるおそれがあります。

■ スライディング窓オプション部品

クレセントバリエーション

□FNS-70 □FNS-70EAT □FNS-70AT □FNS-70P □NLS-I □NLS-II
□FNS-100 □FNS-100AT □FNS-100断熱

■樹脂製クレセント



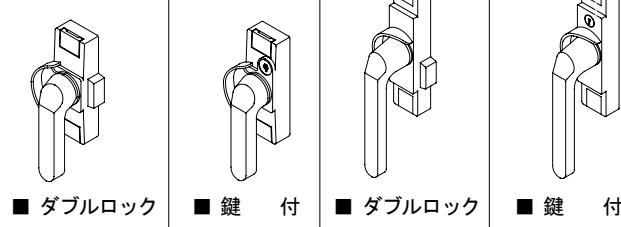
■ ダブルロック

■ 鍵 付

■ ダブルロック

■ 鍵 付

■亜鉛ダイキャスト製クレセント



■ ダブルロック

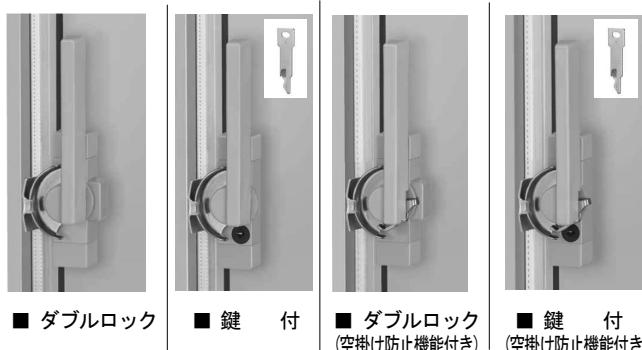
■ 鍵 付

■ ダブルロック

■ 鍵 付

□FNS-II70 □FNS-70 □FNS-70EAT □FNS-70P
□NLS-I

■樹脂製クレセント



■ ダブルロック

■ 鍵 付

■ ダブルロック
(空掛け防止機能付き)

■ 鍵 付
(空掛け防止機能付き)

■ クレセントの操作

●ダブルロック ・クレセントの横に付いているボタンを（標準タイプ）上下させることにより、ハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりすることができるタイプです。

●鍵付 ・クレセントの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、ハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりすることができるタイプです。

●空掛け防止機能付 ・ガラス障子を開めた状態でのみ施錠を可能にして掛け損じを防止できるタイプです。

お願い

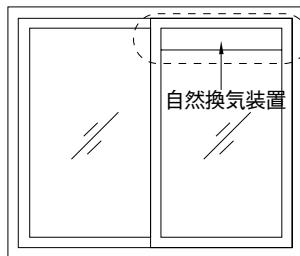
・クレセントのダブルロックまたは鍵をかけた状態でクレセントを無理に操作しないでください。
クレセントの破損につながるおそれがあります。

・空掛け防止機能がついているクレセントは、ガラス障子を開けた状態で無理に操作しないでください。
クレセントの破損につながるおそれがあります。

※クレセントのデザインは予告なく変更されることがあります。

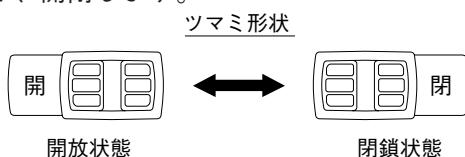
自然換気装置

引違い窓に取り付けられる自然換気装置です。



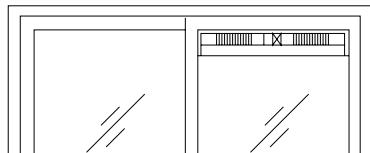
◆換気框の開閉

換気框にある操作用ツマミを左右にスライドさせることにより、開閉します。



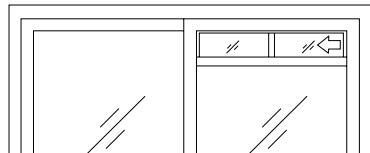
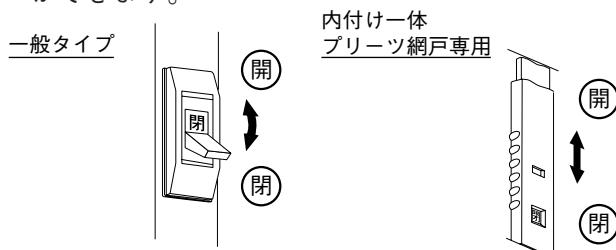
開放状態

閉鎖状態



◆換気小窓の開閉

小窓中央部の締まり金具を解除し、右側のガラスをスライドさせてください。引き加減で通気量の調整ができます。



お願い

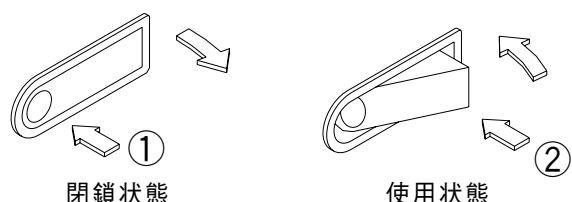
降雨、強風時には、換気小窓のガラスを閉めて施錠してください。
また、換気かまちも、操作つまみを「閉」の状態にして換気口を閉じてください。
就寝、外出時には換気小窓のガラスを閉めて施錠してください。

サブロック

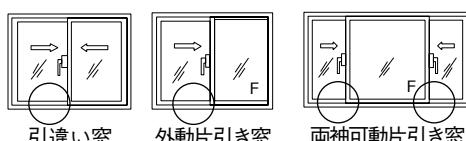
本品はクレセント締まりの補助部品として取り付けられています。クレセントと併用してご使用ください。

◆操作方法

1. サブロック使用時は右図の①を押してください。
先端が飛び出しへストップ機能が有効になります。
2. サブロックを収納する時は、飛び出しているストップバーの先端（右図②）を押し込むとストップ機能が無効になります。



開口形式別取付位置



お願い

ご使用の際は必ずクレセントと併用してください。
サブロックが掛けた状態で無理にガラス障子を開閉しないでください。窓またはサブロックの破損につながるおそれがあります。
就寝、外出時には、クレセントを施錠するとともに、サブロック（防犯補助錠）もセットしてください。

本品は、窓の開閉をテコの原理を応用した構造で、窓の操作を小さな力でおこなえる操作ハンドルです。ご使用の際は本書を良くお読みになり正しくお使いください。

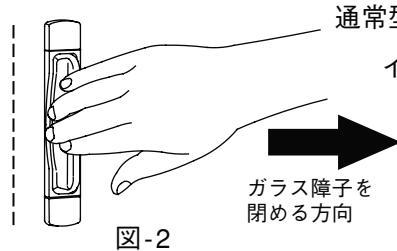
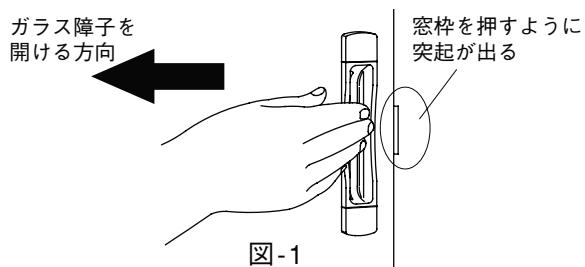
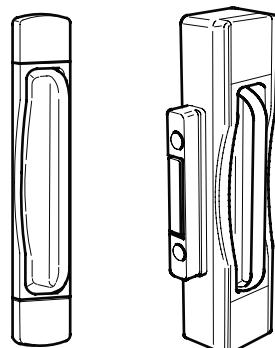
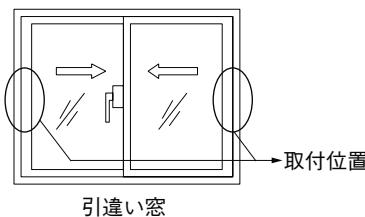
イーズハンドル

◆開閉操作(内観右側での操作説明)

ガラス障子を開ける時は、図-1のよう、引き手に手をかけてガラス障子を開ける方向に引いて窓を開けてください。

(テコの原理により窓枠を押すようにしてガラス障子が開きます)

ガラス障子を閉める時は、図-2のように、引き手に手をかけてガラス障子を閉める方向に引いて窓を閉めてください。



お願い

窓を開ける場合はクレセントを解錠してから操作してください。

イーズハンドルの破損につながるおそれがあります。

開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な開閉操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

△注意

開閉は、引手やハンドルなど指定された場所を持って操作してください。

指定された場所以外のところを持つと指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。

開閉時、「枠と障子の間」や「障子が交差する所」に手や指や物を置かないでください。

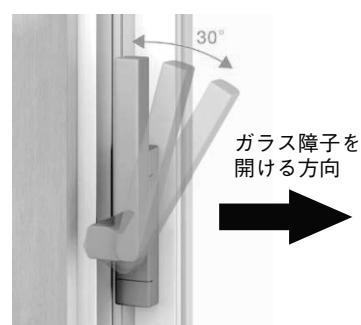
手や指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。

ユニバーサルハンドル

◆開閉操作

①ハンドルを図-3のように矢印の方向に引いてください。

②ハンドルが窓枠を蹴り出して軽くガラス障子が開きます。



ユニバーサルハンドル

図-3

お願い

窓を開ける場合はクレセントを解錠してから操作してください。

ユニバーサルハンドルの破損につながるおそれがあります。

開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な開閉操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

△注意

開閉は、引手やハンドルなど指定された場所を持って操作してください。

指定された場所以外のところを持つと指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。

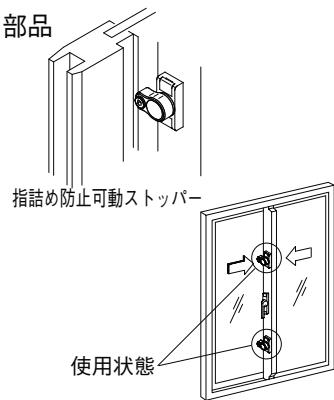
開閉時、「枠と障子の間」や「障子が交差する所」に手や指や物を置かないでください。

手や指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。

■指詰め防止可動ストッパー

本品は、窓開放時に指をガラス障子に挟まないようにするために取り付けられる部品です。ご使用の際はこの説明書を良くお読みになり正しくお使いください。

本品は通常ストッパーを掛けた状態で使用します。
窓を全開に開放する場合は下記の手順にしたがって操作してください。



■ストッパーの操作方法

- ①ストッパーを解除する時は90°上に回転して上を向いた状態で下に下げる時、ストッパーが上向きで固定されます。
- ②元に戻す時は逆の手順で元に戻してください。



お願い

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。無理な操作は指詰め防止可動ストッパーの破損・思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

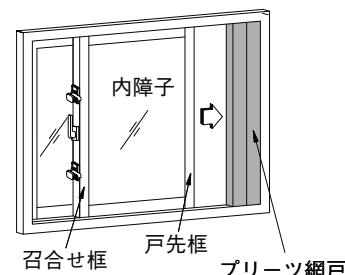
指詰め防止可動ストッパーを解放状態から使用状態に戻す時には、指詰め防止可動ストッパーを上に持ち上げてから回転してください。無理に回転すると指詰め防止可動ストッパーの破損の原因となります。

指詰め防止可動ストッパーは上または下1個での使用はしないでください。

指詰め防止可動ストッパーが破損するおそれがあります。

指詰め防止可動ストッパー解除後、作業を終了したら必ず元の状態に戻してください。室内側へ180°回る構造になっていますが、プリーツ網戸が取付けられている場合は180°回転しないでください。やむをえず回転する場合は下記の注意事項をお守りください。

プリーツ網戸一体商品の場合は指詰め防止可動ストッパーを180°開放する際、必ずプリーツ網戸を縦枠側（引違いの時は内側ガラス障子縦枠・片引きの時は左右寄せられる方の縦枠）へ収納してから開放してください。指詰め防止可動ストッパーがプリーツ網戸と接触し回転ストッパーやプリーツ網戸の破損の原因となります。



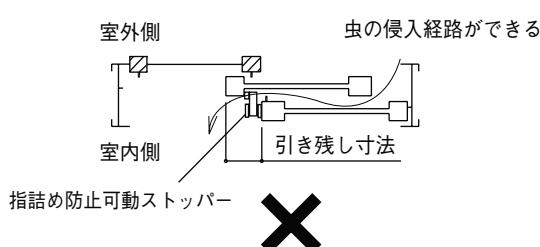
■ストッパー使用時の網戸の使用方法について

網戸の種類及び使用条件により防虫効果が異なりますので、次の事項をご理解の上正しくご使用ください。

①外側ガラス障子を開放して使用する場合

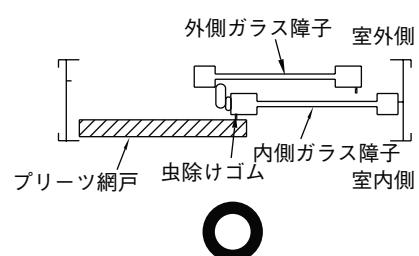
◆一般網戸

外側ガラス障子と内側ガラス障子との間の一部にスキマが生じますので防虫効果が十分発揮されません。



◆プリーツ網戸・イーズネット

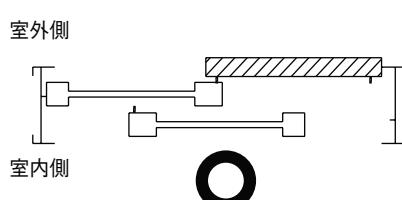
外側ガラス障子がどの位置にあっても防虫効果は十分発揮されます。



②内側ガラス障子を開放して使用する場合

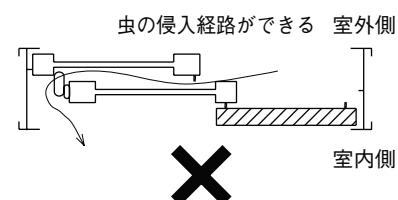
◆一般網戸

内側ガラス障子がどの位置にあっても防虫効果は十分発揮されます。



◆プリーツ網戸・イーズネット

内側ガラス障子と外側ガラス障子との間の一部にスキマが生じますので防虫効果が十分発揮されません。

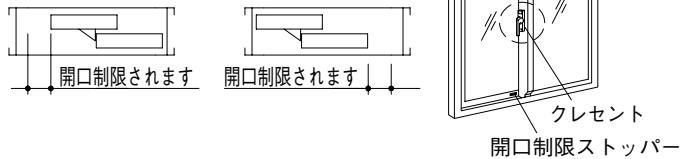


開口制限ストッパー

本品は、換気などの目的で窓を開放したときに、窓の開口寸法を制限するための商品です。
必ずご使用前にこの説明書をお読みになり正しくお使いください。

■ガラス障子の開閉

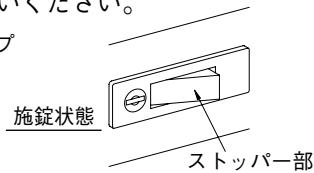
- ①クレセントを上又は下に180°回してください。
ロックが解除され、ガラス障子が移動可能になります。
- ②ストッパーにより開口幅が規制されて開きます。



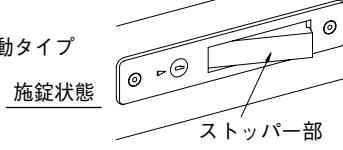
■開口制限ストッパーの種類

開口制限ストッパーには3種類あり操作方法が異なりますので、ご使用になる前に対象品の確認をして正しくお使いください。

①標準タイプ



②高強度タイプ
③高強度内外連動タイプ



お願い

開口制限ストッパー施錠状態での過剰な力によるガラス障子開放操作はしないでください。
開口制限ストッパーが破損し、窓が全開できなくなるおそれがあります。

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。破損などの原因で開口制限ストッパーが解除できなくなった場合は、管理会社様、または販売会社様へ修理をご依頼ください。



▲注意

- ①開口制限ストッパーとガラス障子の間に手や足をはさまないようご注意ください。

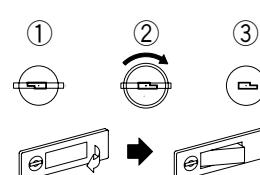
■開口制限ストッパーの使用方法

開口制限ストッパーには3種類あり操作方法が異なりますので、ご使用になる前に対象品の確認をして正しくお使いください。

– 標準タイプ

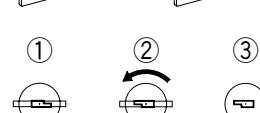
□施錠時

- ①鍵を差し込む。
 - ②鍵を時計回りに180°回す。（施錠状態になる）
 - ③鍵を抜く
- ※施錠後に事故防止のため飛び出したストッパー部を指で押して、解錠しないことを必ず確認してください。



□解錠時

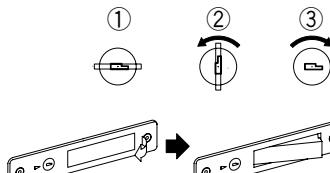
- ①鍵を差し込む。
- ②鍵を反時計回りに180°回す。（解錠状態になる）
- ③鍵を抜く



– 高強度タイプ（内外連動含む）

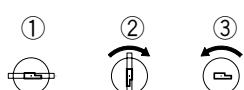
□施錠時

- ①鍵を差し込む。
 - ②鍵を反時計回りに90°回す。（施錠状態になる）
 - ③鍵を時計回りに90°回し、鍵を抜く
- ※施錠後に事故防止のため飛び出したストッパー部を指で押して、解錠しないことを必ず確認してください。



□解錠時

- ①鍵を差し込む。
- ②鍵を時計回りに90°回す。（解錠状態になる）
- ③鍵を反時計回りに90°回し、鍵を抜く



– 室外からの操作（内外連動タイプのみ）

□施錠時

- ①コイン等で時計回りに90°回す。



□解錠時

- ①コイン等で反時計回りに90°回す。



戸先締まり

本品は、防犯性を高めるために取り付けられるオプション部品でクレセントと併用して使用することにより高い防犯性能を発揮します。

■戸先締まり種類

①オートロックタイプ（腰高窓用）

引違い窓・片引き窓の戸先框に内蔵されており、窓を閉めると自動的に施錠されるタイプです。

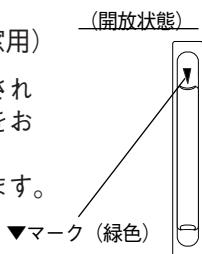
窓の鍵のかけ忘れを防止します。

▼マーク（緑色）

②マニュアルロックタイプ（テラス窓用）

引違い窓・片引き窓の戸先框に内蔵されており、手動で室内側から施錠操作をおこなうタイプです。

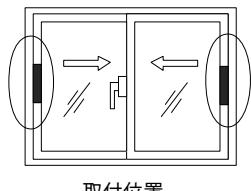
出入りをおこなう窓に取り付けられます。



■操作手順

◆オートロックタイプ（腰高窓用）

窓を閉鎖した状態では常にロックがかかった状態になります。窓を開けるときは下記の手順にて操作をおこなってください。



◇操作手順

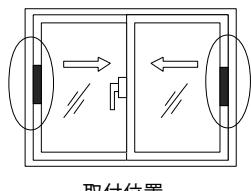
1. 締まり部品を指で押し下げます。
2. 締まり部品を指で押し下げたまま指を離さずに窓を開けてください。
3. 窓が開いたら締まり部品から指を離してください。

※窓を閉鎖すると戸先締まりは、自動的に施錠されます。

◆マニュアルロックタイプ（テラス窓用）

室内側より手動で締まり部品を操作します。

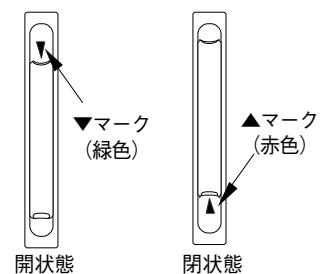
部品の施錠・解錠は下記の手順にて操作をおこなってください。



◇操作手順

1. 締まり部品を指で上げると施錠されます。
2. 締まり部品を指で下げるとき解錠されます。

※締まり部品の施錠・解錠は締まり部品の表示マークにて判別できるようになっています。



お願い

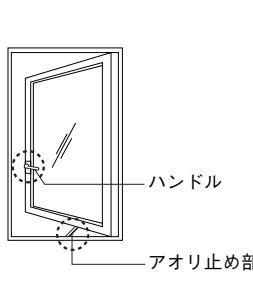
戸先締まり部品が掛かった状態で無理に窓を開けないでください。戸先締まり部品の破損の原因となります。

本品は補助ロック部品ですので、施錠は必ずクレセントも同時にかけてください。

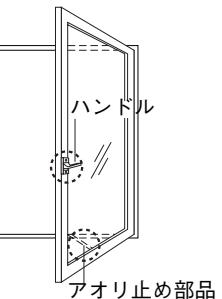
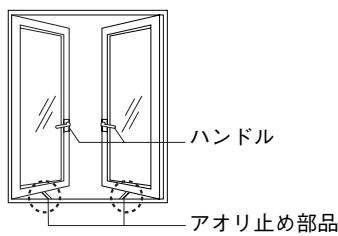
開き窓の取扱い 一外開き窓・内開き窓一 (片開き窓・両開き窓)

ガラス障子の開閉

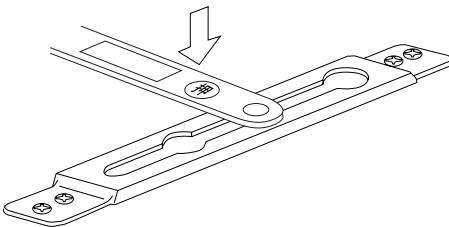
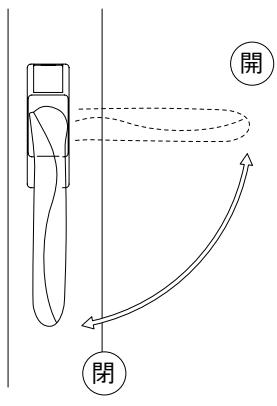
- ①ハンドルを上に90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、ガラス障子が止まるまで押出しましたは手前に引いてください。
- ③アオリ止め部品が動き、設定された角度で自動的にガラス障子がストップし固定されます。
- ④固定角度を変えたいときは、アオリ止め部品の(押)のラベル部分を押しながらガラス障子を開いてください。次の設定角度で止まります。
- ⑤ガラス障子を閉める時は、アオリ止め部品の(押)のラベル部分を押しながらガラス障子を閉めてください。
- ⑥ガラス障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



外開き窓



内開き窓



ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口（火災時に消防隊が外部から進入できる窓）であり、ガラス障子が90°まで一度開きます。風にあおられる恐れがありますので、開閉は注意しておこなってください。（外部ハンドルで、ガラス障子が外から開けられます。）

お願い

開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
窓開放時ハンドルを“閉”方向に回さないでください。窓を閉める時にハンドルを“閉”にしていると、窓を破損させるおそれがあります。

△注意

- 窓やガラスの落下防止のため、風の強い時は、窓を閉めて、必ずハンドル（錠）をかけてください。ハンドル（錠）がかからっていないと、ガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、落下や破損など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 開閉時、ガラス障子が動き出したら、アオリ止めから手を放してください。手や指をはざまれたり、破損したりするなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

たてすべり出し窓の取扱い

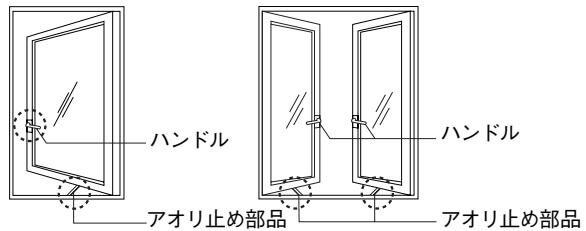
(たてすべり出し窓・両たてすべり出し窓)

開放バリエーション

たてすべり出し窓は、バリエーションごとに操作方法がことなりますのでバリエーションご確認の上、注意事項を良く読み正しくご使用ください。

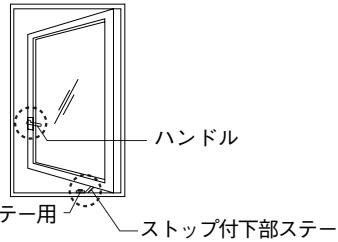
1. アオリ止め付き

指定角度で固定するアオリ止め部品が付いたタイプで、決められた一つの角度で固定されるタイプと、複数の角度で止まるタイプがあります。(30°, 45°, 90°)



2. アオリ止めなしストップ付き下部ステー付き

指定角度で固定するストップ付き下部ステー部品が付いたタイプで、複数の角度で止まります。(約41°, 90°)

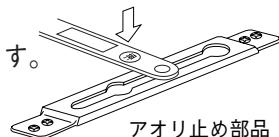


3. アオリ止めなし、90°ストップのみ (窓幅700mm以下)

ガラス障子の開閉

1. アオリ止め付き

- ①ハンドルを上に90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、ガラス障子が止まるまで押出してください。
- ③アオリ止め部品が動き、設定された角度で自動的にガラス障子がストップし固定されます。
- ④固定角度を変えたいときは、アオリ止め部品の(押)のラベル部分を押しながらガラス障子を開いてください。次の設定角度で止まります。
- ⑤ガラス障子を閉める時は、アオリ止め部品の(押)のラベル部分を押しながらガラス障子を閉めてください。
- ⑥ガラス障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



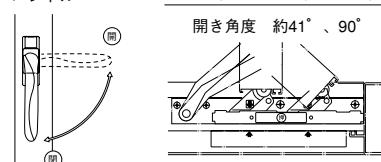
ストップ付き下部ステー



押ボタンを押すことにより、窓の開き角度が選べます。
(開き角度 約41°、90°)

FP-AT70

ストップ付下部ステー (HG 5182)
ステー操作ラベル (VE 1981)



FP-AT100

2. アオリ止めなしストップ付き下部ステー付き

- ①ハンドルを上に90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、ガラス障子が止まるまで押出してください。約41°で自動的にガラス障子がストップし固定されます。
- ③固定角度を変えたい時は、「ストップ付下部ステー用押ボタン」を押しながらガラス障子を開いてください。次の設定角度90°でストップし、固定されます。
- ④ガラス障子を閉める時は、「ストップ付下部ステー用押ボタン」を押しながらガラス障子を閉めてください。
- ⑤ガラス障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。ハンドル

3. アオリ止めなし、90°ストップのみ (窓幅700mm以下)

- ①ハンドルを上に90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、ガラス障子が止まるまで押出してください。90°の位置まで開くことができます。
- ③ガラス障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。

ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口（火災時に消防隊が外部から進入できる窓）であり、ガラス障子が90°まで一度に開きます。風にあおられる恐れがあるので、開閉は注意しておこなってください。(外部ハンドルで、ガラス障子が外から開けられます。)

お願い

開閉操作はゆっくりおこなってください。
急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
窓開放時ハンドルを“閉”方向に回さないでください。窓を閉める時にハンドルを“閉”にしていると、窓を破損させるおそれがあります。

△注意

- 窓やガラスの落下防止のため、風の強い時は、窓を閉めて、必ずハンドル（錠）をかけてください。ハンドル（錠）がかからっていないと、ガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、落下や破損など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 開閉時、ガラス障子が動き出したら、アオリ止めから手を放してください。手や指をはさまれたり、破損したりするなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

■ 開き窓・たてすべり出し窓オプション部品の取扱い(開口制限ストッパー)

本品は人の転落防止のため、窓の開放幅を約90mmに制限するオプションのストップ部品です。ストップ部品を解除することにより窓を全開にすることができます。ご使用の際には、本取扱説明書を良くお読みになり正しく使用してください。窓本体の取扱いについてはP24、P25本体の取扱説明書をお読みください。



スマートフォンから動画がご覧いただけます。

開口制限ストッパー

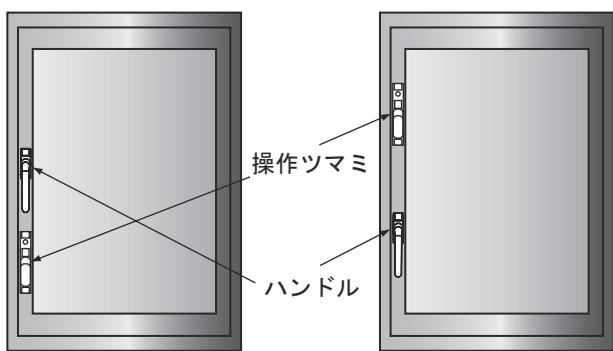
■ 開口制限ストッパーの種類

開口制限ストッパーは切替え用ツマミ固定キー「付き」と「なし」の2種類があります。



■ 取付位置

本品はハンドルの上または下の位置に取り付けられています。



■ 操作ツマミの各部名称とはたらき



- ①切替え用ツマミ固定キー …… 切替え用ツマミの動きを固定するための鍵です。
- ②切替え用ツマミ …… ツマミを横スライドすることによりON・OFFの切替えをおこない窓の開口制限と全開放を切替えることができます。
- ③ロック解除ツマミ …… 開口制限のかかった窓を閉鎖するときに、ストッパーームのロックを解除するため使用します。
- ④アームストッパー …… 開口制限ストッパーがロック状態のとき、窓の開放状態を維持します。

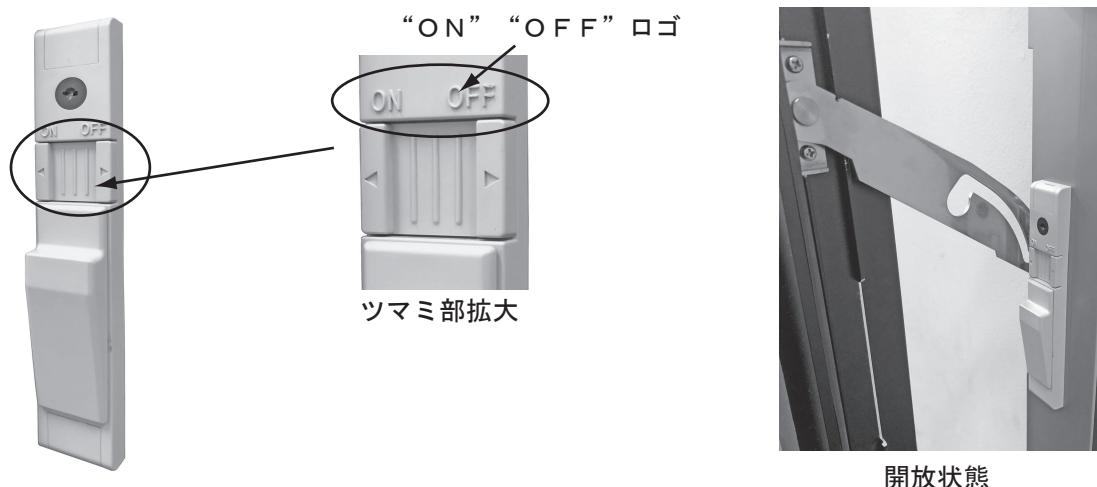
■ ご使用上の注意

- ・開口制限ストッパーがロック状態の時、アームストッパーに触らないでください。思わぬけがにつなるおそれあります。
- ・窓を全開にしているときに、切替え用ツマミを「ON」にしないでください。ロックが解除され、窓が閉まらなくなります。また、破損の原因となることがあります。
- ・黒色の樹脂部品が出ている状態で窓を閉めないでください。破損の原因となります。



■開口制限ストッパーの使用手順

- 上記の②切替え用ツマミが“ON”的状態になっていることを確認してから、窓のハンドルを開放して窓を開けてください。アームストッパーがはたらいて約90mmの開口寸法で窓の開放が止まります。



開放状態

- 窓を閉鎖する時は③ロック解除用ツマミを完全に下まで押し下げるください。
アームストッパーを押し上げるツメが出てきてアームストッパーを持ち上げ、ロックが解除されます。



- ロックが解除されたらハンドルを持って窓を手前に引いて閉鎖してください。
- 最後にハンドルを閉鎖状態にしてください。

※〈キー付き時〉通常窓の全開放をしない場合や、させたくない場合は固定キーを施錠しておくことで切替え用ツマミを“ON”で固定することができます。

▲注意

- 窓やガラスの落下防止のため、風の強い時は、窓を閉めてください。
ガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、落下や破損など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

お願い

開口制限ストッパーがかかるっている状態でストッパーアームにさわらないでください。
ストッパーアームのロックが解除され窓が閉鎖し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
窓が開放状態の時に、切替え用ツマミを“ON”にしないでください。開口制限ストッパーが当たり窓が閉鎖しなくなります。また、開口制限ストッパーの破損の原因となります。

開閉操作について

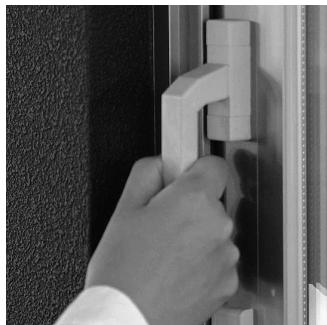
開閉操作の際は、下記の手順にしたがって操作してください。

■ 開閉操作

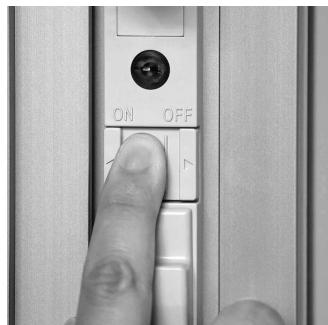
1. 開口幅を約90mmに制限する場合

(1) 窓を開ける

- 1) 窓が閉まっている状態でハンドルがロックされている事を確認してください。
ロックされていない場合はロックしてください。



- 2) 切替え用ツマミが「ON」になっているか確認してください。切替え用ツマミが「OFF」の時は「ON」にしてください。
※ 切替え用ツマミの位置が中途半端な状態で窓を開くと、部品が破損するおそれがあります。

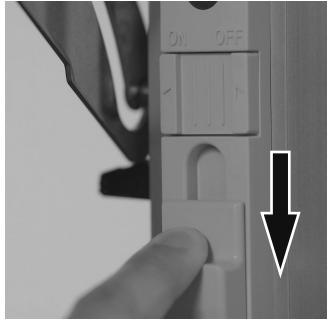


- 3) ハンドルのロックを解除し、窓を開けてください。
約90mm開いたところで窓が止まり、アームストッパーがロックされます。



(2) 窓を閉める

- 1) ロック解除ツマミを一番下まで押し下げるごと、アームストッパーのロックが解除されます。



- 2) ロックが解除されたら、ロック解除ツマミから手を離してください。
※ ロック解除用ツマミを押し続けたまま、窓を閉めると部品が破損するおそれがあります。



- 3) アームストッパーが解除されていることを確認し、窓を閉めてハンドルをロックしてください。



(3) 開口制限ストッパーを解除させない(固定キー付き)

開口制限ストッパーは解除できないよう鍵がかけられています。解除させない場合は、キーを差し込み、回すことでロックされ、切替え用ツマミの操作ができなくなります。

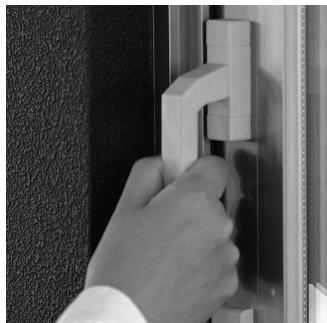


■ 開閉操作

2. 窓を全開にする場合

(1) 窓を開ける

- 1) 窓が閉まっている状態でハンドルがロックされている事を確認してください。
ロックされていない場合はロックしてください。



- 2) 切替え用ツマミ固定キーが付いているタイプは、固定キーを差し込みロックを解除してください。



- 3) 次に開口切替え用ツマミを「OFF」にします。

※注意：開口切替え用ツマミの位置が中途半端な状態で窓を開くと、部品が破損するおそれがあります。



- 4) ハンドルのロック外して、窓を開けてください。窓を全開にできます。

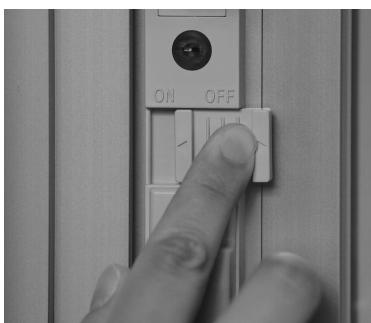


(2) 窓を閉める

- 1) 全開の窓はロックがかかっていません。手で操作をすれば閉めることができます。窓を閉めた後は、ハンドルをロックしてください。



- 2) 切替え用ツマミをもとの位置に戻してください。



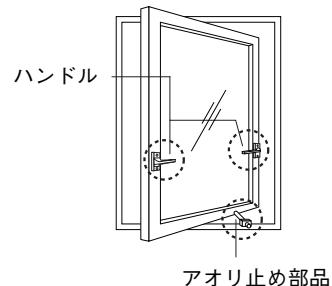
■ たて軸回転窓の取扱い

開放バリエーション

たて軸回転窓は、バリエーションごとに操作方法がことなりますのでバリエーションご確認の上、注意事項を良く読み正しくご使用ください。

■面付式アオリ止め

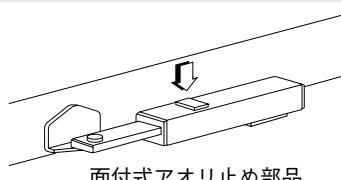
室内面に露出型のアオリ止め部品が付属しています。



ガラス障子の開閉

- ①両側のハンドルを上に90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、ガラス障子が止まるまで回転させてください。
- ③アオリ止め部品が動き、設定された角度で自動的にガラス障子がストップし固定されます。
- ④固定角度を変えたい時は、アオリ止め部品の(PUSH)・(押)ボタンを押しながらガラス障子を開いてください。次の設定角度で止まります。
- ⑤ガラス障子を閉める時は、アオリ止め部品の(PUSH)・(押)ボタンを押しながらガラス障子を閉めてください。
- ⑥ガラス障子を閉めたら、必ず両側のハンドルを下向きにしてロックしてください。

ハンドルの回転方向、ガラス障子の開く方向は、ハンドル下の操作ラベルに記載されています。



面付式アオリ止め部品

ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口(火災時に消防隊が外部から進入できる窓)であり、ガラス障子が90°まで一度に開きます。風にあおられる恐れがありますので、開閉は注意しておこなってください。(外部ハンドルで、ガラス障子が外から開けられます。)

お願い

開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。窓開放時ハンドルを“閉”方向に回さないでください。窓を閉める時にハンドルを“閉”にしていると、窓を破損されるおそれがあります。

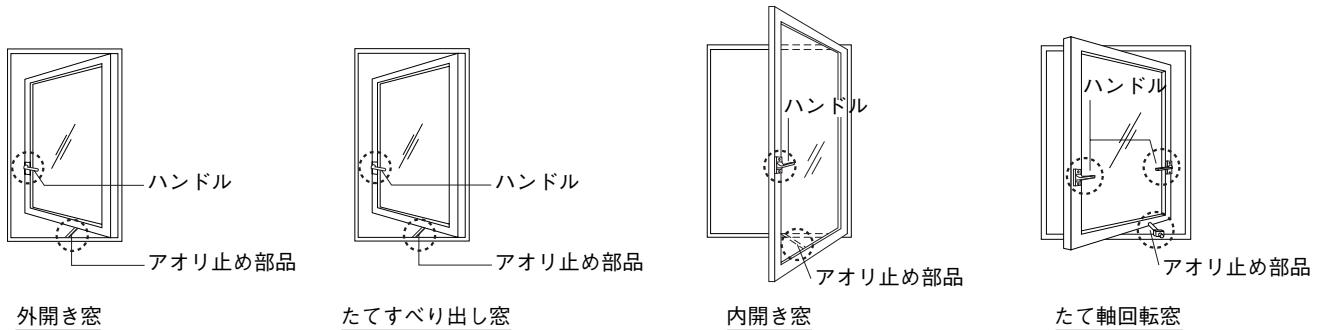
△注意

- ❶ 窓やガラスの落下防止のため、風の強い時は、窓を閉めて、必ずハンドル(錠)をかけてください。ハンドル(錠)がかからっていないと、ガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、落下や破損など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 開閉時、ガラス障子が動き出したら、アオリ止めから手を放してください。手や指をはざまれたり、破損したりするなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

スイング窓オプションハンドルの取扱い

対象バリエーション

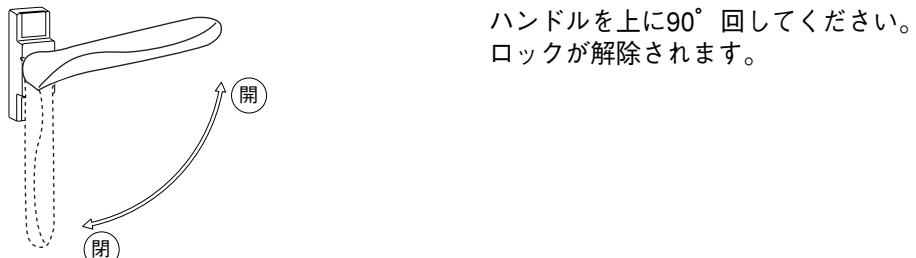
オプションハンドル対象の開口形式は以下のとおりです。障子の開閉操作については各窓の取扱説明をご覧ください。



ハンドル種類

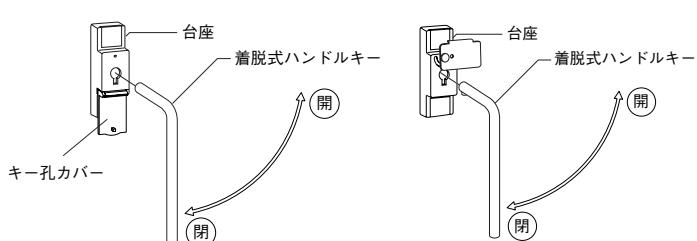
上記の機種は、ハンドルのタイプが下記の3種類のいずれかになります。

1. 標準ハンドル



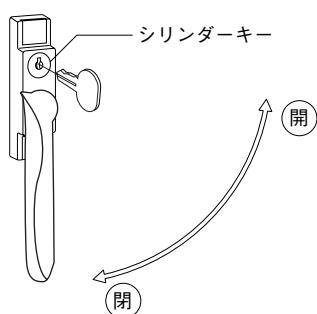
ハンドルを上に90°回してください。
ロックが解除されます。

2. 着脱式ハンドルキー



ハンドルキーが着脱式になっています。
台座のキー孔カバーを動かしてハンドルキーを
差し込み、上に90°回してください。
ロックが解除されます。

3. シリンダーキー付ハンドル



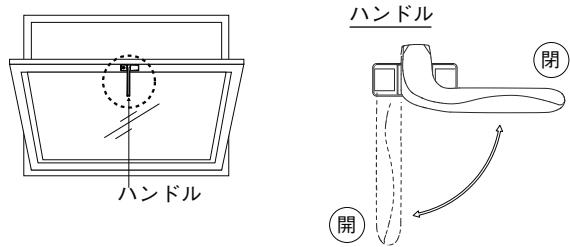
標準ハンドルと類似していますが、台座上部に
シリンダーキーが付いています。
キーを操作することにより、ハンドルが上に
90°回せるようになります。

■ 内倒し窓の取扱い (ハンドル式・トップラッチ式)

ガラス障子の開閉

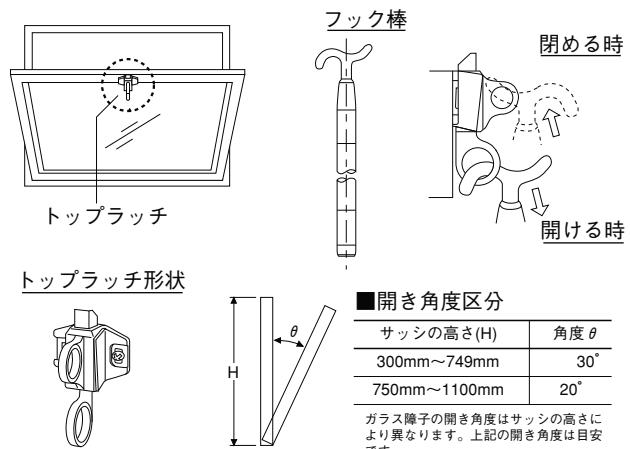
■ハンドル式

- ①ハンドルを下に90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、ガラス障子が止まるまで引いてください。設定された角度で自動的にガラス障子がストップします。
- ③ガラス障子を閉める時は、ハンドルを下向きのまま押してください。
- ④ガラス障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにしてロックしてください。



■トップラッチ式

- ①上框の締まり部品（トップラッチ）の丸環部分に手またはフック棒をかけて、静かに引いてください。ロックが解除されます。
- ②①の状態から、ガラス障子が止まるまで引いてください。設定された角度で自動的にストップします。
- ③ガラス障子を閉める時は、トップラッチの丸環部分にてまたはフック棒をかけて静かにガラス障子を押し上げて閉め、トップラッチがロックされたことを確認してください。



お願い

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。風にあおられるおそれがあります。ハンドル、トップラッチの操作ツマミをしっかりと持ち、注意して開閉してください。窓開放時にハンドルを“閉”方向に回さないでください。窓を閉める時にハンドルを“閉”方向にしていると、窓を破損させるおそれがあります。

△注意

- ❶ 窓やガラスの落下防止のため、風の強い時は、窓を閉めて、必ずハンドルまたはトップラッチ（錠）をかけてください。ハンドルまたはトップラッチ（錠）がかからっていないと、ガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、落下や破損など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。ガラス障子の開閉時は、ハンドルまたはトップラッチ以外に手をかけないでください。手や指をはさみ、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

内倒しストッパーの操作方法

本品は、網戸のメンテナンスなどの時に内倒し角度を大きくするための部品です。メンテナンス時以外は操作しないでください。
(サッシサイズ 高さ600mm以下の時取付け)

1. 開放操作手順

- ①完全に閉鎖されていることを確認してください。
- ②左右たてかまちに取り付いている内倒しストッパーのツマミを手前に引きます。
- ③ガラス障子を支えながら締まり部品（ハンドルまたはトップラッチ）を解錠します。
- ④ガラス障子が止まるまで室内側へ倒すと約60°の角度でストップします。



※閉鎖する時は上記と逆の手順でおこなってください。
※閉鎖時は確実に内倒しストッパーのツマミを押し戻してください。

お願い

開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。窓の開放時ロックがされないため清掃やメンテナンス作業時に手や指を挟まないようご注意ください。

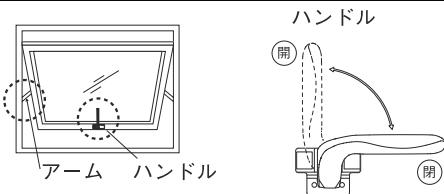
すべり出し窓の取扱い

ガラス障子の開閉

- ①ハンドルを上に90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、ガラス障子が止まるまで押し出してください。
設定された角度でガラス障子がストップします。
- ③ガラス障子を閉める時は、ハンドルを上向きのまま押してください。
- ④ガラス障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにしてロックしてください。

お願い

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。
急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかりと持ち、
注意して開閉してください。
窓開放時にハンドルを“閉”方向に回さないでください。
窓を閉める時にハンドルを“閉”方向にしていると、
窓を破損させるおそれがあります。



開き角度区分

サッシの高さ(H)	角度θ
300mm~499mm	30°
500mm~799mm	25°
800mm~1100mm	20°

ガラス障子の開き角度はサッシの高さにより異なります。上記の開き角度は目安です。

△注意

- ❶ 窓やガラスの落下防止のため、風の強い時は、窓を閉めて、必ずハンドル錠（錠）をかけてください。
ハンドル（錠）がかからっていないと、ガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、落下や破損など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- ガラス障子の開閉時は、ハンドル以外に手をかけないでください。手や指をはさみ、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

□FP-AT70 □FP-AT100

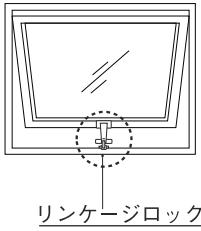
突出し窓の取扱い

(リンクエージロック)

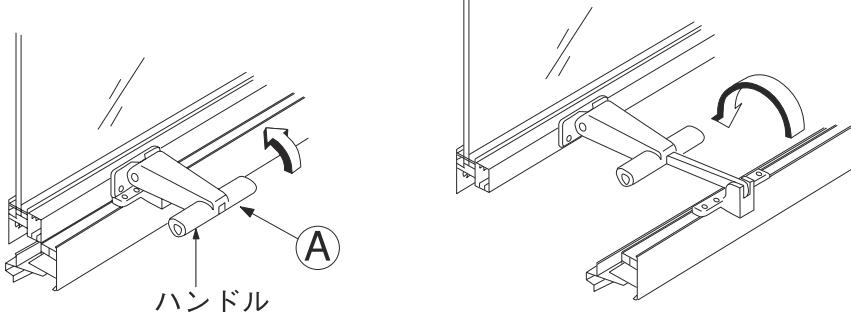
ガラス障子の開閉

■リンクエージロック

- ①ハンドル（リンクエージロック）のⒶ部分を持ち上げながら、半円を描くように前に押し出してください。
- ②ロックが解除され、ハンドルの長さ分だけ窓が開きます。
- ③ガラス障子を閉める時は、ハンドルのⒶ部分を持ち上げながら、半円を描くように手前に引いてください。



ガラス障子の開き寸法は窓の大きさに関係なく、約90mmです。



お願い

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。
急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
風にあおられるおそれがあります。リンクエージロックをしっかりと持ち、開閉してください。

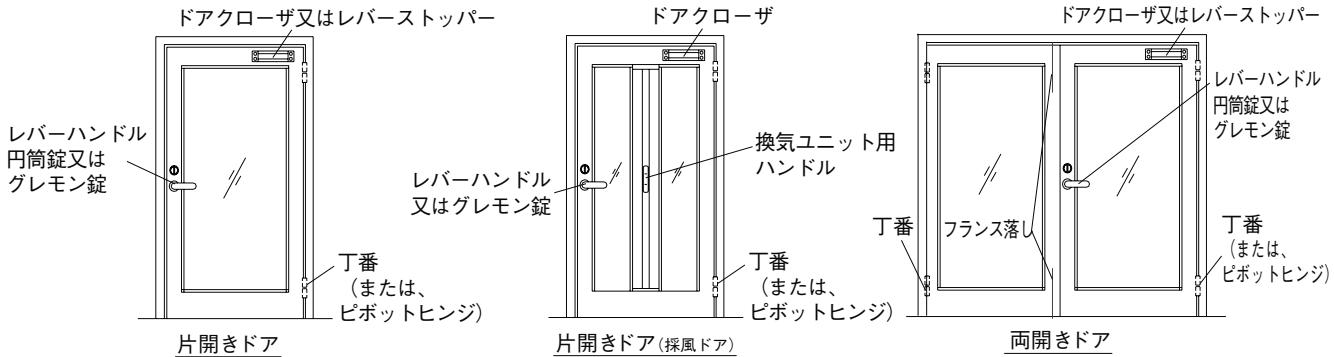
△注意

- ❶ 窓やガラスの落下防止のため、風の強い時は、窓を閉めてください。
窓が開いた状態だと、ガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、落下や破損など、人身事故につながるおそれがあります。
- ガラス障子の開閉時は、リンクエージロック以外に手をかけないでください。手や指をはさみ、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

■開きドアの取扱い

(ドアクローザ・丁番・レバーストップ・グレモン締まり・採風ドア)

商品基本パターン



自閉装置および扉ストップ装置の操作

■ドアクローザ

ドアクローザは開いたドアを自動的に閉める装置です。

- ドアクローザはストップ付きとストップ無しの2種類の商品があります。

(ストップ付きは、ドアを90°開いた状態でドアの作動を停止する機能を有しています)

- 同室内で他の開口部(窓、玄関ドアなど)が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが速くなることがあります。

※ドアクローザの■使用上のお願い、■速度調整のしかた、については別頁「ドアクローザの取扱い」をご覧ください。

■レバーストップ

レバーストップはドアを90°開いた状態で軽く固定する部品です。

- 同室内で他の開口部(窓、玄関ドアなど)が開いていると、風の流動により急激に開閉することがあります。

使用上の注意

▲注意

- ◎ ドアの開閉時には、丁番側のすきまに手を置かないでください。指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。
- 風の強い時はドアを閉めて、必ず施錠してください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアにぶつかったり、はさまれたりするなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。やむをえず開閉が必要な場合は、ドアノブやハンドルをしっかり持って操作してください。

お願い

開閉操作はゆっくりおこなってください。

急激なドアの開閉は手をはさむなど事故やけがにつながるおそれがあります。

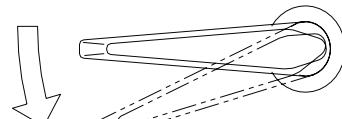
ドアの開閉時には、ドアノブやハンドル以外で操作したり、枠に手や足を置いたりしないでください。
ドアと枠の間で手や足をはさまるれるなど、人身事故につながるおそれがあります。

グレモン締りの操作(グレモン締り仕様時のみ)

グレモン締りは、レバーハンドルの操作により、ドアの上下枠にロット棒を突き出して施錠をおこないます。次の操作手順に従って操作をしてください。

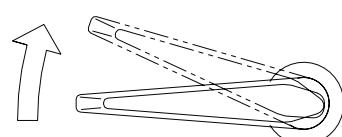
■開放時

- ①サムターン(シリンダー)を解除した後、レバーハンドルを下へ押し下げた状態でドアを開けてください。



■閉鎖時

- ①ドアを閉めた後、レバーハンドルを一度上に押し上げてグレモン締りを作動させ、サムターン(シリンダー)を回してください。



錠 前

鍵が回りにくくなった場合の簡単なメンテナンス方法を記載します。
注意事項をよくお読みになり正しくご使用ください。

■掃除機による方法

- ①掃除機を鍵穴に当ててほこりを吸い取ってください。

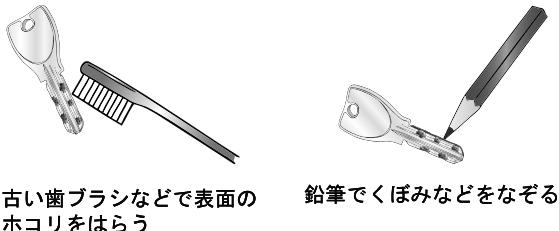
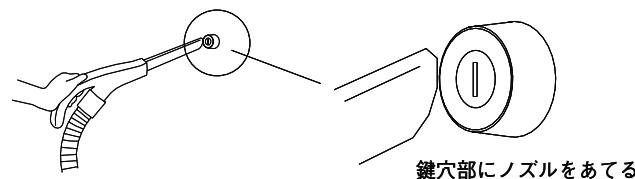
■鍵のお手入れ

- ①鍵は定期的に古くなった歯ブラシなどで表面のホコリをはらってください。
鍵のくぼみなどにたまつたほこりなどが鍵の抜き差しを悪くする原因となることがあります。

■鉛筆による方法

- ②鉛筆を鍵穴に抜き差ししてください。

- ③終了後、鍵についた黒鉛をふきとてください。
黒鉛が付着したまま使用されると衣服などを汚す場合があります。



古い歯ブラシなどで表面の
ホコリをはらう

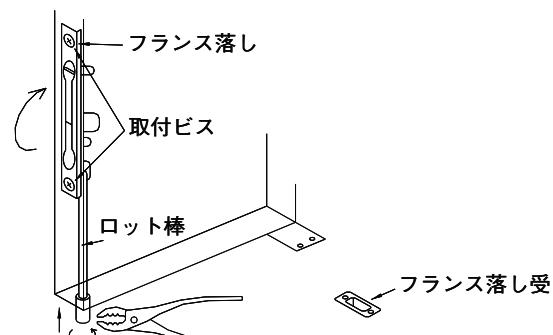
鉛筆でくぼみなどをなぞる

お願い

市販の一般的な潤滑剤（サビ止め）やスプレー式潤滑油やミシン油はほこりが付着しやすく故障の原因となります。錠前がガタつく場合には、錠前の取付け用ねじをドライバーで十分に締めつけてください。

フランス落し

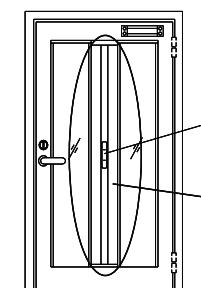
- ①両開きドアの場合には、片側のドアを固定する部品（フランス落し）が上下に取付けられています。使用中、破損やゆるみが生ずるとドアの機能に支障をきたすことがあります。
- ②フランス落しを動かしてもドアの上下がスムーズに開かない場合は、ロット棒のゆるみが原因です。フランス落しの取付ビスを取りはずし、フランス落しを手前に引きながら10mm程度引き上げてドアを開いてください。
- ③ドアを90°まで開き、フランス落しをもと通りに戻して取付け、ロット棒をプライヤーなどで締付けてください。



換気ユニットの操作（採風ドアのみ）

■換気ユニットの操作

- ①操作ハンドルを90°回転させてロックを解除します。
- ②ハンドルを持ったまま手前に引くと換気蓋が開き換気状態になります。



90°回転
手前に引く

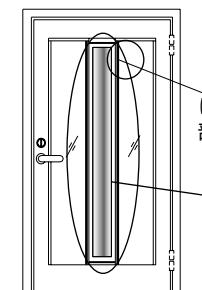


ハンドル開状態

お願い

開閉操作はゆっくりとおこなってください。急激な開閉は手を挟むなど事故やけがにつながるおそれがあります。ドアと換気ユニットの間に手や指を入れないでください。手や指を挟み事故やけがにつながるおそれがあります。操作ハンドルは換気ユニットを確実にドアに押しつけたことを確認してから操作してください。無理な操作はハンドルなどの換気ユニットの破損につながるおそれがあります。ドア本体の開閉は換気ユニットを閉めてからおこなってください。換気ユニットが開いているとぶつかったり、手をはざまれたりするなど、人身事故につながるおそれがあります。

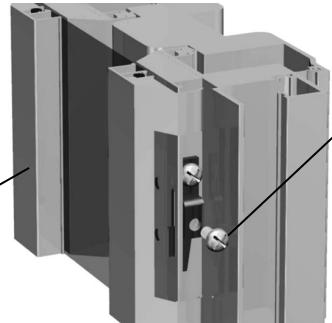
網戸の取り外し（採風ドアのみ）



換気ユニットの外部面に網戸が取り付けられておりますが、網戸を清掃などで取り外す場合は以下の手順に従って網戸を取り外してください。

■網戸の取り外し

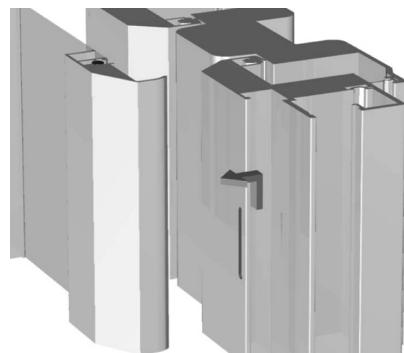
- ①はずれ止め部品の取り外し
ドア正面右上部の網戸側面
にあるはずれ止めねじをは
ずします。



はずれ止め部品部拡大図

②網戸の取り外し

網戸は側面にある掛け部品にてドアに引っ掛けか
つてるので網戸を持ち上げて手前に引くと取り外し
ができます。



網戸の取り外し

お願い

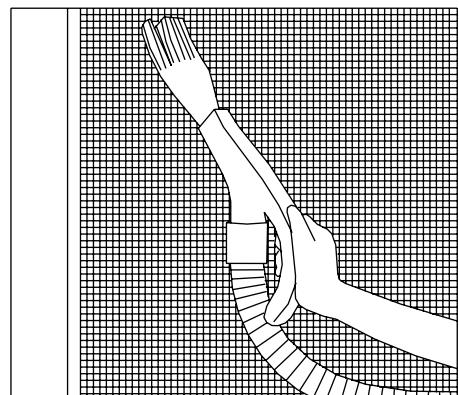
網の片側より強く押さえないでください。網がはずれたり、破れたりするおそれがあります。
網には火気を近づけないでください。

△注意

- ①お手入れなどのために、網戸をはずした後、再び窓枠に取付けた時は、はずれ止め部品を必ずかけてください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下するなど、
人身事故や物損事故につがるおそれがあります。

網戸のお手入れ（採風ドアのみ）

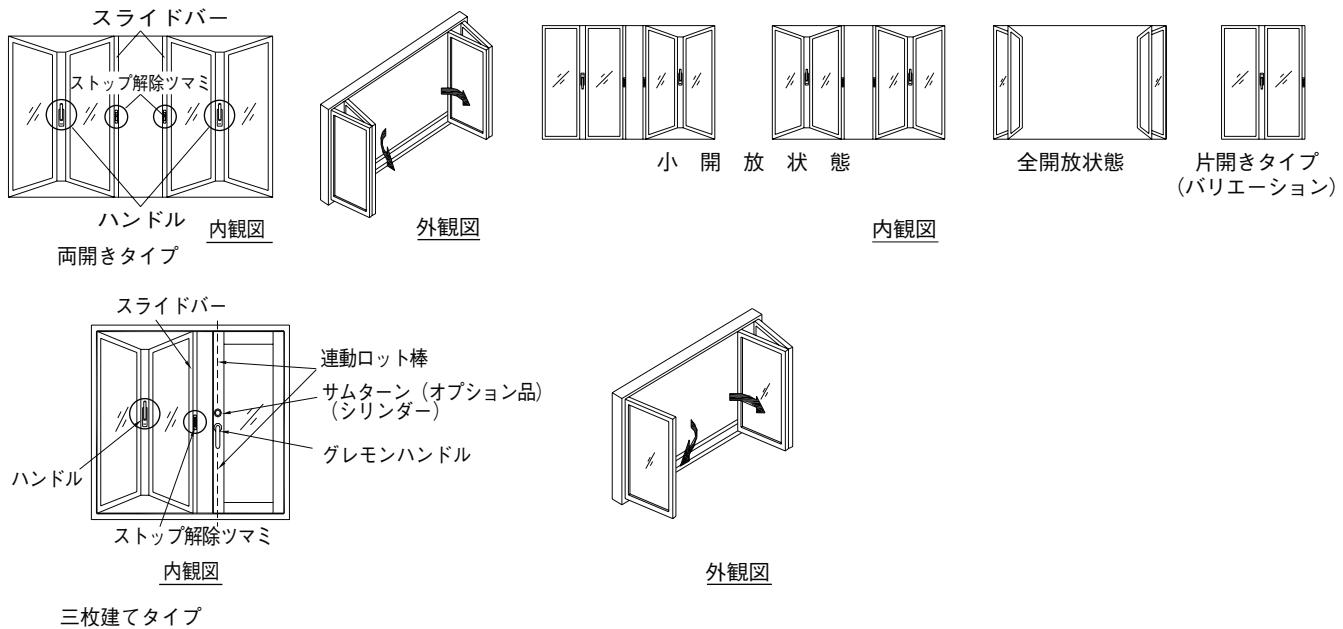
1. 水を含ませた柔らかい布やスポンジなどで、軽く表面の汚れを落してください。
2. 電気掃除機をお使いの場合は、ブラシのついた吸込み口を取付て軽くこするようにしてお使いください。
3. 汚れのひどい場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布や、スポンジなどで、汚れを落としてください。汚れが落ちたら水を含ませた布やスポンジなどでふきとってください。



■ 全開口サッシの取扱い

商品基本パターン

当商品は、小開放・全開放2段階の開放機能を持っています。
本取扱説明書を良くお読みになって正しくご使用ください。

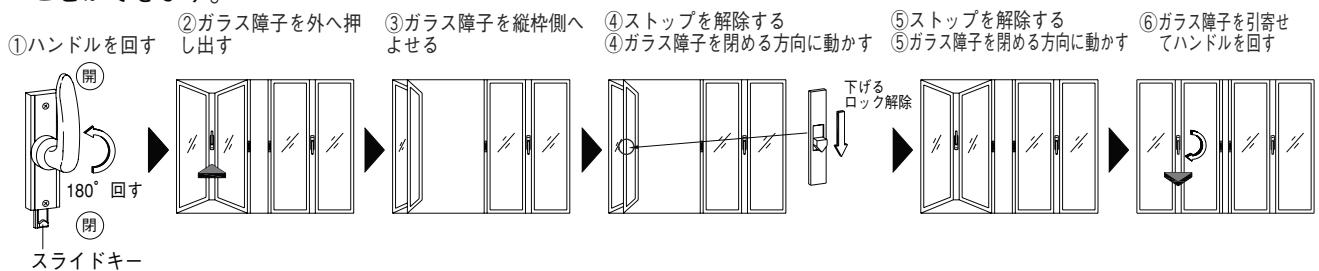


折れ戸の開閉操作

- ①ハンドルを反時計回りに180°回すと折れ戸が解錠されが移動可能になります。
- ②ハンドルを持ったまま室外側へガラス障子を押し出すとガラス障子が中折れ状態になります。
- ③スライドバーの手掛けを持ち縦枠側へ移動させるとロックがかかり全開放状態になります。
※開きの速度が遅いときには、小開放状態でロックがかかりことがあります。
- ④スライドバーについているストップ解除ツマミを下げるときロックが解除されるのでスライドバーを持って閉める方向に引き出していくと、小開放状態でロックがかかります。
- ⑤スライドバーについているストップ解除ツマミを下げて、スライドバーを持って閉める方向に引きます。
- ⑥ハンドルを持ちガラス障子を手前に引き寄せてから、ハンドルを時計回りに180°回してガラス障子を施錠します。

◆ハンドルはスライドキー付きです

ハンドルは下部にあるスライドキーを上下させることによりハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりすることができます。

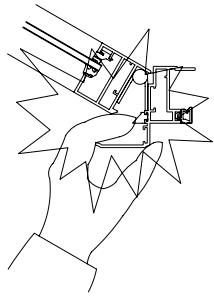


▲注 意

- ① 開閉時には「枠と扉の間」や「扉と扉のすきま」に手や指を置かないでください。
手や指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。
- ② 窓やガラスの落下防止のため、風の強い時は、窓を閉めて、必ずハンドル（錠）をかけてください。
ハンドル（錠）がかからっていないと、ガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、落下や破損など、
人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

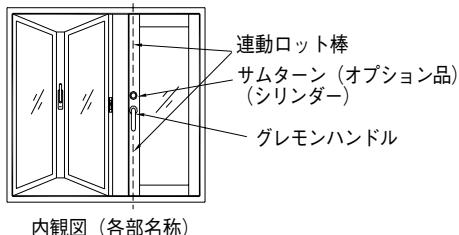
お願い

ハンドル操作は、完全に180°回転してください。中途半端な位置での操作は故障の原因となります。窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



開き戸の開閉操作（三枚建て）

三枚建ての開き戸側の操作は次の手順によりおこなってください。



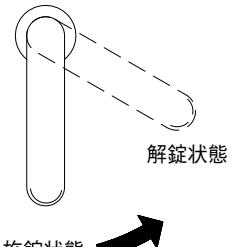
内観図（各部名称）

■グレモン締まりの操作

グレモン締りは、レバーハンドルの操作により、ドアの上下枠にロット棒を突き出して施錠をおこないます。次の操作手順に従って操作をしてください。

◆開放時

- ①ハンドルを60°回転させると解錠されます。ドアを開いてください。
※サムターン（シリンダー）が取付けられてる時は、先にサムターンを解錠してからハンドルを操作してください。



解錠状態

◆閉鎖時

- ①ドアを閉鎖後、ハンドルを60°回転させて施錠してください。
※サムターンが取付けられている時は、ハンドル操作後サムターンを施錠してください。
※サムターンはオプション品です。



施錠状態

△注意

- ❶ 窓やガラスの落下防止のため、風の強い時は、窓を閉めて、必ずハンドル（錠）をかけてください。ハンドル（錠）がかからっていないと、ガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、落下や破損など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- ❷ ドアの開閉時には、丁番側のすきまに手を置かないでください。指をはさまれるなど、人身事故につながるおそれがあります。
- ❸ 風の強い時はドアを閉めて、必ず施錠してください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアにぶつかったり、はさまれたりするなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。やむをえず開閉が必要な場合は、ドアノブやハンドルをしっかり持って操作してください。

お願い

ハンドル操作は、完全に60°回転してください。中途半端な位置での操作は故障の原因となります。窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な開閉操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

ドアクローザ（自閉装置）

ドアクローザは開いたドアを自動的に閉める装置です。

- ①ドアクローザはドアを90°開いた時にストップ状態になります。
 - ②同室内で他の開口部（窓など）が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが速くなることがあります。
- ※ドアクローザの ■使用上のお願い、■速度調整のしかた、については、別頁 [ドアクローザの取扱い](#) をご覧ください。
(本品はNewStar 60シリーズ 162N (62Nストップ付) を使用しています)

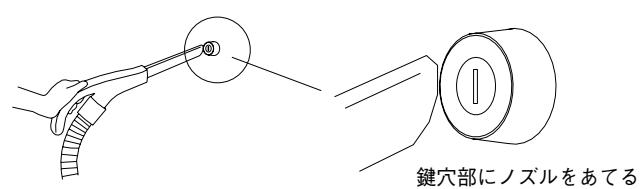
錠前（オプション）

鍵が回りにくくなった場合の簡単なメンテナンス方法を記載します。

注意事項をよくお読みになり正しくご使用ください。

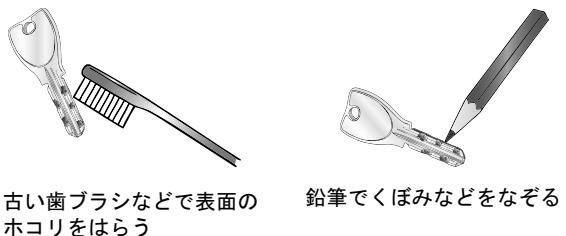
■掃除機による方法

- ①掃除機を鍵穴に当ててほこりを吸い取ってください。



■鍵のお手入れ

- ①鍵は定期的に古くなった歯ブラシなどで表面のホコリをはらってください。
鍵のくぼみなどにたまたまほこりなどが
鍵の抜き差しを悪くする原因となることがあります。



■鉛筆による方法

鍵の抜き差しがスムーズでない場合には次の方法で調整をおこなってください。

- ①鍵の切り込み部分やみぞを鉛筆で強めになぞり黒く塗りつぶします。
- ②数回鍵穴に抜き差ししてください。
- ③終了後、鍵についた黒鉛をふきとってください。
黒鉛が付着したまま使用されますと衣服などを汚す場合があります。

お願い

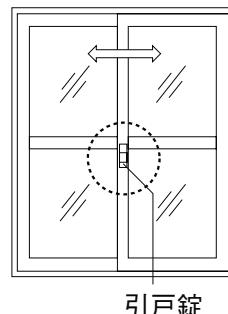
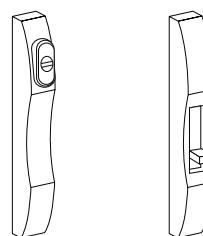
市販の一般的な潤滑剤（サビ止め）やスプレー式潤滑油やミシン油はほこりが付着しやすく故障の原因となります。
錠前がガタつく場合には、錠前の取付け用ねじをドライバーで十分に締めつけてください。

引戸の取扱い

ガラス障子の開閉

サムターンまたは鍵で引戸錠のロックを解除すると、左右の戸が移動可能になります。
(片引戸の場合は片側のみの移動になります)

引戸錠



引戸錠

お願い

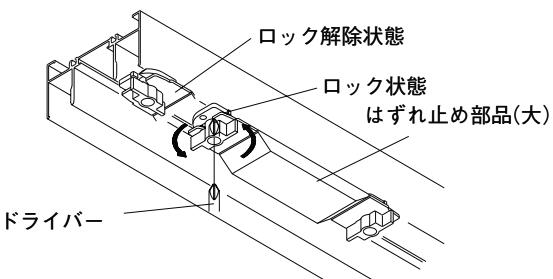
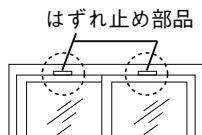
引戸錠はガラス障子が開いている状態では、無理に操作しないでください。
無理に操作すると破損、故障の原因となります。

△注意

- 引戸の開閉時、引手以外で操作したり、枠に手や足を置いたりしないでください。
引戸を開ける際に手が引き込まれたり、引戸と枠の間で手や足をはさまれたりするなど、
人身事故につながるおそれがあります。

はずれ止め部品

戸の脱落を防止するためにサッシ上枠に取り付けられている、プラスチック製の部品です。
(固定位置は上枠に記載されています)

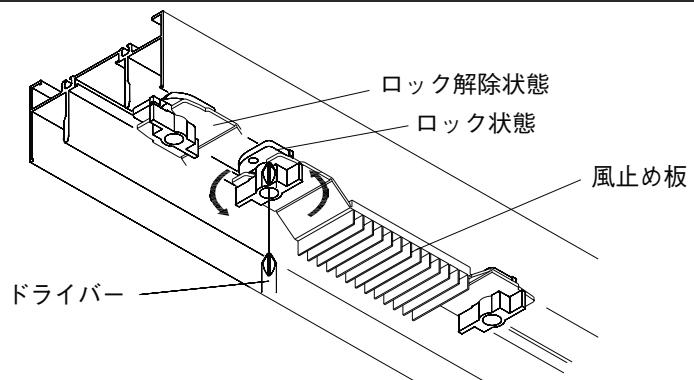
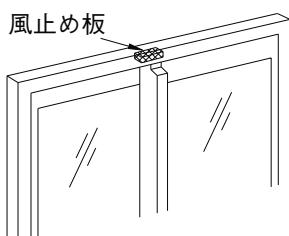


△注意

- お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、
はずれ止め部品を必ずかけてください。
また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠からはずれて落下するなど、
人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
※ガラス障子重量が重いと感じた場合は、無理にガラス障子をはずさうとしないでください。
思わぬ事故や商品の破損につながります。

風止め板

召合せ上部からの風の進入を防ぐためにサッシ上枠に取り付けられている、プラスチック製の部品です。



お願い

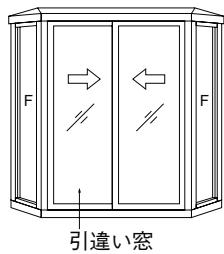
窓の開閉操作はゆっくりとおこなってください。
急激な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

出窓の取扱い

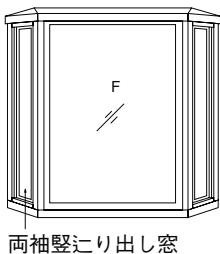
出窓に使用されている各ガラス障子の操作は、各開口形式のページを参照してください。

ビル用出窓バリエーション（外観図）

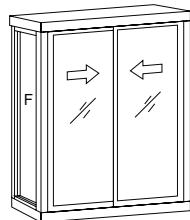
■引違い型出窓



■両袖窓型出窓



■スクエア型出窓(引違い型)



▲注 意

（）出窓の屋根に足をかけたり、はしごをかけたりしないでください。無理な重さをかけると、変形により転落するなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

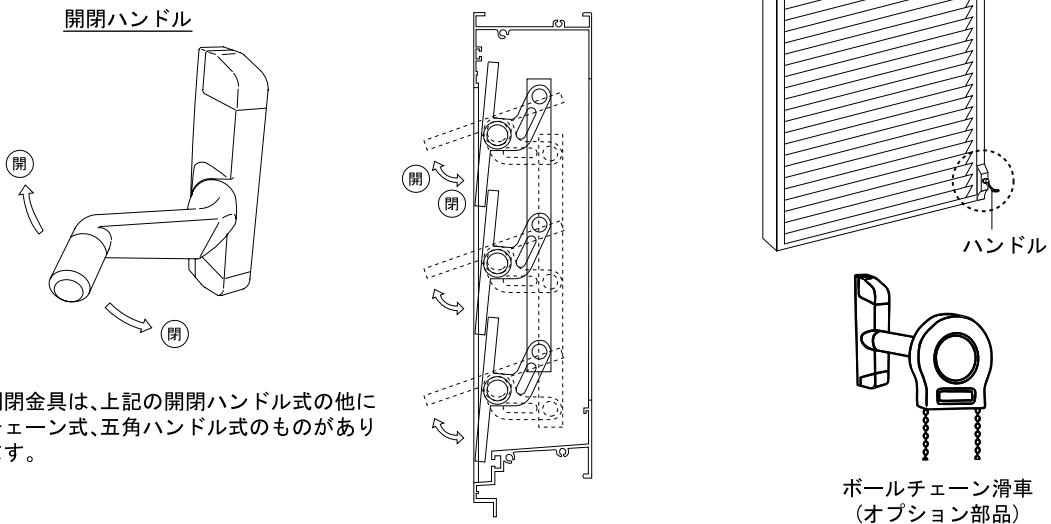
お 願 い

床板(地板)には乗らないでください。
床板(地板)の破損により、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

ガラスルーバーの取扱い

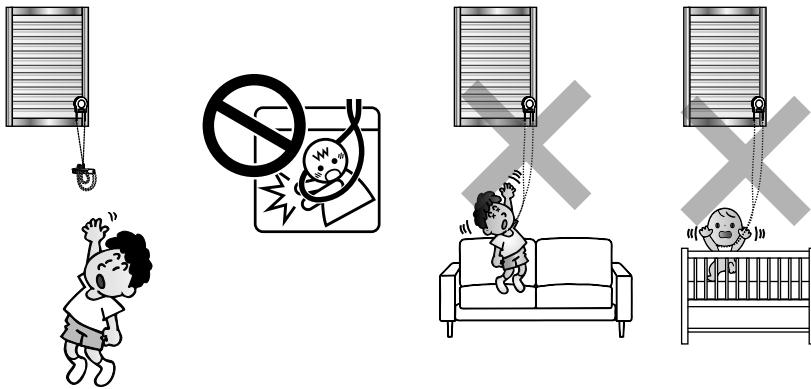
ルーバーの開閉

- ①ハンドルを回すと、ルーバー（羽根）が85°位まで開きます。
- ②ハンドルを逆に回すと、ルーバー（羽根）が閉まります。



開閉金具は、上記の開閉ハンドル式の他に
チェーン式、五角ハンドル式のものがあります。

警 告



- 操作ひもまたはボールチェーンが体に巻き付いたり、引っかかったりするようなことをしないでください。窒息などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 小さなお子様がいるご家庭では操作ひもまたはボールチェーンに手が届かなようソファーやベッドなどの踏み台となるような家具を置かないでください。操作ひもまたはボールチェーンがお子様の首や体に巻き付いて窒息などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 操作ひもまたはボールチェーンに手が届かないよう、高い位置にコードクリップ等で束ねてください。操作ひもまたはボールチェーンがお子様の首や体に巻き付いて窒息などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

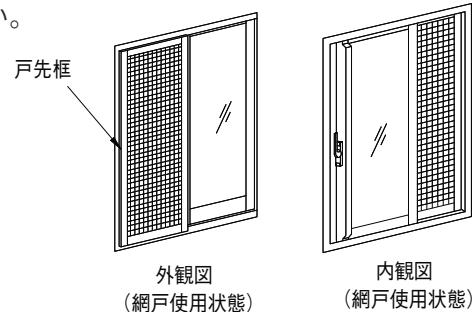
お願い

- 開閉完了後は、無理なハンドル操作はしないでください。無理な操作をすると故障や破損につながるおそれがあります。ガラスの切口部は面取りしてありますが、万ガラスの切口部分に触れる場合はご注意ください。ガラスルーバーを開けたままにしておきますと、ガラスをはずされるおそれがあります。防犯のため、就寝、外出時には必ずガラスルーバーを閉めてください。
- 小さなお子様がいるご家庭では操作ひもまたはボールチェーンで遊ばせないようご注意ください。操作ひもまたはボールチェーンがお子様の首や体に巻き付いて窒息などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

スライディング窓用網戸の取扱い

網戸の操作

網戸の操作は戸先框の中央付近に手をかけて開閉をしてください。

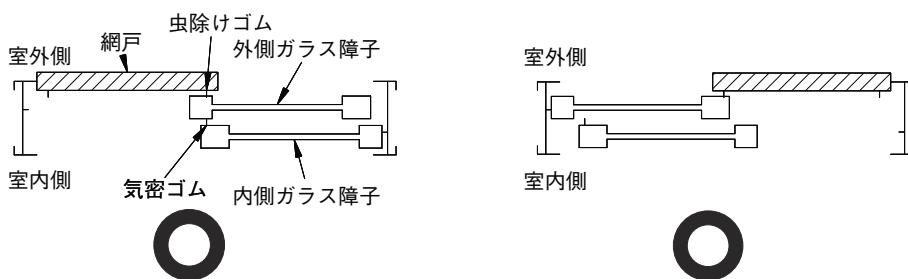


網戸の正しい使い方

網戸は使用条件により防虫効果が異なりますので、次の事項をご理解の上正しくご使用ください。

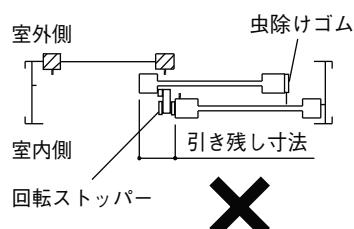
①窓を全開にしてご使用になる場合

左右どちらの窓を開放しても網戸は効果を発揮します。



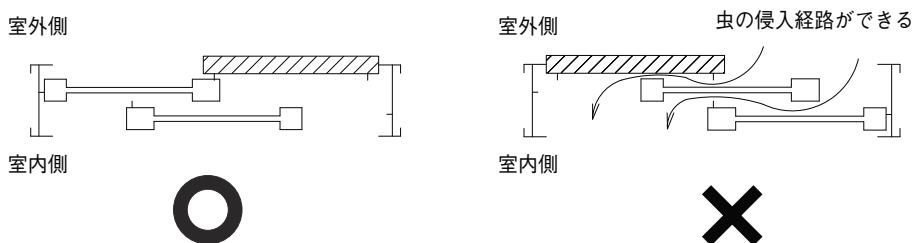
特別仕様で外側ガラス障子の引き残し寸法が大きい場合または回転ストッパーが取付けられている時などは、外側ガラス障子側でご使用になる場合に防虫効果が十分発揮されなくなります。

※回転ストッパーの取扱い方法は、P.21の回転ストッパーをご確認ください。



②片側の窓を中途半端に開放してご使用になる場合

内観右側の窓を開放する場合は網戸は効果を発揮しますが、内観左側の窓を開放する場合は防虫効果が十分発揮されなくなります。(大型の引き手などが取り付けられた場合も同様の事象が発生します)

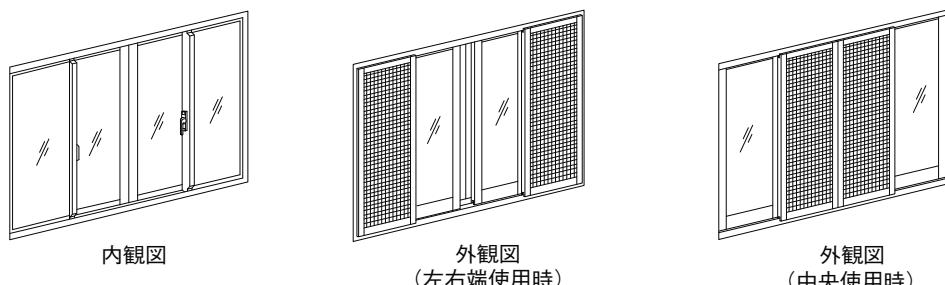


△注 意

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止ではありません。
網戸に寄りかかったり、押したりしないでください。
網が破れたり、網戸が枠からはずれて落ちたりするなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

四枚建て窓用網戸について

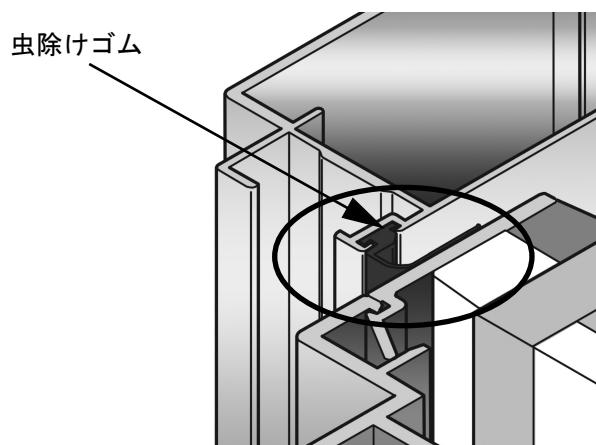
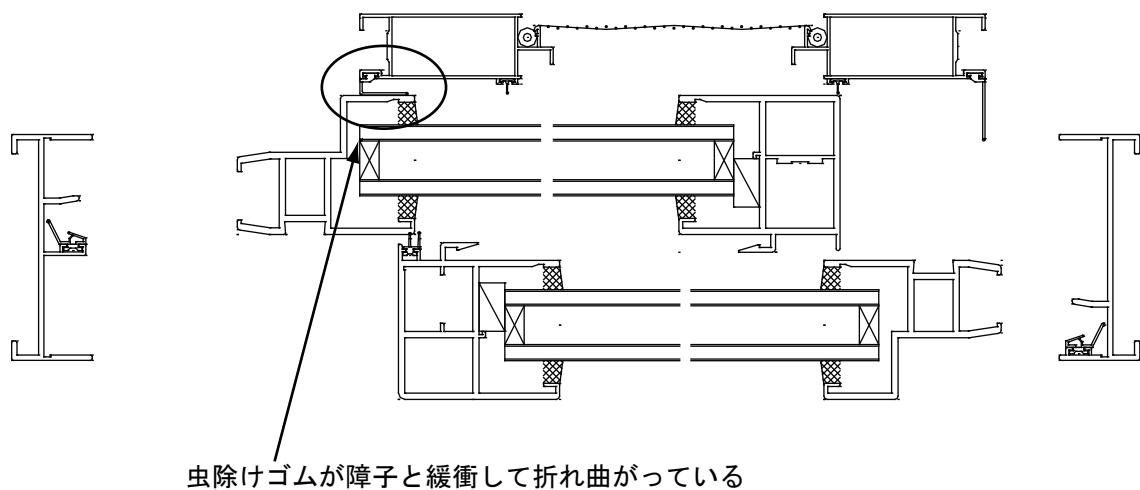
四枚建て窓・戸用網戸は左右端、または中央突き合わせでご使用ください。
四枚建て窓・戸用網戸の使用方法は下記のとおりになります。



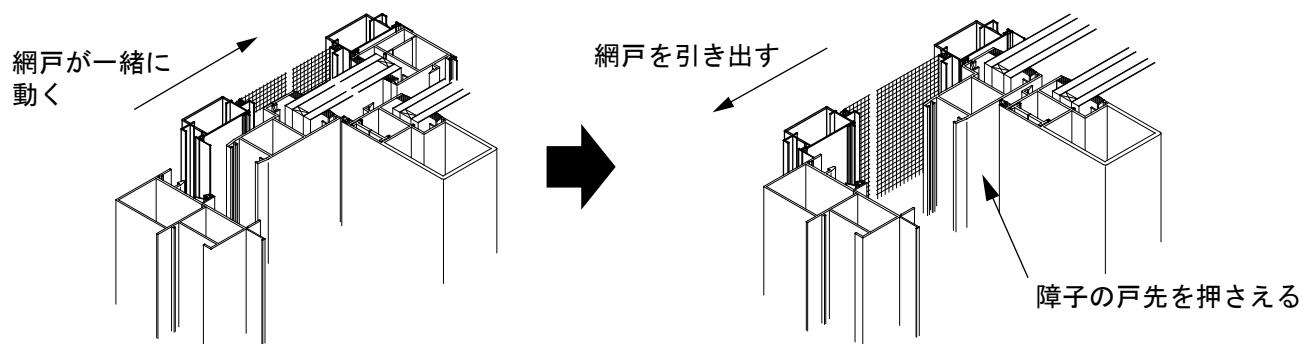
ご使用上の注意

お願い

- ①網戸の長い虫除けゴムが下図のように折れ曲がった状態で長時間放置しないようにご注意してください。



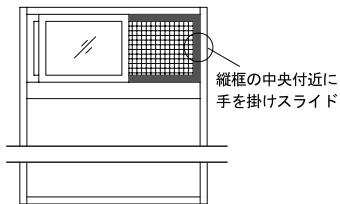
- ②持ち出し網戸について解説の通り防虫ラインを確保するために、虫除けゴムの長いものが使用されており、障子を開閉操作するときにこの防虫ゴムが障子と当たるため網戸が障子と一緒に動くことがあります。網戸の操作は窓を開放後、障子を押さえながら網戸を引き出してご使用ください。



欄間網戸の操作方法について

欄間網戸をご使用になる場合は、下記事項に注意して操作をしてください。

①網戸を操作するときは、たて框の中央に近い位置に手を掛け、水平にスライドしてください。



▲注意

- ① お手入れなどのために、網戸をはずした後、再び取付けた時は、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。
また、ご使用上、はずれ止め部品がずれることがあります。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下するなど、人身事故につながるおそれがあります。

可動網戸取扱い上の注意

お願い

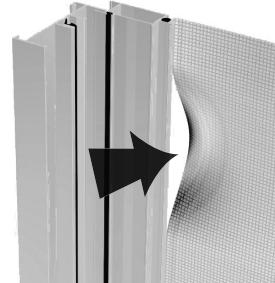
網戸の開閉操作はゆっくりおこなってください。
急激な開閉操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
網戸は防虫用であり、人の転落防止ではありません。
網には火気を近づけないでください。



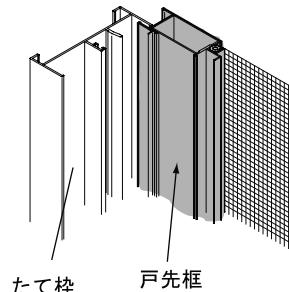
スマートフォンから動画がご覧いただけます。

■網戸の操作について

網戸操作時に網の部分を繰り返し押したり手を掛けたりすると、網が抜けることがありますので、網戸操作時は網に触れずに戸先框に手をかけてゆっくり操作をしてください。



網が抜ける場合があります



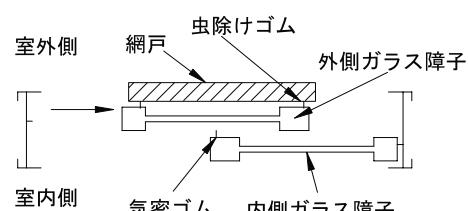
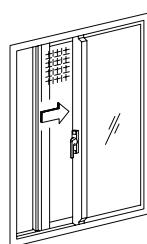
たて枠 戸先框

■網戸の作動について

虫の侵入を防ぐため、網戸とガラスの間をふさぐ虫除けゴムを取付けています。

そのため、サッシの外側ガラス障子を作動する時に網戸が一緒に動いてしまう場合がありますが、これは製作精度の関係で虫除けゴムが外側ガラス障子に強く当たり防虫効果が高い時に発生します。

この時に網戸をご使用になる場合は、外側ガラス障子解放後、網戸を引き出してご使用ください。



■網戸の防虫性について

網戸の防虫性能は、網目より大きい虫を防ぐ効果を発揮します。しかし、網戸を軽快に開閉させるため、ある程度のすき間を設けた構造となっています。このすき間は、開閉に支障がない程度に虫除けゴムを取付けふさぐようにしていますが、虫の種類や大きさによっては虫の侵入を完全に防ぐことはできません。

カメムシ、テントウムシ等の甲虫は、光や暖気、観葉植物を好みわざかなすき間からでも押し入ろうとする習性が強いため、障子と枠の間に集まって固まることがあります。場合によっては、障子に設けた虫除けゴムを押しのけて室内に侵入することもありますので、網戸があったとしても、このような習性を持つ虫の侵入を完全に防ぐことはできません。

万一、虫が侵入した場合は、殺虫剤等による駆除をお願いします。

はすれ止め部品

網戸の脱落を防止する部品で、網戸の上かまちの両端に取り付けられています。

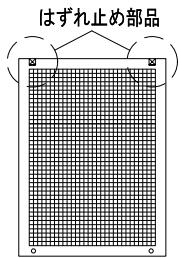
■網戸の取りはずしとはすれ止め部品の調整方法

①網戸をはずす時は、はすれ止め部品を解除して網戸を持ち上げ、網戸の下部を室外側へ振り出してください。

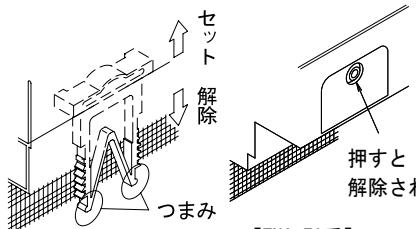
②はすれ止め部品は、商品により使用方法が異なりますので、下記の中から該当するはすれ止め部品を確認の上ご使用ください。

△注意

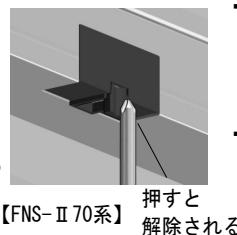
①お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取り付けた時は、はすれ止め金具を必ずかけてください。はすれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下するなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。



①上下スライド式



②自動ロック式



【FNS-70系】
【NLS系】
【FNS-100系】

③はすれ止め部品の調整方法

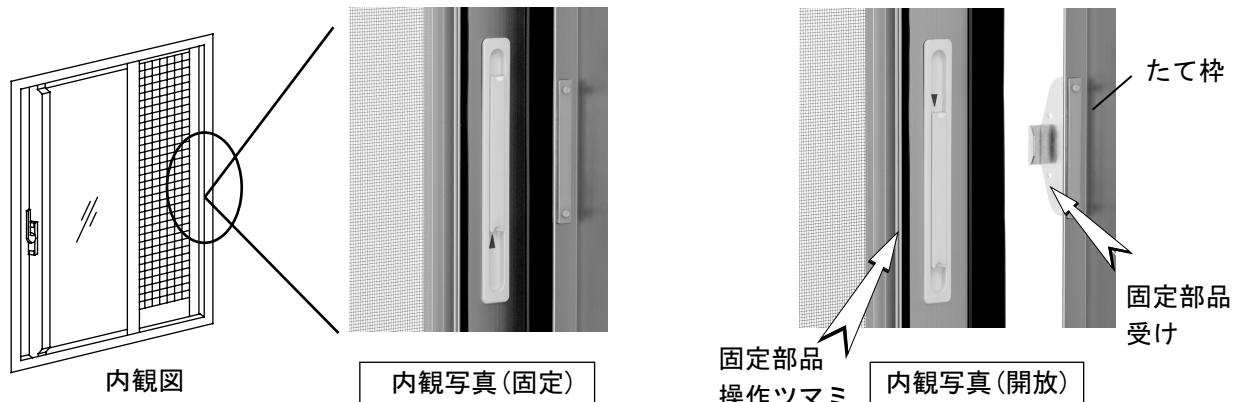
- ①の上下スライド式は○部ツマミをつまんで上にスライドさせ上枠に当たったところで手を離すとはすれ止め部品がセットされます。
- ②の自動ロック式は、網戸を取り付けると自動的にはすれ止め部品がセットされます。
(部品のボタン部分をドライバーで押すと解除されます)

強風対策網戸固定部品(オプション)

高層住宅などの網戸が突風・強風により、激しく網戸が作動し破損したり外れたりすることを防止するため取り付けられています。固定部品は切替式と固定式の2種類あり、それぞれの操作は本説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。

切替式

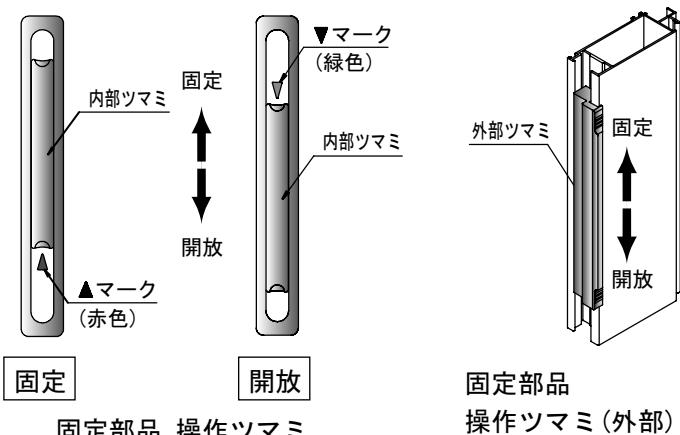
切替式は網戸の枠側たて枠に取り付けられているスライド式のロック機構で網戸の固定と開放を操作します。通常は突然の風に備えて、固定部品を掛けた状態にして使用していただき、網戸の開閉時にロックを外して網戸操作をしてください。



操作手順

網戸を作動する時は下記の手順にて操作をおこなってください。

- ① 操作ツマミを下にスライドさせると網戸の固定が解除されます。
- ② 網戸のロックが解除されたら網戸の開閉をすることができます。
- ③ 網戸の開閉操作が終了したら網戸を固定たて枠側にスライドして、操作ツマミを上にスライドすると網戸が固定されます。

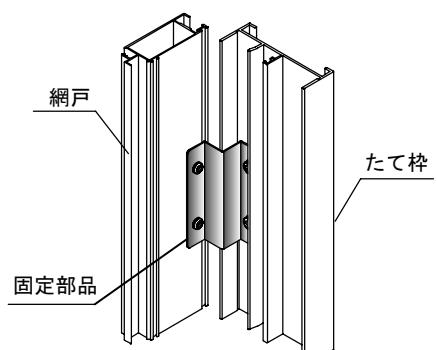


△注意

- ① 強風時には、操作ツマミを上にスライドし、網戸を固定してください。風により網戸が自走し、部品等の破損につながります。網戸の開閉操作後は、必ず固定部品をロックさせて網戸が動かないよう固定してください。突然の強風による急激な開閉で衝撃を受け、転落や落下など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

固定式

固定式はサッシのたて枠と網戸をねじで固定しています。固定ねじを外さないようにしてください。



△注意

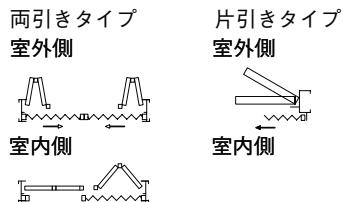
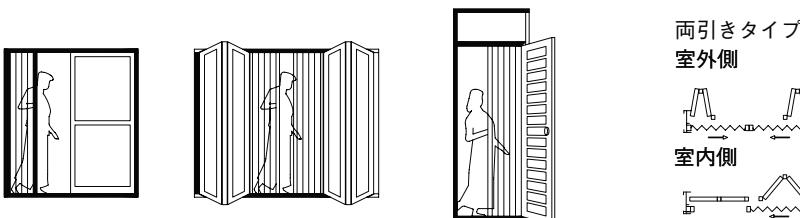
- 固定式の強風対策網戸固定部品の固定ねじをはずして使用しないでください。強風時に網戸があおられて網戸の破損や脱落につながり、事故やけがにつながります。網戸の交換時など強風対策網戸固定部品を取り外す必要がある場合には、管理会社様、または販売会社様に作業をご依頼ください。

- プリーツ一体サッシ 後付けプリーツ網戸
全開口サッシ 後付けプリーツ網戸II型

■ プリーツ網戸の取扱い

商品バリエーション

プリーツ網戸は、必要な時だけ網戸を引出して使用し、使わない時には収納枠にすっきり収納できる網戸です。

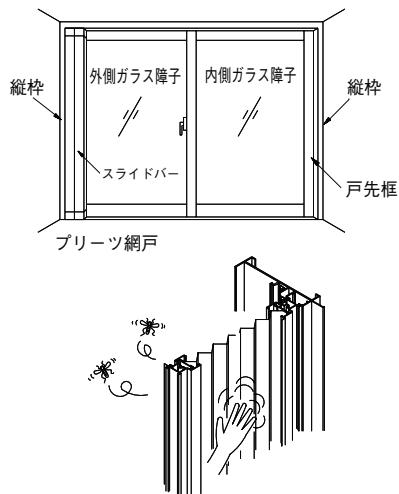


プリーツ網戸商品群は、下記の通りに分類されます。各タイプにより注意事項が異なる場合がありますのでご確認の上使用上の注意に留意してください。

- ①両引きタイプ … 開き窓などの外に開く窓、ドア用・全開口サッシ用・後付け型
 ②片引きタイプ … 開き窓などの外に開く窓、ドア用・後付け型

網戸操作上の注意

- 網戸の操作はスライドバーの中央付近に手をかけて開閉してください。操作する位置により作動が重くなることがあります。
- 網戸収納時には網が確実に折りたたまれたことを確認してください。確実に折りたたまれない場合は網にくせが付き、折りたたみに不具合が発生することがあります。



使用上の注意

- 網戸収納時、網に虫がついている場合は網を軽くたたいて虫を払ってから網戸を収納してください。
- 本商品は、日常生活において網の汚れを極力抑えるために網戸を室内側に設置しております。そのため網戸収納時に一時窓が開放状態になり、虫が進入する可能性があります。
- 網戸使用時に強い風を受けた時、網の上下部に多少の隙間が発生することがありますが、防虫性能上大きな問題はありません。

お願い

開閉操作はゆっくりおこなってください。特に強風時に網戸をご使用いただきますと、ネットがたるみ、枠外へ飛び出したりネットが外れるなど、網戸の破損につながるおそれがあります。無理な操作は網の破損の原因となります。
 強風時、使用しない時は網戸を収納してください。
 網には火気を近づけないでください。
 網戸レールにゴミ・砂等が入った時は、すみやかに清掃してください。

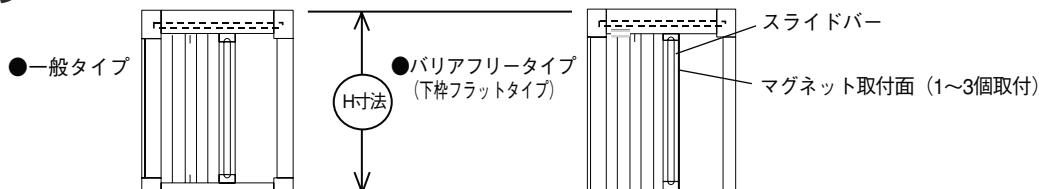
△注意

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止ではありません。
 網戸に寄りかかったり、押したりしないでください。
 網が破れたり、網戸が枠からはずれて落ちたりするなど、人身事故や物損に事故につながるおそれがあります。

プリーツ網戸II型 後付け・開き窓系一体型・全開口サッシ一体型取扱いについて

プリーツ網戸II型は2タイプの商品バリエーションがあります。

■商品パターン



■マグネットについて

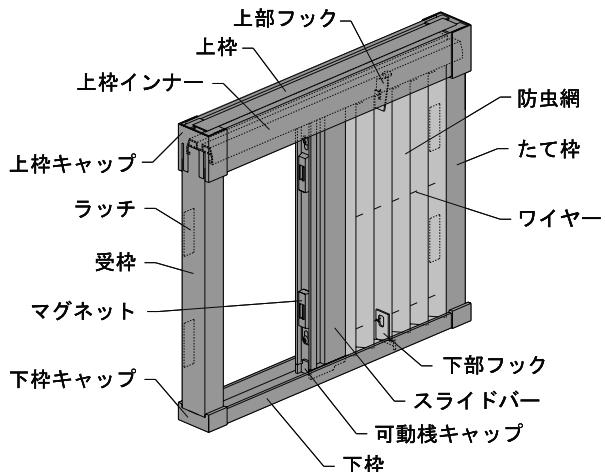
プリーツ網戸II型には、従来品より突風などの風対策を向上させるために、スライドバーにマグネットを設置し網戸が突風などでも開きにくいようにしています。(取付個数1~3個)

プリーツ網戸Ⅲ型の取扱い

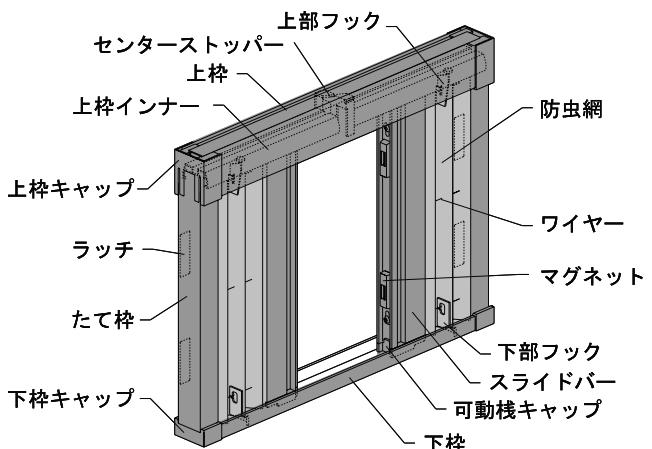
プリーツ網戸は、必要な時だけ網戸を引出して使用し、使わない時には収納枠にすっきり収納できる網戸です。ご使用の際には本書を良くお読みになり正しくご使用願います。

商品バリエーション及び各部名称

■ 片引き

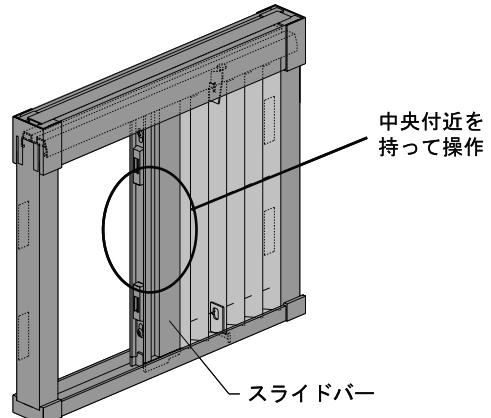


■ 両引き



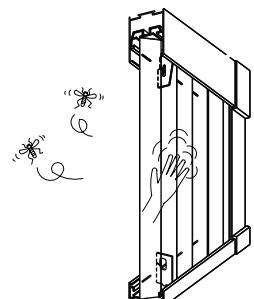
網戸操作上の注意

1. 網戸の操作はスライドバーの中央付近に手をかけて開閉してください。操作する位置により作動が重くなることがあります。
2. 網戸収納時には網が確実に折りたたまれたことを確認してください。確実に折りたたまれない場合は網にくせが付き、折りたたみに不具合が発生することがあります。



使用上の注意

1. 網戸収納時、網に虫がついている場合は網を軽くたたいて虫を網から払って網戸を収納してください。
2. 網戸レールに強い衝撃を与えたり、硬いモノをぶつけたりしないでください。レールが変形して網戸の作動が悪くなる場合があります。
3. スライドバーに把手や錠をねじ止めしないでください。ねじがワイヤーや網を破損させ網戸が正常に作動しなくなる可能性があります。



お願い

開閉操作はゆっくりおこなってください。特に強風時に網戸をご使用いただきますと、ネットがたるみ、枠外へ飛び出したりネットが外れるなど、網戸の破損につながるおそれがあります。無理な操作は網の破損の原因となります。

強風時、使用しない時は網戸を収納してください。

網には火気を近づけないでください。

網戸レールにゴミ・砂等が入った時は、すみやかに清掃してください。

△注意

● 網戸は防虫用であり、人の転落防止ではありません。

網戸に寄りかかったり、押したりしないでください。

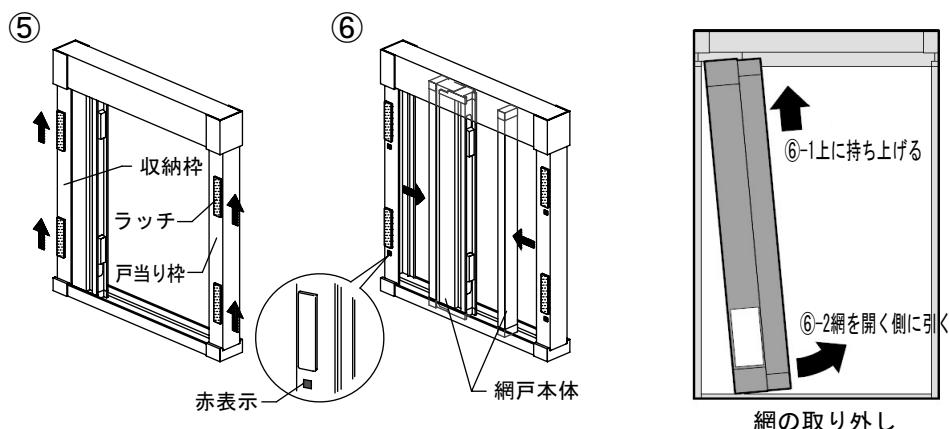
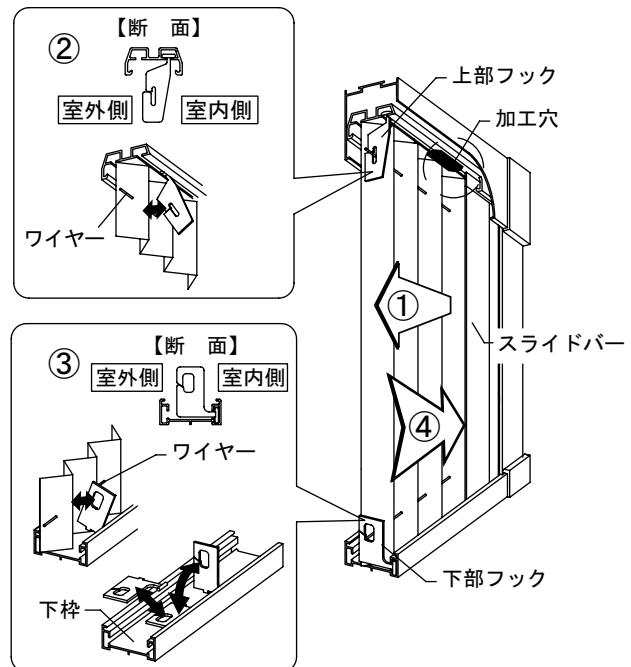
網が破れたり、網戸が枠からはずれて落ちたりするなど、人身事故や物損に事故につながるおそれがあります。

網戸の取り外し・取り付け手順

本製品は、清掃メンテナンス時に網が取り外せる構造になっています。取り外し・取り付け作業はけがなどしないように注意しておこなってください。

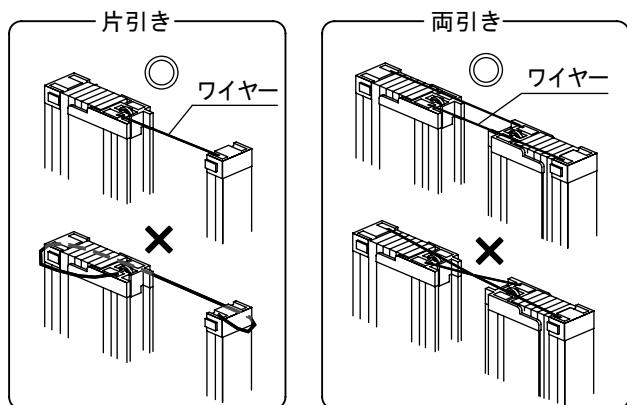
■網の取り外し

- ① スライドバーを引き出し網戸を使用状態にしてください。
- ② 上部フックをワイヤーからはずし、スライドバー付近にある加工穴から抜いてください。
- ③ 下部フックをワイヤーからはずし図のように下枠から抜いてください。
- ④ 上下フックを外したら一度網を閉じてください。
- ⑤ 収納枠・戸当り枠の側面についているラッチツマミを上にスライドさせて、ロックを解除してください。
※ラッチツマミ下の赤表示が見えている状態が、ロック解除状態です。
- ⑥ 収納枠、戸当り枠から網戸本体をはずしてください。



■網の取り付け

- ① 取り外した網を再度取り付ける前に網の上下から出ているワイヤーにねじれやカラミがないことを確認してください。ねじれたまま取り付けると開閉に支障をきたす恐れがあります。
- ② 網の取り付け手順は『網の取り外し』の逆手順でおこなってください。



お願い

取り付け後、収納枠及び戸当り枠の表示がラッチツマミに隠れていること。また、収納枠・戸当り枠から網戸本体がはずれないことを確認してください。ラッチが空かけ状態になっていると網戸が脱落するおそれがあります。

網戸の調整方法

建て付けが“悪く”なった場合には、下記の状況に応じてワイヤーの調整をおこなってください。

■片引きの調整方法

① 戸当り枠のカバーをマイナスドライバー等ではさしてください。

② 戸当り枠に固定してある調整ねじを、下記の各状況に応じて位置を移動させて調整します。

【ワイヤーにたるみが出てガタつく場合】

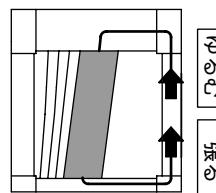
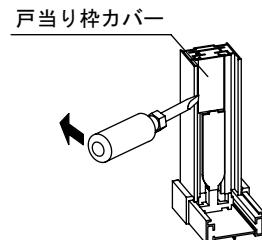
全てのねじを張る方向に少しずらして固定します。

【開閉が重い場合】

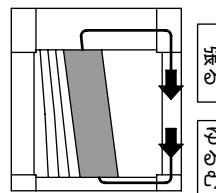
全てのねじをゆるむ方向に少しずらして固定します。

【スライドバーが斜めになる場合】

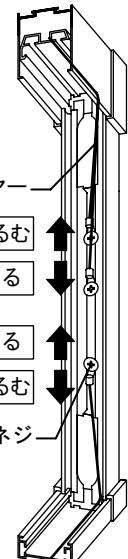
全てのねじを同一方向に移動しバランスをとってください。



上部をゆるみ方向、下部を張る方向



下部をゆるみ方向、上部を張る方向



■両引きの調整方法

左右の網戸の調整は運動していませんので、片側ずつ調整をおこなってください。

●収納枠内に固定してある調整ねじを、下記の各状況に応じて位置を移動させて調整します。

【ワイヤーにたるみが出てガタつく場合】

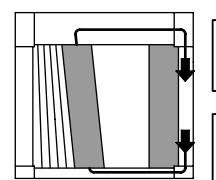
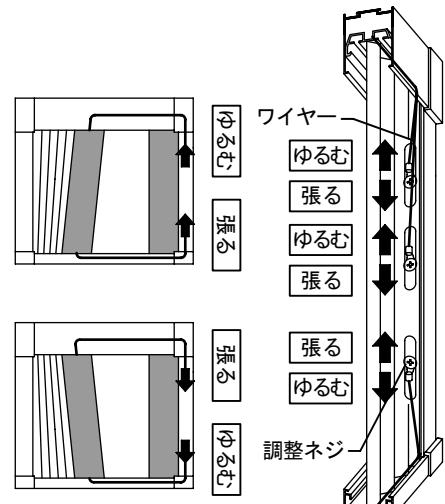
全てのねじを張る方向に少しずらして固定します。

【開閉が重い場合】

全てのねじをゆるむ方向に少しずらして固定します。

【スライドバーが斜めになる場合】

全てのねじを同一方向に移動しバランスをとってください。

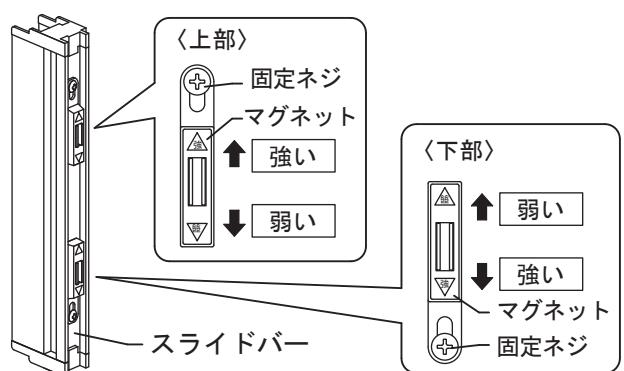


■マグネットの調整方法

本製品は開放補助として網戸使用時マグネットを使用しています。

網戸が風などで開いてしまう場合や、開く力が非常に重い場合にマグネットの強さを調整することができます。

●スライドバーの上下に付いているマグネットの固定ねじをゆるめ、上下に移動させてください。マグネットとマグネット受けの当たる面積が変わり固定強度が変化します。



網の交換について

網を破損又は経年劣化でご使用できなくなった場合、網の張り替えは通常の網戸のようにはできません。網ユニットの交換になります。

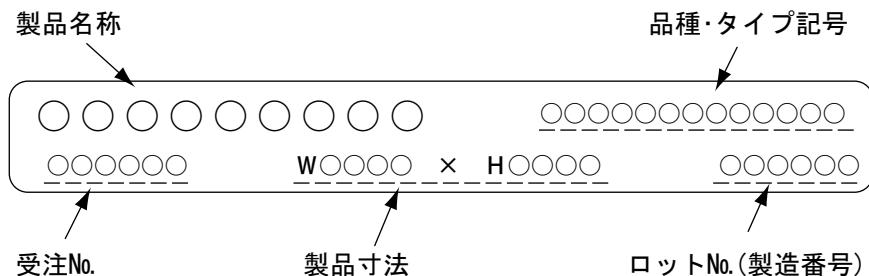
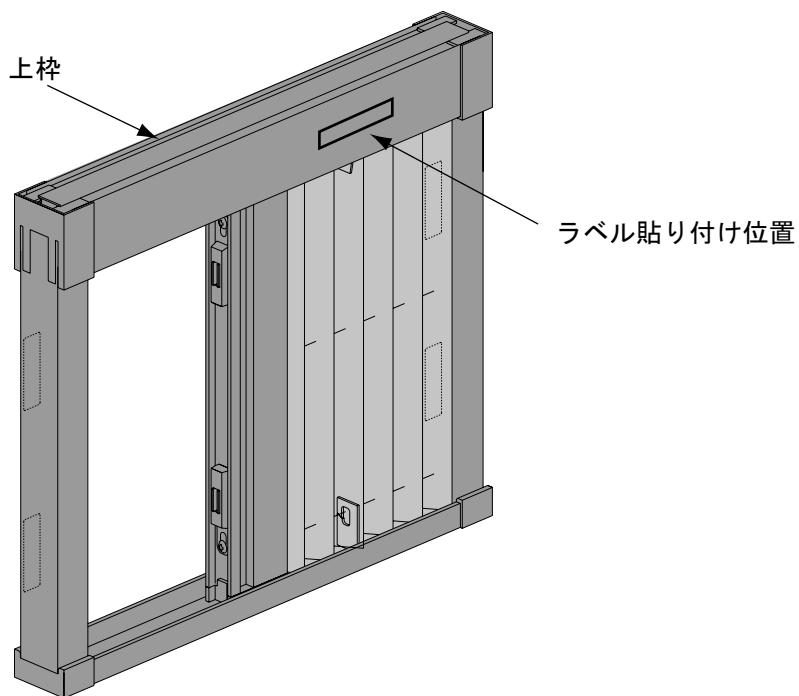
網ユニットの交換手順は清掃時の網の取り外しと同じ方法です。網戸取り外し・取り付け手順のページを参照して交換をおこなってください。

交換用の網ユニットのご注文は網戸に貼り付けてある製品ラベルの記載内容をお近くの弊社拠点メンテナンス窓口へご連絡ください。また、取付交換のご相談も承っています。お問い合わせください。

■製品ラベルについて

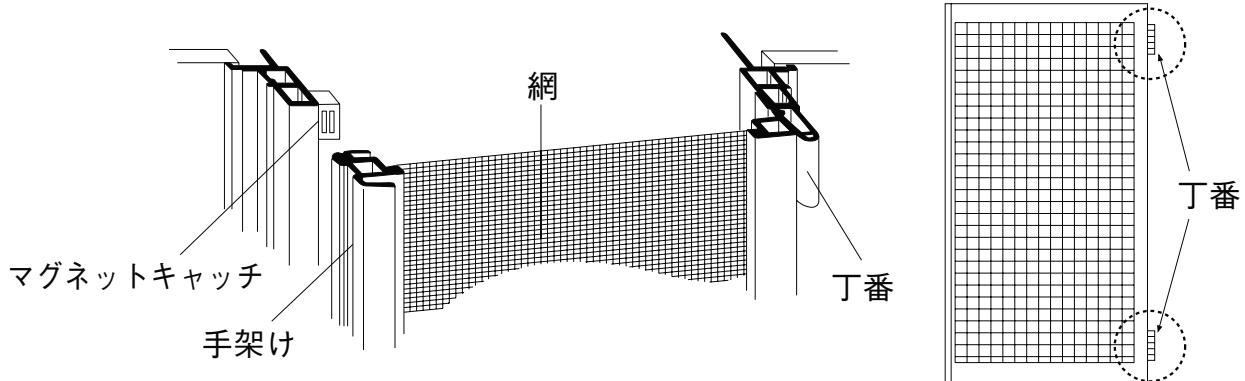
製品ラベルはプリーツ網戸の上枠のメーカーラベル貼り付け面と反対側に貼り付けられています。

清掃などでラベルが剥がれたり刻印番号が消えたりする恐れもありますので、ラベル番号を控えておくことをお勧めします。



■ 開き網戸の取扱い

網戸の操作



この網戸は、外部側窓の開閉操作のために開き網戸になっています。網戸は、吊元側は丁番で、施錠側はマグネットキャッチで固定されています。

マグネットキャッチは引き渡し時に調整しておりますが、使用中にねじがゆるみマグネットの吸着力が変わることもありますので、その時はマグネットキャッチの取り付けねじを締め直してください。

お願い

強風時は、外側の窓を必ず閉めてください。風で網戸が開くと思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な開閉操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

網の片側より強く押さえないでください。網がはずれたり、破れたりします。

網には火気を近づけないでください。

丁番側のすき間に手を置かないでください。手や指をはさみ思わぬ事故につながるおそれがあります。

特にお子様にはご注意ください。

△注意

網戸は防虫用であり、人の転落防止ではありません。

網戸によりかかったり、押したりしないでください。

網が破れたり、網戸が枠からはずれて落ちたりするなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

■ 固定網戸の取扱い

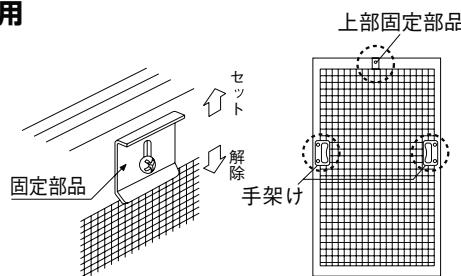
(外部取付)

上部固定部品

網戸の脱落を防止する部品で、網戸の上枠に取り付けられています。(網戸寸法により1または2個取り付いています) 引き渡し時に調整をしております。

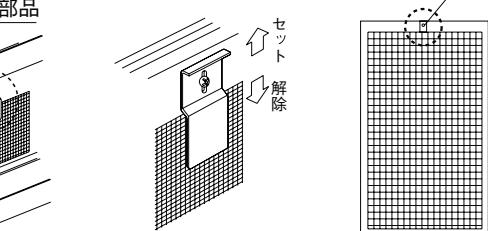
■内開き窓用

上部固定部品



■内倒し窓

上部固定部品



■上部固定部品の点検・調整

- ・点検…網戸を上に持ち上げて、網戸が上に持ち上がる場合は、固定部品が機能していません。
- ・調整…固定部品のねじをゆるめ、固定部品が上枠に当たるまで上に押し上げてからねじを締めつけてください。

お願い

網の片側より強くおさえないでください。網がはずれたり、破れたりします。
網には火気を近づけないでください。

▲注意

❶ 上部固定部品は定期的に点検をして上部固定部品が正しくセットされていることを確認してください。また、網戸を清掃などで取り外した場合は、網戸取り付け後確実に上部固定部品をセットしてください。上部固定部品が正しくセットされていないと、突然の強風による急激な開閉で衝撃

※上部固定部品を取り外す必要がある場合には、管理会社様、または販売会社様まで作業をご依頼ください。

網戸によりかかったり、押したりしないでください。網が外れて、窓から人が落ちると事故(人損・物損)につながるおそれがあります。

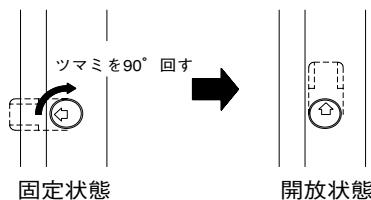
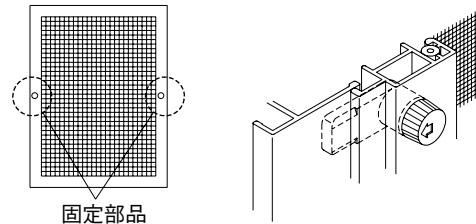
■ 固定網戸の取り扱い (室内側取付)

網戸の取り外し

- 網戸を持ち上げ、網戸下部を室内側へ引いてください。
- 網戸を取り付ける時は、上記と逆の操作をおこなってください。

■ 固定部品付きの場合 (高さ寸法1000mm以上)

- 固定部品のツマミを90°回転しロックを解除してください。
- 網戸を持ち上げ、網戸下部を室内側へ引いてください。
- 網戸を取り付ける時は、上記と逆の操作をおこなってください。



お願い

網戸によりかかったり、押したりしないでください。網がはずれて、窓から人が落ちると事故(人損・物損)につながるおそれがあります。網の片側より強く押さえないでください。網がはずれたり、破れたりします。網には火気を近づけないでください。網戸を清掃し、再取付した時は必ず固定部品をセットしてください。

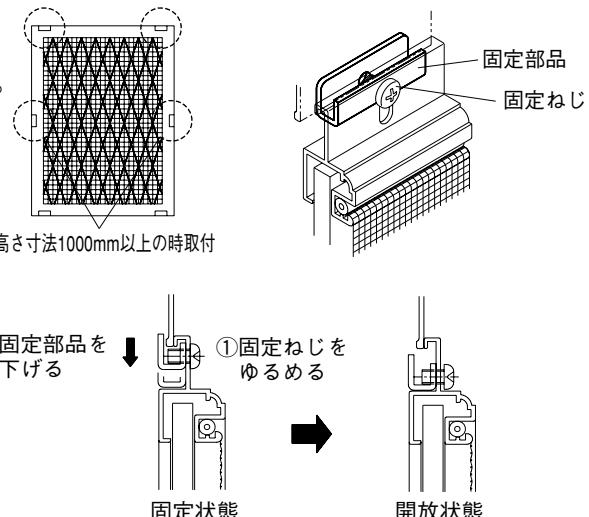
■ 面格子付固定網戸の取り扱い (室内側取付)

網戸の取り外し

- 固定部品の固定ねじをゆるめ部品を網側へ引きます。
- 網戸を持ち上げ、網戸下部を室内側へ引いてください。
- 網戸を取り付ける時は、上記と逆の操作をおこなってください。

お願い

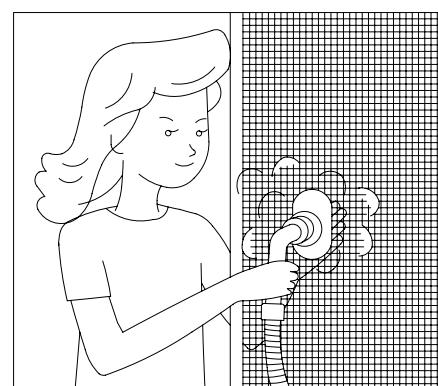
網戸によりかかったり、押したりしないでください。網がはずれて、窓から人が落ちると事故(人損・物損)につながります。網の片側より強く押さえないでください。網がはずれたり、破れたりします。網には火気を近づけないでください。網戸を清掃し、再取付した時は必ず固定部品をセットしてください。



■ 網戸のお手入れについて

網戸のお手入れ

- 網戸の両側から水を含ませた柔らかい布やスポンジなどで、軽くはさむようにして汚れを落してください。
- 電気掃除機をお使いの場合は、ブラシのついた吸込み口を取付けて軽くこするようにしてお使いください。
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布やスポンジなどで、軽くはさむようにして汚れを落してください。汚れが落ちたら水を含ませた布やスポンジなどでふきとってください。



■ ステンレス網戸をお使いの場合は

ステンレス製網戸は、排気ガス・塩害などの環境により、ステンレス網やステンレス網戸と接触する形材が腐食する場合がありますので、定期的な清掃(中性洗剤+水洗い)をおこなってください。特に海岸近接地域や煤塵の発生の多い地域は汚れの程度により、月に1回程度を目安として清掃をお願いいたします。

プリーツ網戸のお手入れ

網戸は普段からのこまめなお手入れが大切です。網についた汚れは定期的にほこりをはらうだけできれいに長くお使いいただくことができます。日常からのお手入れが大切になりますので本説明書の記載事項をよくお読みになりご使用願いますようおねがいいたします。

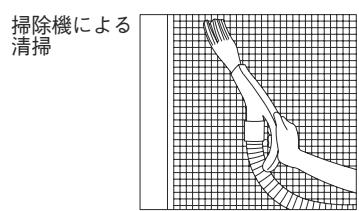
■お手入れの方法について

網戸のお手入れは汚れの程度によって右表のような方法でこなうと効果的におこなえます。詳細は下記を参照してください。

	網の汚れ具合	お手入れ方法
①	ほこりのみの軽微な汚れ	刷毛(はげ)によるほこり払い 掃除機によるほこりの吸い込み
②	綿ほこりなどによる著しい汚れ	刷毛+網戸用洗浄剤(もしくは中性洗剤)
③	油汚れ	網戸用洗浄剤

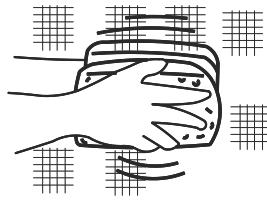
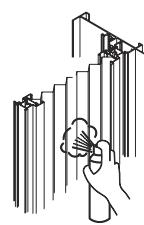
①ほこりのみの軽微な汚れ(日常のお手入れ)

- 網戸を開いて、刷毛やブラシ付きノズルを取付けた電気掃除機を使用して、縦方向に網の折り目にそって動かし、ほこりを落とします。
- 電気掃除機をお使いの場合は、ブラシのついた吸込み口を取付で軽くこするようにしてお使いください。



②綿ほこりなどによる著しい汚れ(目詰まりを起こしているような状態)

- 網戸を開いて、刷毛やブラシ付きノズルを取付けた電気掃除機を使用して、縦方向に網の折り目にそって動かし、ほこりを落とします。
- ほこりを落としたら、次に網戸専用洗浄スプレーを吹きかけます。この時、裏側に新聞紙や雑巾などをあてておくと効果的に吹き付けられます。網戸専用スプレーが無い時は、中性洗剤を希釈したものをスポンジなどに吸い込ませて両側から押さえるようにして、網に洗剤を塗りつけてください。
- 洗剤をつけたら数分間(3分位)放置します、水を付けたスポンジなどで汚れと洗剤成分を良く落とします。汚れを落としたら、乾いた雑巾などで水分を拭き取ります。ある程度水分を拭き取ったら乾燥するまで網戸を開いた状態にして、網戸の乾燥後、収納します。



③油汚れの場合

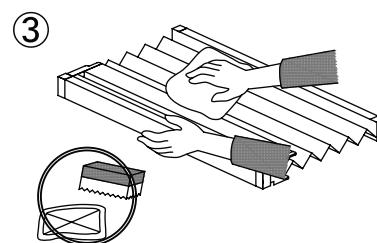
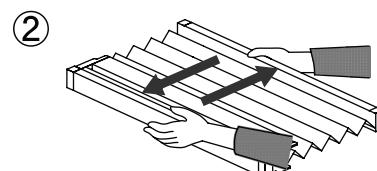
- 油汚れの場合は、ほこりをはらい取ることができないので、網戸用洗浄スプレー又は洗剤にて汚れを浮き立たせます。(綿ほこりなどによる著しい汚れ参照)
- 洗剤をつけたら数分間(3分位)放置して汚れを浮き立たせて、水を付けたスポンジなどで汚れを吸い取ります。
- 最後に乾いた雑巾などで水分を拭き取り、乾燥するまで網戸を開いた状態にして、網戸の乾燥後、収納します。

網戸のお手入れ方法(プリーツ網戸Ⅲ型のみ)

プリーツ網戸Ⅲ型は従来のプリーツ網戸と異なり汚れが激しい時などに網本体を取り外して清掃することができます。取り外し手順はP49を参照してください。通常のお手入れは前項の網戸のお手入れをご参照ください。

1. 著しい汚れ(目詰まりを起こしているような状態) (網戸を外して清掃します)

- 網戸を開いて、刷毛やブラシ付きノズルを取付けた電気掃除機を使用して、縦方向に網の折り目にそって動かし、ほこりを落とします。
- ほこりを落としたら網戸を取り外し、平らな広い場所に広げて置いてください。
網戸の取り外し方法は次ページ網戸の取り外し・取り付けの方法を参照の上、取り外してください。
- 中性洗剤をぬるま湯で溶かして、柔らかい布、またはスポンジで洗ってください。次に洗剤が残らないように水洗いし、必ずから拭きしてください。
- 網の清掃後網を元の状態に取り付け直してください。(取り付け手順参照)



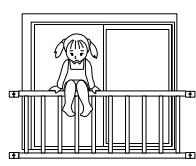
お願い

たわし、金属ブラシなどで、ネット部分、アルミ枠をこすらないでください。
破損やキズの原因になります。
変色・変質の原因となりますので、お手入れの際には、シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、酸性・アルカリ性洗剤などは使用しないでください。



■手すりの取扱い

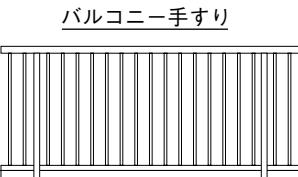
■安全のため、下記の事項は必ずお守りください。



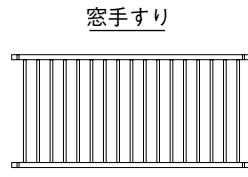
X



X



バルコニー手すり

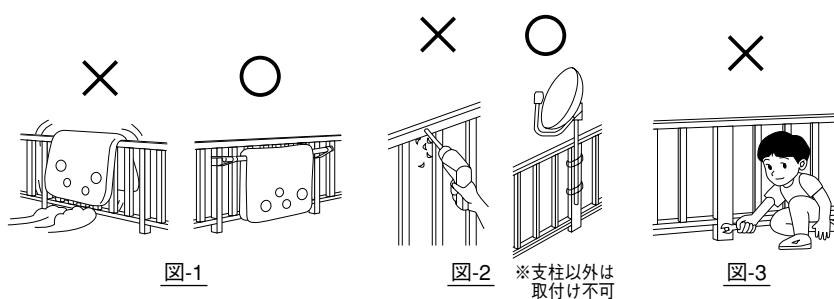


窓手すり

△注意

- ① 手すりに無理な力をかけないでください。人が乗ったり、身を乗り出したりするなど無理な力を加えると、落下や転落など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- ② 手すりにロープやはしごをかけるなどして、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると、落下や転落など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- ③ 手すりの廻りに踏み台になるようなものを置かないでください。思わぬ事故やけがにつながります。お子様が手すりの側にいる時は、絶対に目を離さないでください。

※不具合を発見された場合は、管理会社様、販売会社様へ修理をご依頼ください。そのまま放置されると安全性を損ない思わぬ事故につながります。



お願い

布団を干す場合は、専用の布団干し（市販品）を使用してください。

布団を手すりに直接掛けると、風にあおられて落下するおそれがあります。（図-1）

手すり本体に布団干しやパラボラアンテナなどの器具を取り付ける場合は、穴をあけたり針金で固定するなど加工を絶対にしないでください。手すりの強度が落ちます。（図-2）

ボルト・ナット・ねじなどは、決してゆるめないでください。

手すりが外れるおそれがあります。（図-3）

□面格子

■面格子の取扱い

■安全のため、下記の事項は必ずお守りください。

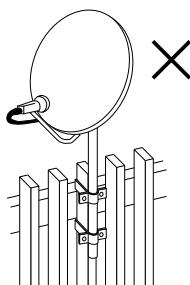


図-1

△注意

- ① 面格子に無理な力をかけないでください。人が乗ったり、身を乗り出したりするなど無理な力を加えると、落下や転落など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 面格子にロープやはしごをかけるなどして、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると、落下や転落など、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 面格子の廻りに踏み台になるようなものは置かないでください。思わぬ事故やけがにつながります。

お願い

面格子本体には穴をあけないでください。

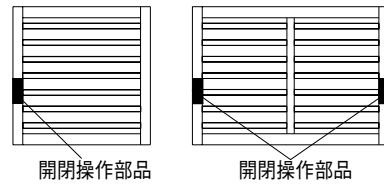
パラボラアンテナなど、他の器具を面格子に取付けたりしないでください。（図1）

ボルト・ナット・ねじなどは、決してゆるめないでください。面格子が外れるおそれがあります。（ゆるんでいる場合は、締め直しするか、管理会社様、または販売会社様へご連絡ください。）

面格子端部のふさぎ板がはずれて、ぶつかるとけがのおそれがあるような場合は、早めに管理会社様、または販売会社様へご連絡ください。

可動ルーバー面格子の取扱い

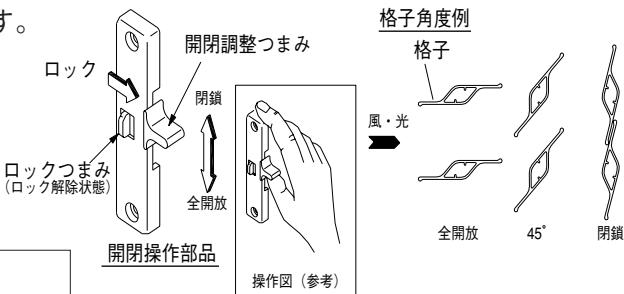
この商品は、従来面格子の持つ防犯性に加え、格子の角度を調整することにより採光・採風の調整を可能にした面格子です。
必ずご使用前にこの説明書をお読みになり正しくお使いください。



格子の開閉

下記の操作手順で面格子の角度を調整することができます。

- ①開閉操作部品のロックつまみを枠側にスライドし
ロックを解除します。
- ②開閉調整つまみを上下に操作し格子の開閉をおこ
ないます。
- ③希望の位置で開閉操作部品のロックつまみを矢印
方向に操作しロックします。



△注意

- ④ 面格子に無理な力をかけないでください。
人が乗ったり、身を乗り出したりするなど
無理な力を加えると、落下や転落など、
人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
面格子にロープやはしごをかけるなどして、
荷物を上げ下げしないでください。
無理な重さをかけると、落下や転落など、
人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

お願い

ねじは、決してゆるめないでください。面格子がはずれるおそれがあります。(ゆるんでいる場合は、締め直しするか、管理会社様、または販売会社様へご連絡ください。)
面格子端部のふさぎ板がはずれて、ぶつかるとけがのおそれがあるような場合は、締め直しするか、早めに管理会社様、または販売会社様へご連絡ください。

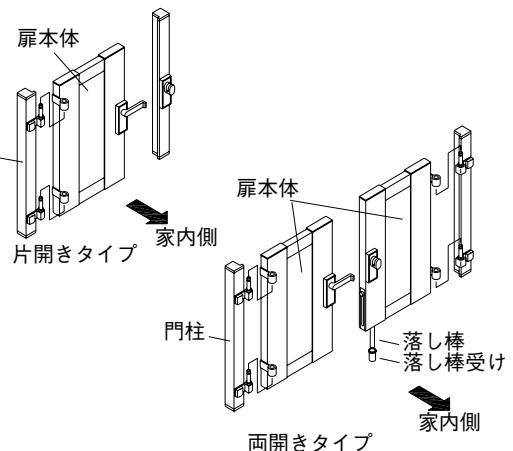
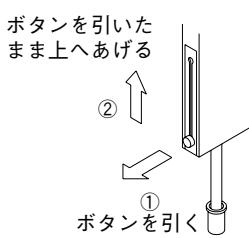
■ マンション門扉の取扱い

門扉は大きさ・デザインが違っていても、機能的に見ると、その使い方は同じです。この取扱説明書では代表的機種を例として解説しています。この取扱説明書を良く読み正しくご使用ください。

扉の開閉

■ 落とし棒の解錠手順

- ①扉下部落とし棒のボタンを引く
 - ②落とし棒のボタンを引いたまま上へ引き上げる。
 - ③一番上まで引き上げたらボタンをセットすると落とし棒が上がった状態で固定されます。
- 落とし棒を施錠する場合は上記と逆の手順で施錠してください。



▲注 意

- ④ 開閉操作をする前に周囲に人がいないこと、および物がないことを必ず確認してください。扉にはさまれたりぶつかったりして、ケガにつながります。特に、お子様の飛び出しなどに注意してください。
- 門扉に乗ったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。門扉がはずれてケガにつながります。
- 門扉を開閉するときは、門柱と扉の間や、扉と扉の間に手や足をはさまないように注意してください特に強風時は、急に開閉しますので注意してください。
- 強風時には必ず施錠し落とし棒をおろしてください。強風で扉が開閉し、思わぬ事故やけがにつながります。
- 扉を開いた状態で放置しないでください。風の影響や、人・物にぶつかった反動により扉が開閉し、思わぬ事故につながります。

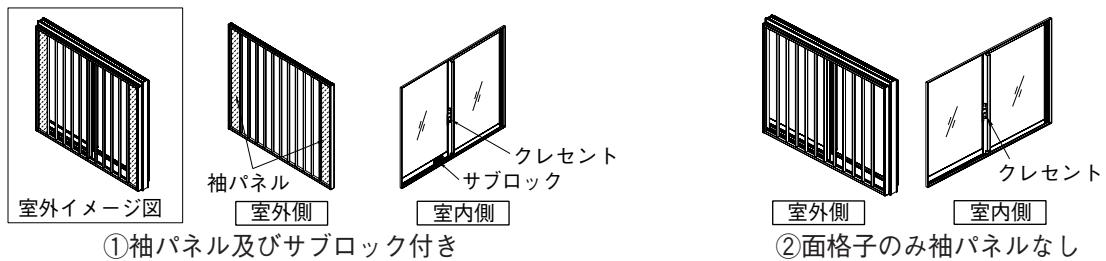
お 願 い

- 開閉操作はゆっくりおこなってください。無理な操作は思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 施錠時は、最後まで確実に操作してください。確実に施錠されていない状態で操作をおこなうと、鍵が破損したり商品に傷がつくことがあります。
- 開閉時には手足・衣服などをはさまないよう気をつけてください。
- 通常使用されない場合は必ず施錠してください。また、落とし棒の付いている商品は落とし棒も同時に落としてください。
- ねじやボルトなどにゆるみが生じていないか、年一回は必ず点検してください。
- 強風時や突風時には破損防止のため、必ずハンドルや落とし棒をかけてください。(落とし棒を下げて固定してください。)
- 落とし棒を下げたまま門扉の開閉をおこなわないでください。

通風面格子付きサッシの取扱い

この商品は、従来面格子の持つ防犯性に加え、通風機能換気機能を取り入れた商品です。必ずご使用前にこの説明書をお読みになり正しくお使いください。また、サッシ本体の取扱いについては引違窓の項目をご参照願います。

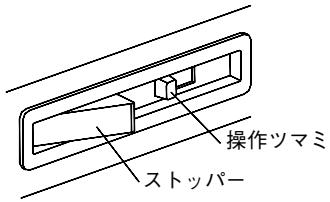
通風格子のバリエーション



サブロック

サブロックは窓の開放を制限する部品です。袖パネル付き面格子と組み合わせて使用することにより防犯性を保つつ換気をおこなうことができます。下記の手順にてご使用ください。

- ①通常使用時はサブロックの操作ツマミを閉の状態にしてストッパーが飛び出した状態で使用してください。
- ②窓を全開放したい場合は、操作ツマミを開の状態にすることでストッパーがガラス障子内に引っ込み全開放することができます。



お願い

- ご使用の際は必ずクレセントと併用してください。
サブロックが掛かった状態で無理にガラス障子を開閉しないでください。
窓またはサブロックの破損につながるおそれがあります。
就寝、外出時には、クレセントをかけるとともに、サブロック（防犯補助錠）もかけてください。

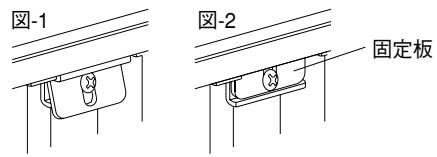
面格子について

取り外しを可能にするために通常の固定型の面格子と比較して、面格子本体を持って動かした場合若干のガタツキがありますが、これは取り外しのための余裕寸法によるもので、性能機能的に問題となるものではありません。

面格子の取り外し・取り付け

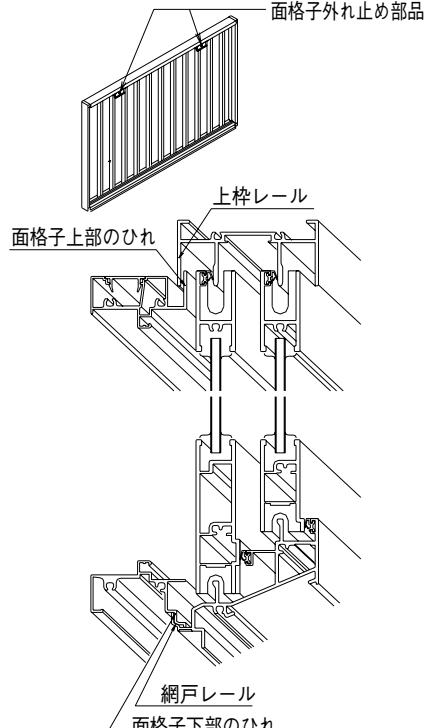
1. 取り外し操作

- ①面格子上部に取り付けられているはずれ止め部品（上部2箇所）のねじをドライバーでゆるめて固定板をずらしてください。（図-1・2）
- ②室外側から面格子を両手で持って、持ち上げ外部側に取り外してください。



2. 取り付け操作

- ①面格子上部のひれを上枠レールにはめ込み、面格子を下げながら面格子下部のひれを網戸レールにはめ込んでください。
- ②面格子はずれ止め部品を図-2の状態にして固定ねじを締め付けてください。
- ③最後に面格子を持ち上げて面格子が外れないことを確認してください。

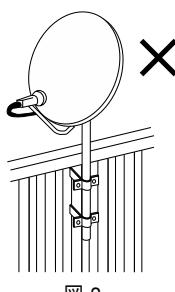


△注意

- 面格子を取り付けた後、面格子はずれ止め部品を必ず固定してください。
はずれ止め部品が掛かっていないと面格子が外れ、事故やけがにつながります。

お願い

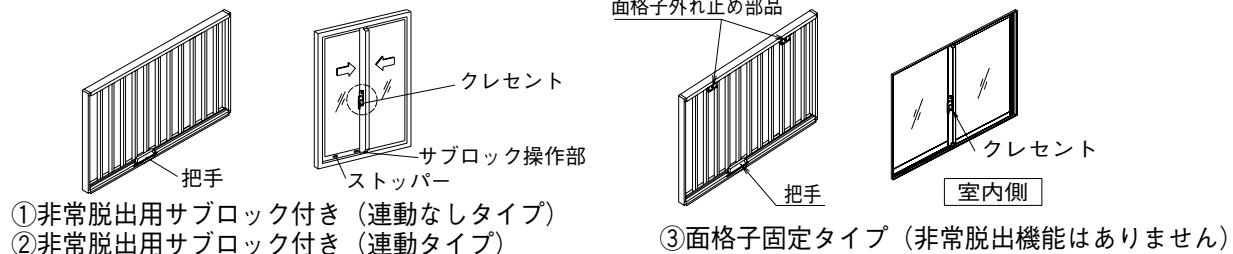
はずれ止め部品のねじがサビなどで劣化している場合は、管理会社様、または販売会社様へ早めに修理をご依頼ください。



■ 非常脱出面格子付きサッシの取扱い

この商品は、非常時に面格子を室内側から取り外して窓から脱出できるようにしています。(一部商品対象外)
 必ずご使用前にこの取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。また、1年に1度は面格子の取り外し手順を確認してください。サッシ本体の取扱いは引違窓の項目をご参照願います。

面格子のバリエーション



サブロック

サブロックは窓の開放を制限する部品です。下記の手順にてご使用ください。

1. 操作ツマミ連動なしタイプ

- ①通常使用時はサブロックの操作ツマミを閉の状態にしてください。ストッパーが飛び出した状態でロックされます。
- ②非常時または窓を全開放にしたい場合は、サブロック操作部のフタを上にスライドさせ、操作ツマミを開の状態にします。
- ③ストッパーのロックが解除されているのでストッパーを手や指で押しながらガラス障子を全開放します。
- ④窓を閉めた後は必ずサブロックを閉の状態に戻してください。

2. 操作ツマミ連動タイプ

- ①通常使用時はサブロックの操作ツマミを閉の状態にしてください。ストッパーが飛び出した状態でロックされます。
- ②非常時または窓を全開放にしたい場合は、サブロック操作部のフタを上にスライドさせ、操作ツマミを開の状態にするとストッパーが框内に収納され、窓が全開放可能になります。
- ③窓を閉めた後は必ずサブロックを閉の状態に戻してください。

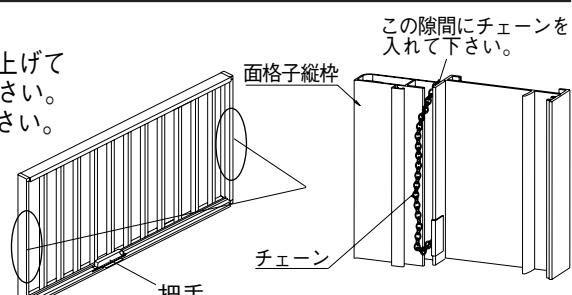
お願い

ご使用の際は必ずクレセントと併用してください。
 サブロックが掛かった状態で無理にガラス障子を開閉しないでください。
 窓またはサブロックの破損につながるおそれがあります。
 就寝、外出時には、クレセントをかけるとともに、サブロック(防犯補助錠)もかけてください。

面格子の取り外し・取り付け(サッシにサブロック付きの場合)※非常脱出タイプ

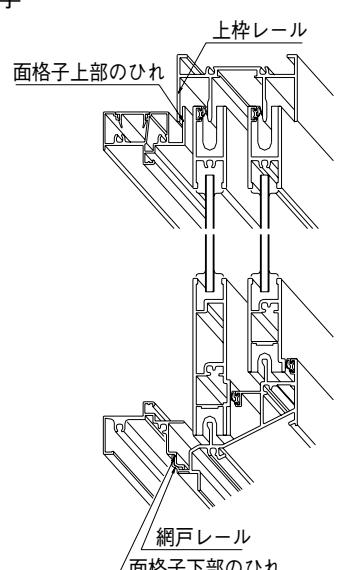
1. 取り外し操作

- ①非常時、面格子を取り外す場合、サブロック操作部のフタを上げて操作ツマミを“開”にして外側ガラス障子を全開にしてください。
- ②面格子の把手を両手で持って持ち上げ外部に取り外してください。
 ※縦枠と面格子をつなぐチェーンが取り付いていますので取り外しの際には注意してください。



2. 取り付け操作

- ①面格子上部のひれを上枠レールにはめ込み、面格子を下げながらチェーンが、面格子とサッシ縦枠を外部に軽く押してチェーンを内側に引っ張り、隙間に押し込んでください。(チェーンは両側にあります)

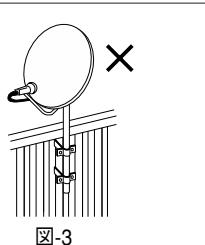


△注意

- 面格子を取り付けた後、面格子はずれ止め部品を必ず固定してください。
 はずれ止め部品が掛かっていないと面格子が外れ、事故やけがにつながります。

お願い

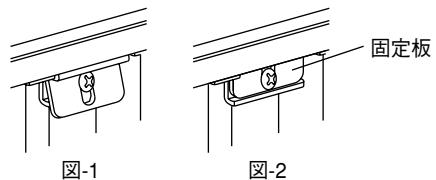
はずれ止め部品のねじがサビなどで劣化している場合は、管理会社様、または販売会社様へ早めに修理をご依頼ください。



面格子の取り外し・取り付け ※面格子固定タイプ

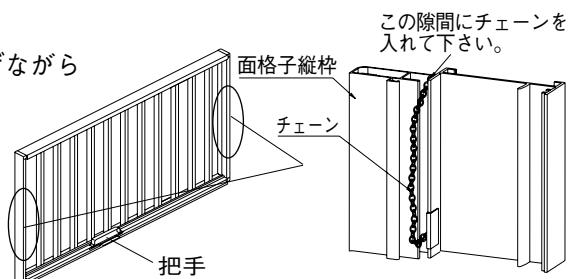
1. 取り外し操作

- ①面格子上部に取り付けられているはずれ止め部品（上部2箇所）のねじをドライバーでゆるめて固定板をずらしてください。
(図-1・2)
- ②室外側から面格子を両手で持って、持ち上げ外部側に取り外してください。



2. 取り付け操作

- ①面格子上部のひれを上枠レールにはめ込み、面格子を下げながら面格子下部のひれを網戸レールにはめ込んでください。
- ②面格子はずれ止め部品を図-2の状態にして固定ねじを締め付けてください。
- ③最後に面格子を持ち上げて面格子が外れないことを確認してください。

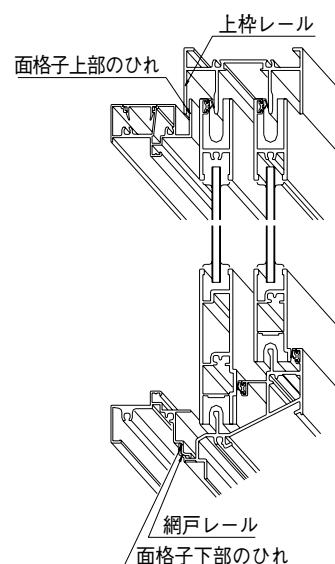


△注意

- 面格子を取り付けた後、面格子はずれ止め部品を必ず固定してください。
はずれ止め部品が掛かっていないと面格子が外れ、事故やけがにつながります。

お願い

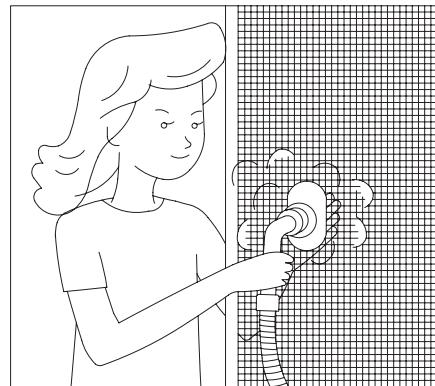
はずれ止め部品のねじがサビなどで劣化している場合は、管理会社様、または販売会社様へ早めに修理をご依頼ください。



面格子網戸の取扱い

防虫網のお手入れ

1. 網戸の両側から水を含ませた柔らかい布やスポンジなどで、軽くはさむようにして汚れを落してください。
2. 電気掃除機をお使いの場合は、ブラシのついた吸込み口を取付けて軽くこするようにしてお使いください。
3. 汚れのひどい場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布や、スポンジなどで、軽くはさむようにして汚れを落としてください。
汚れが落ちたら水を含ませた布やスポンジなどでふきとってください。



お願い

網に寄りかかったり、押したりしないでください。網がはずれます。

網には火気を近づけないでください。

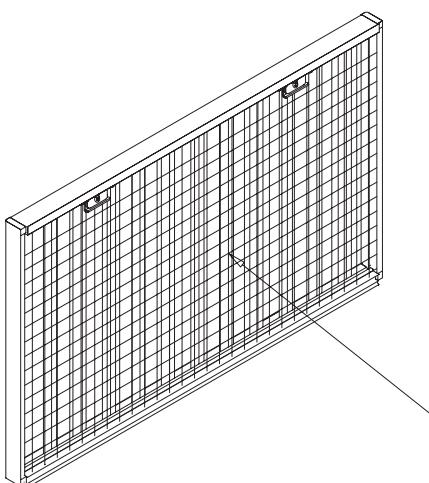
防虫網をメンテナンスし面格子を再取付した時は必ず固定部品をセットしてください。

防虫網について

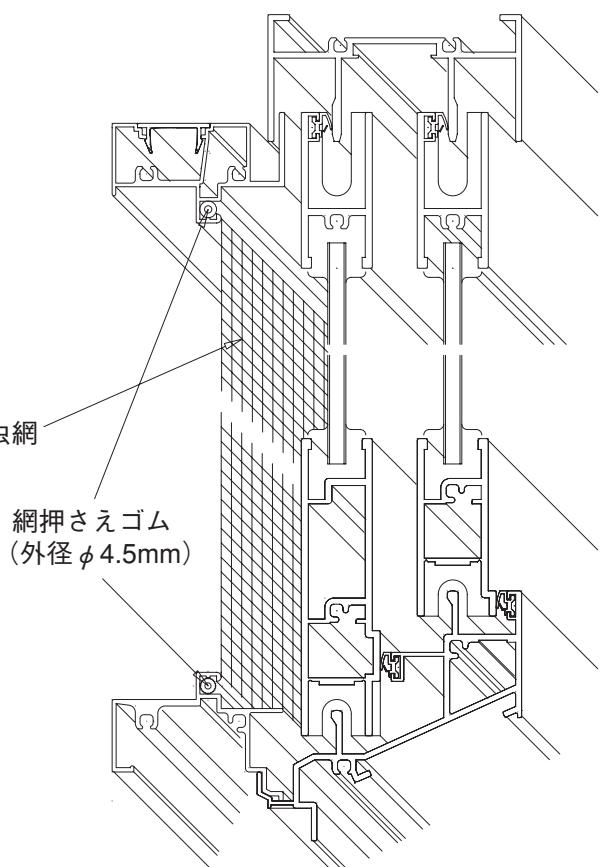
面格子用の防虫網は市販の引違い窓用の網を購入してお客様が交換することもできます。

お客様自身で張り替えをおこなう時は、取り外し面格子のページをご参照の上、説明書の記載内容にしたがい注意して面格子の取り外し、取り付け作業をおこなってください。

網の張り替え作業は一般の網戸と同様におこなってください。

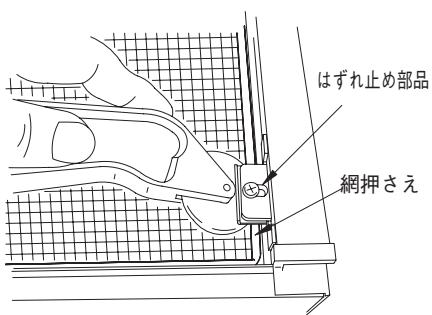


防虫網



網押さえゴム
(外径 $\phi 4.5\text{mm}$)

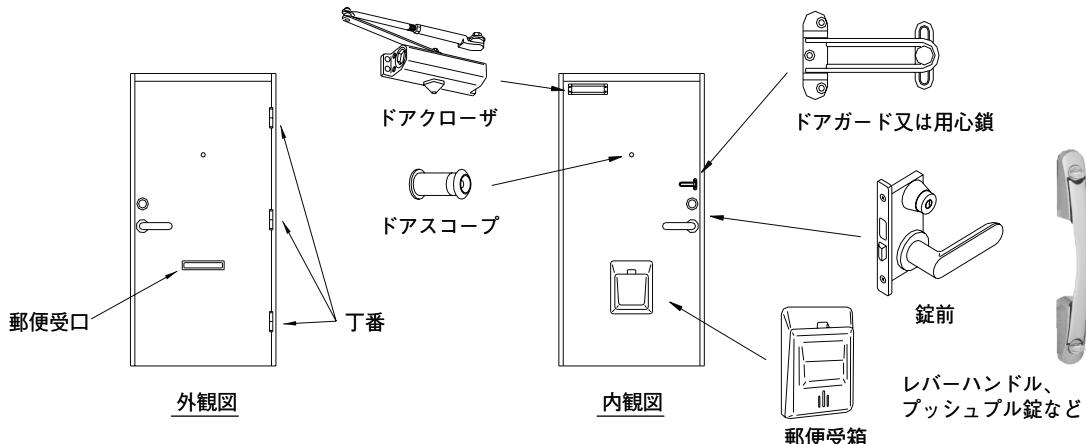
※網の交換は一般の網戸張り替えと同じようにおこないますが、格子のはずれ止め部品ははずすことができませんので、部品部の網押さえは下記のように工具で網押さえゴムを押しつけてください。



はずれ止め部品
網押さえ

■ 玄関ドアの取扱い

製品を正しくご使用いただくために、この取扱説明書を良くお読みください。

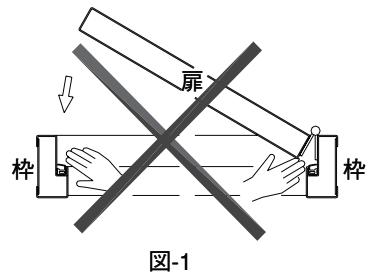


安全にご使用いただくために

ここに掲載したお願い・注意事項は、人身事故や財産上の損害を未然に防止するために、守っていただきたいことを示しています。

△注意

1. ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したりドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアが体に当たり転倒したり、ドアとドア枠の間で指を挟み思わずがをするおそれがあります。(図-1)
2. ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指を挟んで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。(図-1)
3. 強風時はドアを閉めて、必ず鍵をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、けがやドアの破損につながるおそれがあります。
4. ドアガードをはずす場合は、アームの内側に指を入れないでください。外部側より突然ドアを開けられた場合などに指をはさまれるなど、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。



お願い

1. ドア付近でのお子様の遊びやドア付近にお体の不自由な方や、お年寄りが立ち止まつたりしないよう、保護者の方はご注意ください。
2. 下枠に段差がある場合、通行にご注意ください。つまづきにより転倒するおそれがあります。(図-2)
3. ドアにぶら下がったりしないでください。危険ですし、ドアがゆがんだり、吊り下がりが生じ開閉に不具合を生じるおそれがあります。
4. ドアの開閉時に下枠や床とドアの間に足を挟まれないようご注意ください。けがをするおそれがあります。
5. 小さなお子様が出入りする時は、親(保護者)が付き添って開閉するようにしてください。特にお子様のサンダル履きでの開閉の時はご注意ください。

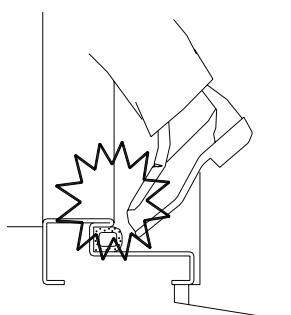


図-2

ドアクローザ (自閉装置)

ドアクローザは開いたドアを自動的に閉める装置です。

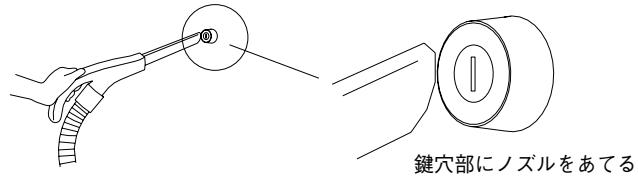
1. ドアクローザはストップ付きとストップ無しの2種類の商品があります。
(ストップ付きは、ドアを90°開いた状態でドアの作動を停止する機能を有しています)
2. 同室内で他の開口部(窓、玄関ドアなど)が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが速くなることがあります。
※ドアクローザの■使用上のお願い、■速度調整のしかた、については別頁「ドアクローザの取扱い」をご覧ください。

錠 前

鍵が回りにくくなったりした場合の簡単なメンテナンス方法を記載します。
注意事項をよくお読みになり正しくご使用ください。

■掃除機による方法

- ①掃除機を鍵穴に当ててほこりを吸い取ってください。



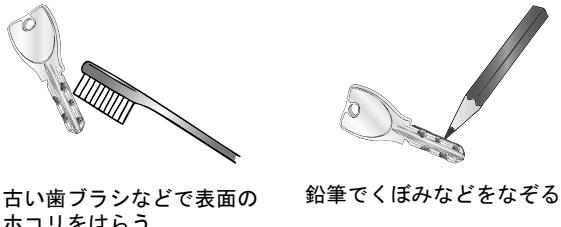
■鍵のお手入れ

- ①鍵は定期的に古くなった歯ブラシなどで表面のホコリをはらってください。
鍵のくぼみなどにたまつたほこりなどが鍵の抜き差しを悪くする原因となることがあります。

■鉛筆による方法

- ②鉛筆の抜き差しがスムーズでない場合には次の方法で調整をおこなってください。

- ①鍵の切り込み部分やみぞを鉛筆で強めになぞり黒く塗りつぶします。
- ②数回鍵穴に抜き差ししてください。
- ③終了後、鍵についた黒鉛をふきとってください。
黒鉛が付着したまま使用されると衣服などを汚す場合があります。



お願い

市販の一般的な潤滑剤（サビ止め）やスプレー式潤滑油やミシン油はほこりが付着しやすく故障の原因となります。
錠前がガタつく場合には、錠前の取付け用ねじをドライバーで十分に締めつけてください。

オプション部品

下記の部品が取り付けられている場合は、以下の点にご留意ください。

■化粧モール付きドア

1. ドアおよび化粧モールのコーナー部に身体を当てたり、洋服をひっかけないようご注意ください。

■ドアスコープ

1. 訪問者をレンズにて内部より確認する防犯用のものです。
ドアスコープ全体がねじになっています。ゆるみのある時は室内側より10円玉などで増し締めしてください。

■ガラス組込型ドア

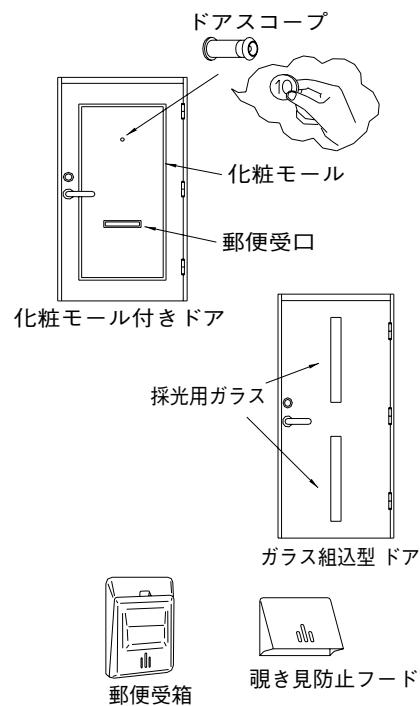
1. ドアのガラス部に物を当てたり、強い衝撃を受けると、破損することがありますので、けがなどにご注意ください。

■郵便受口・受箱

1. 郵便受口、受箱で子供が遊ばない様にしてください。思わぬけがをしたり、部品が破損したりします。
2. 郵便受箱が、ドア面より飛び出で取付けられていますので身体に当たらない様に、また洋服などをひっかけない様にご注意ください。
3. 郵便受箱のフタは使用後は必ず閉めてください。ドアの開閉時に身体に当たりけがをすることがあります。
4. 受口の高さは、3.7cmです。これより厚いものを無理に入れますと郵便物が破れたり取り出しにくくなることがあります。

■覗き見防止フード

1. ドア面より飛び出で取付けられていますので身体に当たらないように、また洋服などを引っ掛けないようにご注意ください。



メンテナンス

長期間ご使用になりますと、丁番のねじのゆるみ、ドアのがたつきなどの不具合が発生することがあります。
そのままにしておきますと、人身事故や家財の損害などの原因になります。ドアの使用にあたり異常を感じた場合、次のように対処してください。

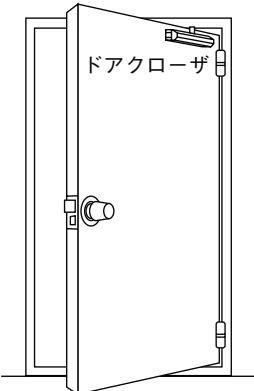
不具合状況	対処
ドアの開閉速度が変化するなど動きがおかしくなった。	ドアクローザの不調が考えられます。調整によって直ることもあります。 詳細はドアクローザの取扱説明書をよくお読みの上、調整してください。 ※ドアクローザの取扱説明書がない場合、弊社までご連絡ください。 ※B.L.マーク貼付商品のドアクローザについては、B.L.認定の基準として「特殊な工具以外では閉じ速度を調整できない構造とする」となっておりますので、建物管理責任者に依頼してください。
ドアががたついたり、開閉時に枠にあたる。	丁番を止めているねじがゆるんでいることが考えられます。 このとき、ドアの下に木片をあてがってドアを水平に保持してねじを締め直してください。

玄関ドアの清掃についてはアルミサッシと同様に定期的な清掃をお願いします。(P2参照)

■ ドアクローザの取扱い

ドアクローザは開いたドアを自動的に閉める装置です。閉める速度は油圧で調整しますが、ドアの開き角度90°から閉まるまでの適正スピードは5~8秒です。お引渡し前に調整してありますが、必ずご使用前にこの説明書をお読みになり正しくお使いください。

1. ドアクローザはストップ付きとストップ無しの2種類の商品があります。ストップ付きは、ドアを90°開いた状態でドアの作動を停止する機能を有しています。
2. 同室内で他の開口部（窓、玄関ドアなど）が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが速くなることがあります。



お願い

ドアの開閉時には、ドアとドア枠の間に手などを置かないでください。
強風などでドアが急激に閉まり、手・指が挟まれることがあります。

ドアの閉まる速度は、気温によって変わります。
気温が高くなると早くなりますので、説明書に従って適正速度に調整してください。

ドアクローザ本体内部から油がにじみ出たり、部品が破損した場合は、下記メーカーにご相談ください。
放置しておくと事故につながります。

ドアクローザを分解・改造しないでください。
故障の原因になります。

ドアクローザの取付ビスや連結部分に、緩みが生じた時には閉め直してください。

ドアがスムーズに開閉できなくなった場合は、管理会社様、または、販売会社様へご連絡してください。

本体およびアーム、取付ブラケットの取付ねじや、アーム連結ねじにゆるみが生じていないか定期的に点検してください。緩んでいた場合はねじを締め直してください。

腐食予防のために本体およびアームは定期的に清掃してください。

冬期に結露が生じる場合は本体およびアームを乾いた布で乾拭きしてください。

ドアクローザの保証期間は、2年間です。

ニュースター製品メーカー連絡先

日本ドアチェック製造株式会社

東京本社／〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号
(ニュースター東京ビル)

大阪本社／〒544-0014 大阪市生野区巽東三丁目17番10号

TEL(03)3871-1411(代)

TEL(06)6758-1251(代)

札幌支店 〒062-0020 札幌市豊平区月寒中央通り一丁目1番12号
北陸支店 〒921-8021 金沢市御影町22番23号

名古屋支店 〒462-0041 名古屋市北区波打二丁目町80番地の2

福岡支店 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町5番15号

仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代三丁目8番1号

静岡営業所 〒422-8034 静岡市駿河区高松一丁目24番17号

広島営業所 〒731-0103 広島市安佐南区緑井六丁目9番11号

高松営業所 〒761-0104 高松市高松町2077番地1

TEL(011)851-8255~6

TEL(076)243-2120(代)

TEL(052)981-7531~2

TEL(092)271-5491(代)

TEL(022)284-7501

TEL(054)238-2751

TEL(082)877-1611~2

TEL(082)877-1611~2

速度調整のしかた

◆適正速度

開き角度90°から閉まるまでの適正速度は『5~8秒』です。

◆速度調整方法

速度調整バルブを回してください。

1: 第一速度調整バルブ

早くなる  遅くなる

2: 第二速度調整バルブ

早くなる  遅くなる

※早くする場合（左回り）は1回転以上回さないでください。

※速度調整バルブは機種により次の3種類があります。



マイナス溝形

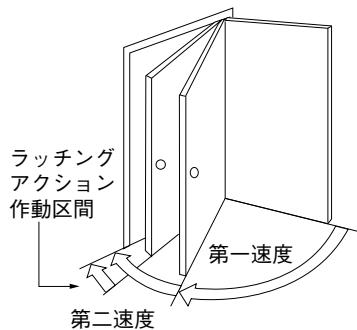


プラス溝形



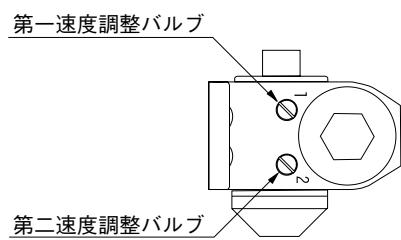
六角溝形

◆調整範囲

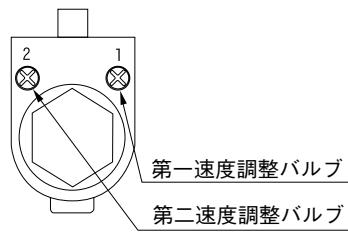


調整バルブの位置

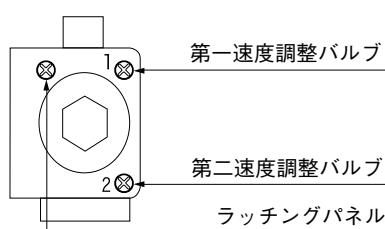
■80シリーズ



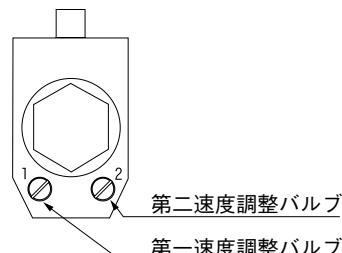
■3000シリーズ



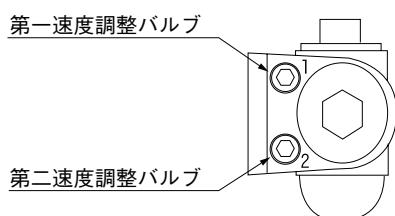
■7000シリーズ



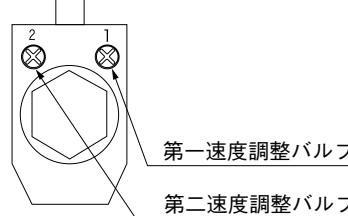
■6000シリーズ



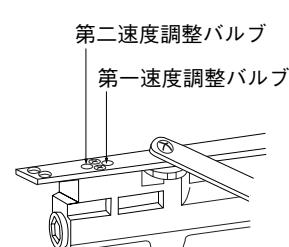
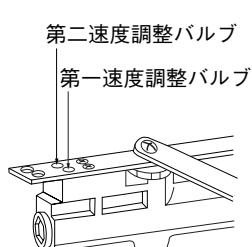
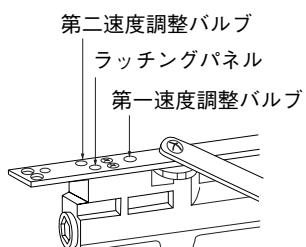
■BL-70シリーズ



■5000シリーズ



■60Nシリーズ









不二サッシ株式会社 お客様相談窓口 0120-54-2234

窓から夢をひろげています
不二サッシ

営業企画部 〒141-0031 東京都品川区西五反田4-32-1
中低層・フロント事業部 〒141-0031 東京都品川区西五反田4-32-1
施工管理統括部 〒141-0031 東京都品川区西五反田4-32-1

☎03-5745-1218
☎03-5745-1233
☎03-5745-1227

関東支店 〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-5-5(北浦和大栄ビル)
東京支店 〒141-0032 東京都品川区西五反田4-32-1
横浜支店 〒220-8116 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー)
名古屋支店 〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉1-9-22(名古屋BXビル)
大阪支店 〒556-0017 大阪府大阪市浪速区湊町1-4-38(近鉄新難波ビル)
中四国支店 〒733-0011 広島県広島市西区横川町3-12-18(横川駅前ビル)
北海道不二サッシ(株) 〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西12-4-89(不二サッシビル)
(株)不二サッシ東北 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町一丁目11番2号 SK仙台ビル
日海不二サッシ(株) 〒920-0352 石川県金沢市観音堂町へ-51
(株)不二サッシ九州 〒812-0039 福岡県福岡市博多区冷泉町2-1(博多祇園M-SQUARE)

☎048-829-2751
☎03-5745-1250
☎045-210-9080
☎052-959-5700
☎06-6635-4134
☎082-536-2250
☎011-261-8284
☎022-222-4134
☎076-267-9200
☎092-291-1134

ホームページ <http://www.fujisash.co.jp/>

2024年4月現在

お問い合わせは